

令和5年度

県政世論調査報告書

山口県



## <目次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	1
6. 標本抽出方法	2
II. 調査結果	4
1. 県民の生活実感	4
1-1. 暮らし向きの変化	4
1-2. 暮らしの満足度	5
1-3. 今後の生活の見通し	6
2. 政治や経済への関心	7
2-1. 国の政治や経済への関心	7
2-2. 県の政治や経済への関心	8
2-3. 市町の政治や経済への関心	8
3. 県が行う広報の認知等	9
3-1. 県の仕事の認知媒体	9
3-2. 「ふれあい山口」の閲読状況	10
3-3. 「ふれあい山口」の内容に対する評価	11
3-4. 各テレビ番組・各ラジオ番組の視聴（聴取）状況及び印象	13
3-5. 県の広報展開の認知度	17
4. 県の取組に対する実感	18
4-1. 山口県の住みよさ	18
4-2. 今後の山口県での居留意向	18
4-3. 県の取組に対する実感	19
5. デジタル化について	23
5-1. インターネットの活用状況	23
5-2. 申請・届出等の行政手続のオンライン活用状況	24
5-3. オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについての満足度	24
5-4. オンライン手続きの促進に必要なこと	25
5-5. デジタル技術の活用で便利になったと思う分野	26
5-6. デジタル化が進むために必要な取組	27

6. 県民活動について.....	28
6-1. 仕事以外での地域や社会のための活動.....	28
6-2. 今後の活動意欲.....	28
6-3. 活動したいと思う分野.....	29
6-4. 活動したいと思わない理由.....	29
7. 消費生活に関することについて.....	30
7-1. 被害を受けた時の相談相手.....	30
8. 犯罪被害者等支援について.....	31
8-1. 犯罪被害に遭った場合の相談相手.....	31
8-2. 「二次的被害」の認知状況.....	32
8-3. 犯罪被害者等支援に関するものの認知状況.....	32
9. 人権について.....	33
9-1. 「人権問題」への関心.....	33
9-2. 人権問題に関する知識や情報の収集媒体.....	34
10. 性の多様性について.....	35
10-1. LGBTの方が日常生活で直面する課題・困難.....	35
10-2. 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要な取組.....	36
11. 食の安心・安全について.....	37
11-1. 食品に対する不安.....	37
11-2. 食品について不安なこと.....	38
11-3. 県民が安全で安心な食生活を送るために必要な取組.....	39
12. 動物の愛護管理について.....	41
12-1. 犬猫の飼育状況.....	41
12-2. 飼育する犬猫への名札やマイクロチップの装着状況.....	41
12-3. 他人のペットに対して迷惑を感じたことがあるか.....	42
12-4. 迷惑に感じたこと.....	42
13. 生物多様性について.....	43
13-1. 「生物多様性」の認知状況.....	43
13-2. 生物多様性を守るために必要な取組.....	44
14. 北朝鮮による拉致問題について.....	45
14-1. 「北朝鮮による拉致問題」についての関心.....	45
14-2. 「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組.....	45
14-3. 北朝鮮による拉致問題の解決に向けての今後の協力.....	46
15. 食育について.....	47
15-1. 「食育」についての関心.....	47
15-2. 地域や所属コミュニティでの食事会等への参加意欲.....	47
15-3. 郷土料理や伝統料理の味や食事作法の受け継ぎ.....	48
16. 薬剤師・薬局について.....	49
16-1. 薬剤師・薬局に関する取組の認知度.....	49
16-2. 薬や健康に関して、薬以外のことで相談できると良いと思う内容.....	50

17. 多文化共生について	51
17-1. 多文化共生の認知度	51
17-2. 多文化共生の推進	52
17-3. 日常生活で外国人と関わることについて	52
17-4. 県内在住の外国人へ期待すること	53
18. 運動・スポーツの実施状況について	54
18-1. 運動・スポーツの実施頻度	54
18-2. どのような運動・スポーツを行ったか	55
18-3. 運動・スポーツを行わなかった理由	56
19. 地産・地消の推進について	57
19-1. 「地産・地消」の認知状況	57
20. 「やまぐち森林づくり県民税」について	58
20-1. 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況	58
20-2. 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容	59
21. 山口きらら博記念公園の再整備について	60
21-1. 山口きらら博記念公園の利用状況	60
21-2. 山口きらら博記念公園に期待する役割	61
21-3. 山口きらら博記念公園に整備を希望する施設や空間	62
Ⅲ. 資料	64



# I. 調査の概要

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

県民の生活実感や県政への関心をはじめ、県の広報、各種施策に対する意識などを把握し、今後の県政運営及び施策立案の基礎資料として活用する。

### 2. 調査項目

- (1) 県民の生活実感
- (2) 政治や経済への関心
- (3) 県が行う広報の認知等
- (4) 県の取組に対する実感
- (5) 各種施策に対する意識・評価等
  - デジタル化
  - 県民活動
  - 消費生活に関すること
  - 犯罪被害者等支援
  - 人権
  - 性の多様性
  - 食の安心・安全
  - 動物の愛護管理
  - 生物多様性
  - 北朝鮮による拉致問題
  - 食育
  - 薬剤師・薬局
  - 多文化共生
  - 運動・スポーツの実施状況
  - 地産・地消の推進
  - 「やまぐち森林づくり」県民税
  - 山口きらら博記念公園の再整備
- (6) 回答者の属性

### 3. 調査設計

- (1) 調査地域 山口県全域
- (2) 母集団 18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送及びWEBによる回答（調査期間中に協力依頼状を1回発送）
- (6) 調査時期 2023年6月14日～7月3日

### 4. 回収結果

有効回収数（率） 1,311（43.7%） うち、WEBによる回答数（率） 351（26.8%）

### 5. 報告書の見方

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (4) 報告書中のnは、回答数を示している。



## 6. 標本抽出方法

### 【層化】

県内の市町を次の7地域に分類し、層とした。

地 域	該各市町
①岩国地域	岩国市、和木町
②柳井地域	柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町
③周南地域	下松市、光市、周南市
④山口・防府地域	山口市、防府市
⑤宇部・小野田地域	宇部市、美祢市、山陽小野田市
⑥下関地域	下関市
⑦萩・長門地域	萩市、長門市、阿武町

### 【標本数の配分】

各層における18歳以上の人口（令和2年国勢調査）により、3,000の標本数を比例配分した。

### 【抽出】

1. 令和2年国勢調査の基本単位区を第一次抽出単位として使用した。
2. 各層の調査地点数を、1調査地点あたりの標本数が30程度になるように算出した。
3. 層ごとに

$$\frac{\text{層における人口の合計}}{\text{層における調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

を算出し、等間隔抽出法によって、該当人数番目の対象者が含まれる基本単位区を調査地点として抽出した。なお、抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、「全国地方公共団体コード」（総務省設定）の順に従った。

4. 各調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）の選挙人名簿から、等間隔抽出法によって行った。
5. 以上の作業の結果得られた各層の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

### 【各層の標本数と調査地点数】

地 域	母集団数 (18歳以上の人口 (令和2年国勢調査))	標 本 数	調査地点数
①岩国地域	112,745	314	18
②柳井地域	64,056	176	12
③周南地域	198,155	570	36
④山口・防府地域	248,725	697	53
⑤宇部・小野田地域	204,876	568	46
⑥下関地域	212,884	586	51
⑦萩・長門地域	69,956	190	13
県 全 体	1,111,397	3,100	229

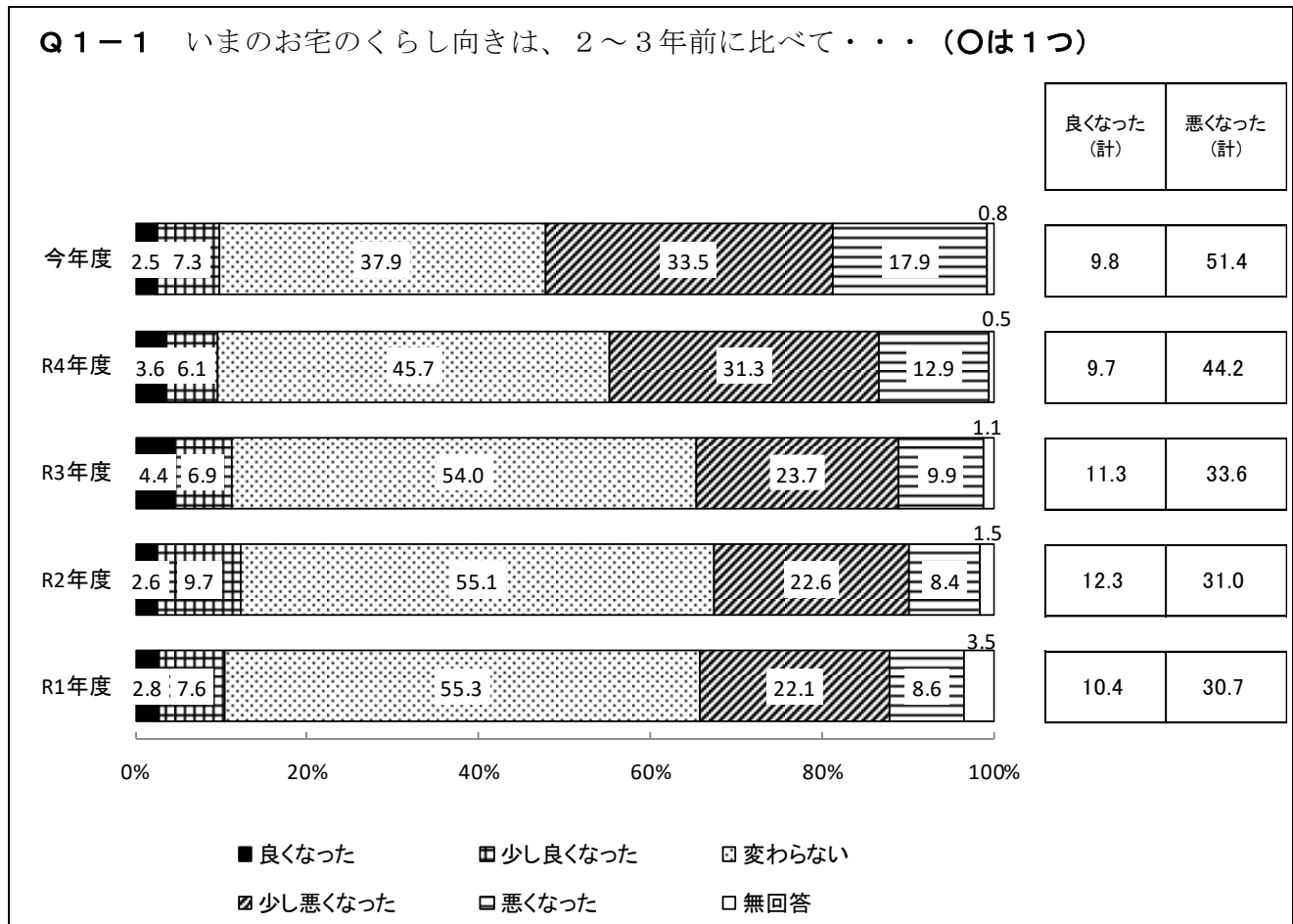


## II. 調查結果

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 県民の生活実感

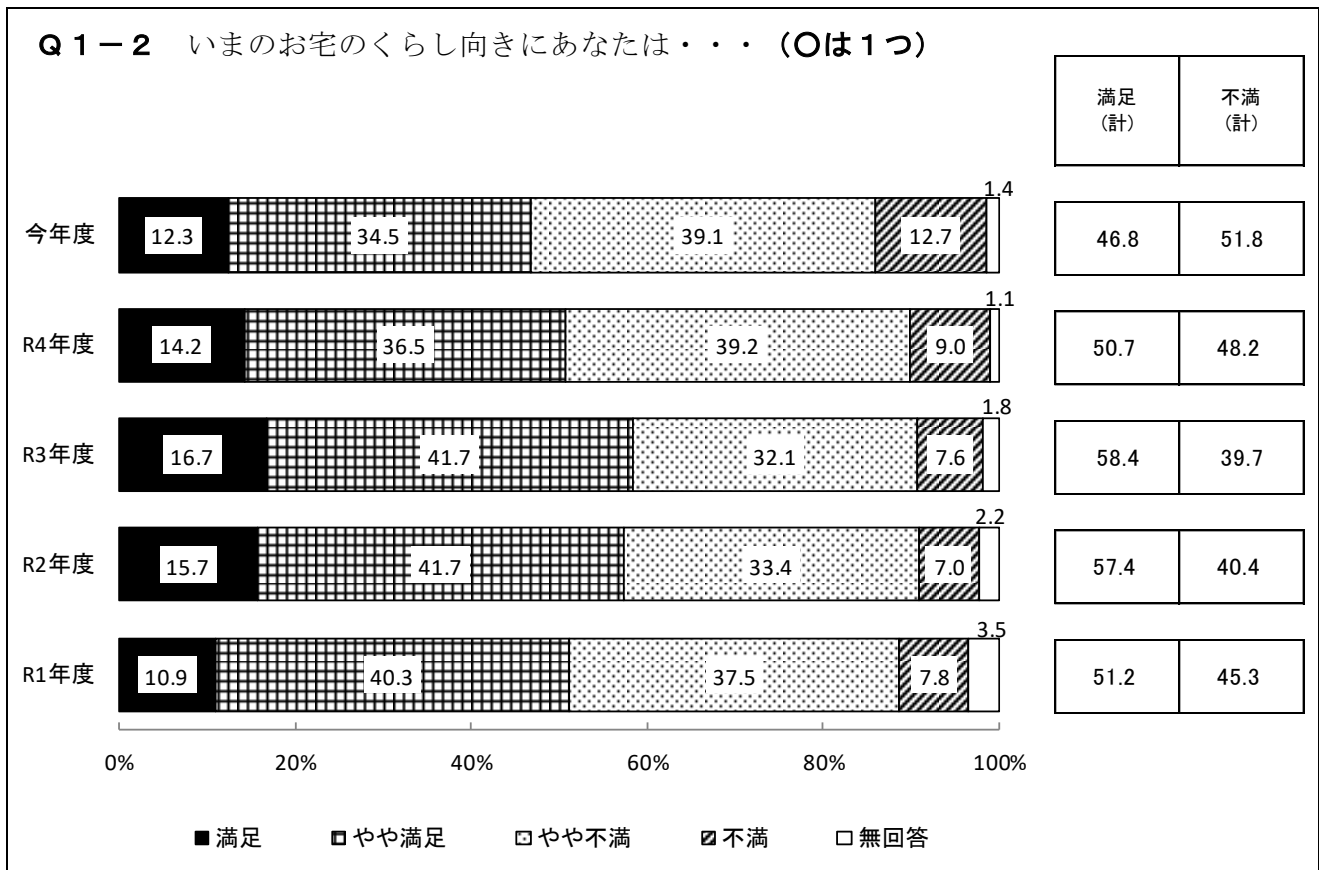
#### 1-1. 暮らし向きの変化



2～3年前に比べた暮らし向きは、「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた『良くなった(計)』が9.8%、「悪くなった」と「少し悪くなった」を合わせた『悪くなった(計)』が51.4%となっている。

直近5年間の回答状況をみると、『良くなった(計)』が1割前後、『悪くなった(計)』は3割から5割強で推移している。

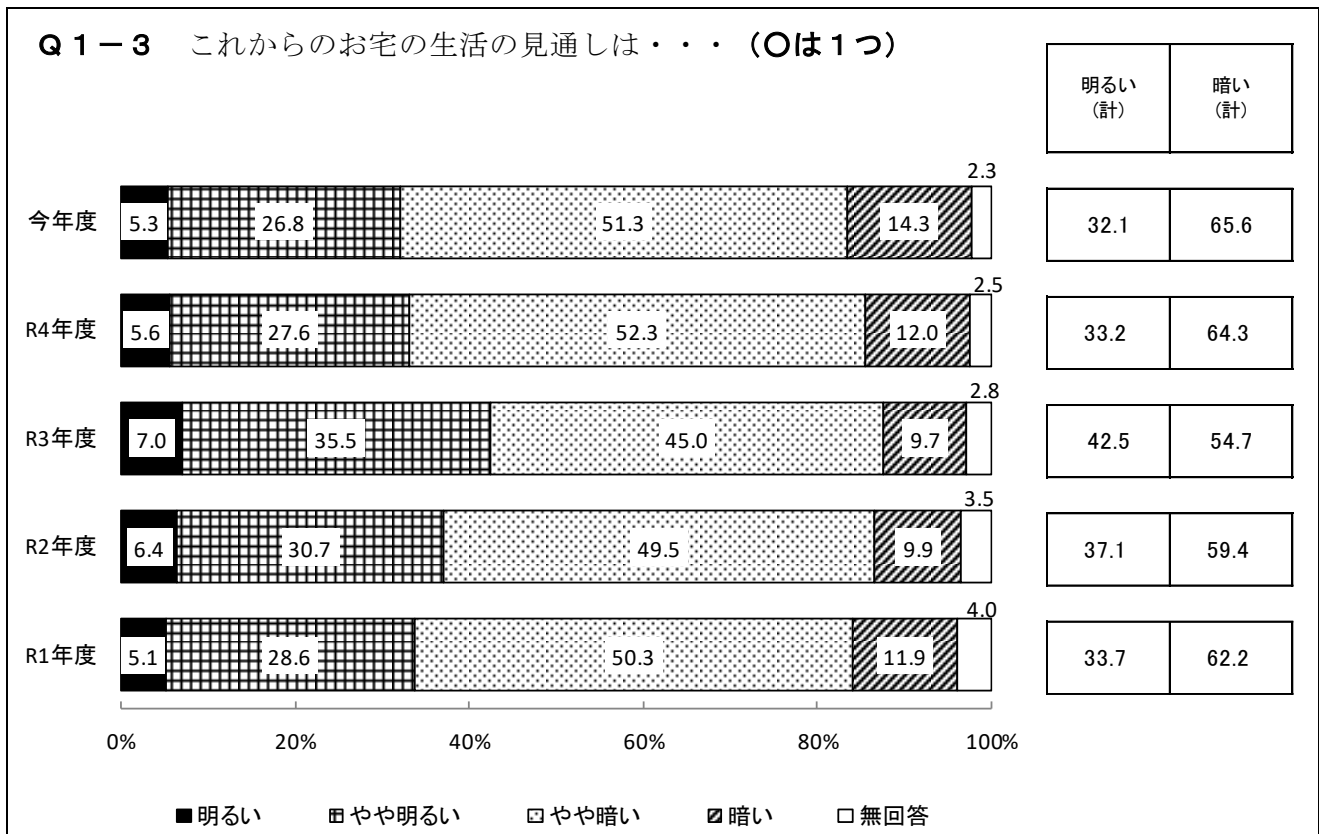
1-2. 暮らしの満足度



現在の暮らし向きに関する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足 (計)』が 46.8%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満 (計)』が 51.8%となっている。

直近5年間の回答状況を見ると、『満足 (計)』は4割半ばから5割台、『不満 (計)』は4割前後から5割強で推移している。

1-3. 今後の生活の見通し

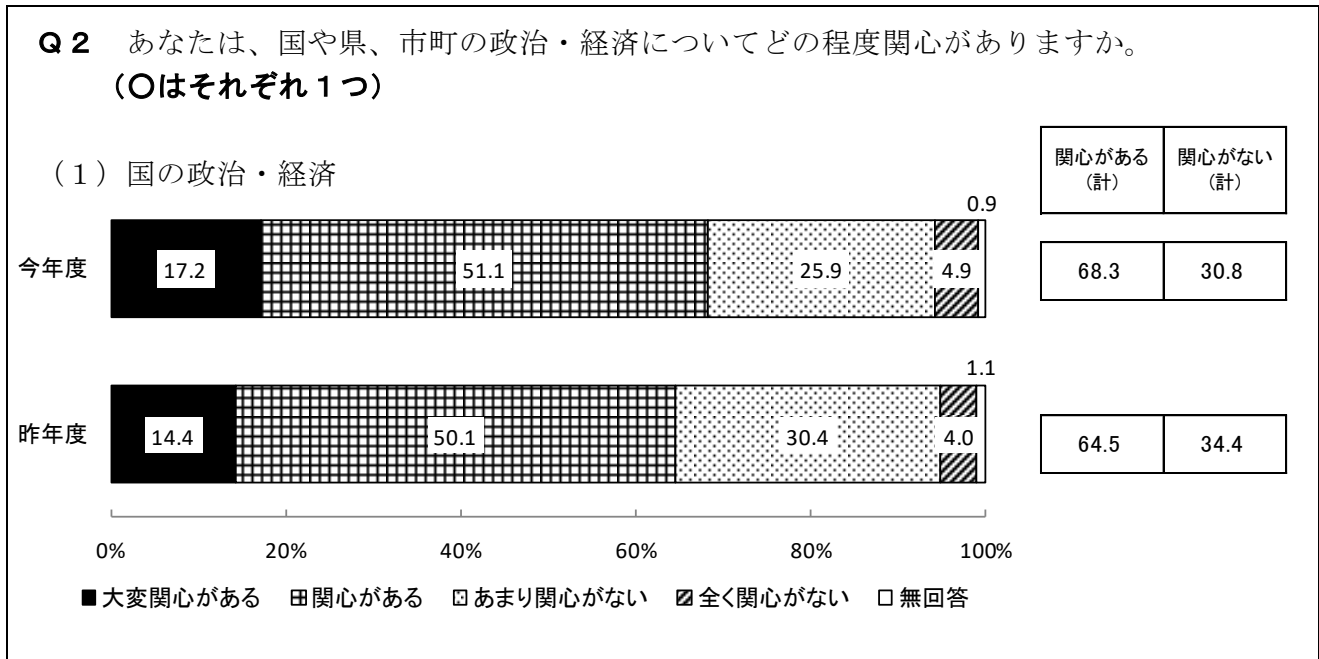


今後の生活の見通しについて、「明るい」と「やや明るい」を合わせた『明るい (計)』が32.1%、「暗い」と「やや暗い」を合わせた『暗い (計)』が65.6%となっている。

直近5年間の回答状況をみると、『明るい (計)』は3割強から4割強、『暗い (計)』は5割半ばから6割半ばで推移している。

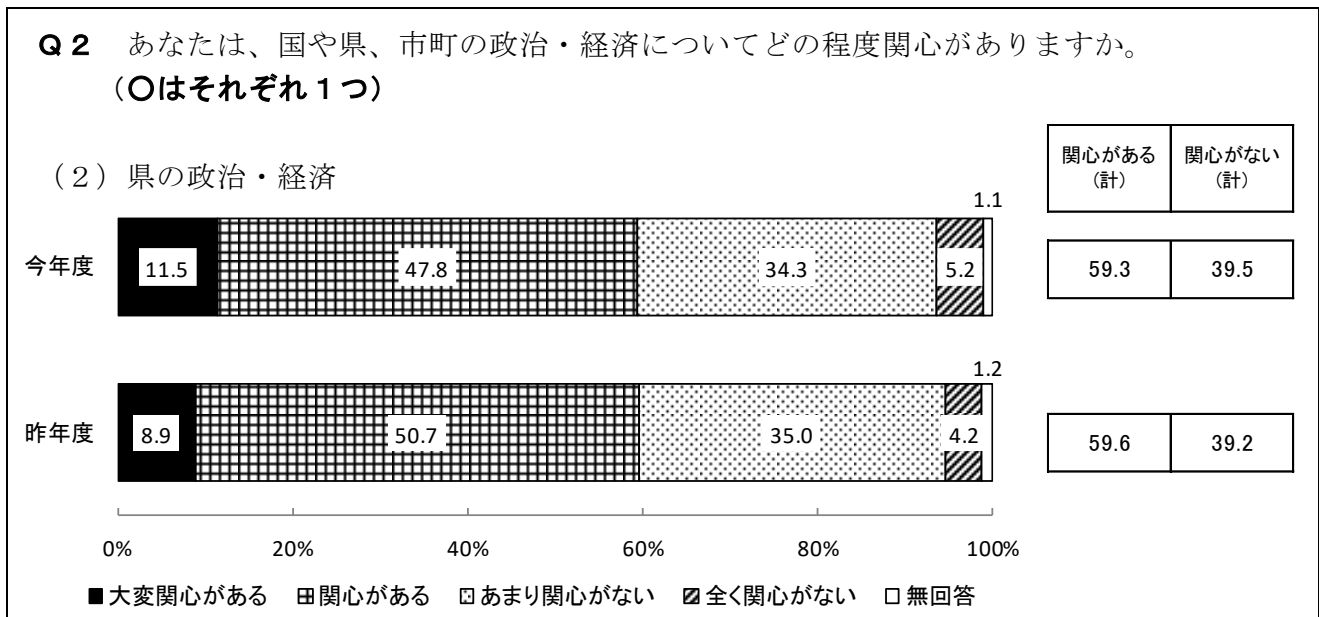
## 2. 政治や経済への関心

### 2-1. 国の政治や経済への関心



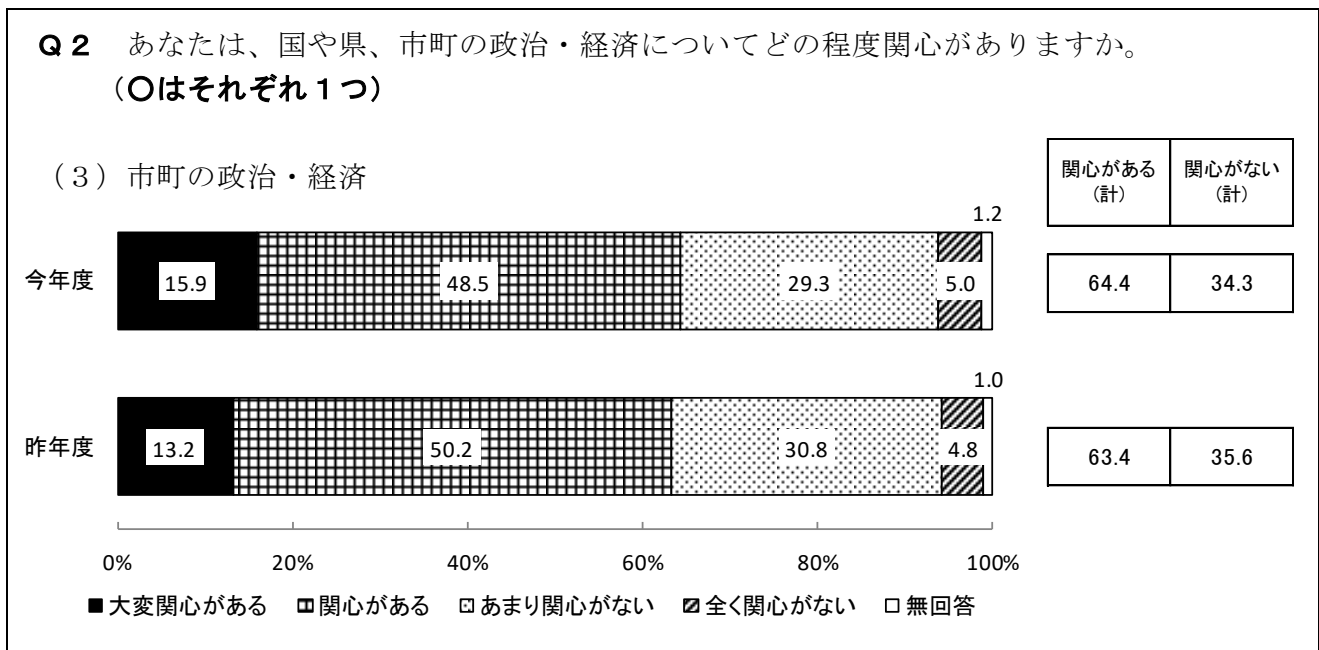
国の政治・経済に対する関心度について、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が68.3%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が30.8%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、『関心がある(計)』は3.8ポイント上昇、『関心がない(計)』は3.6ポイント低下している。

## 2-2. 県の政治や経済への関心



県の政治・経済に対する関心度について、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある (計)』が 59.3%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない (計)』が 39.5%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較しても、差はみられなかった。

## 2-3. 市町の政治や経済への関心

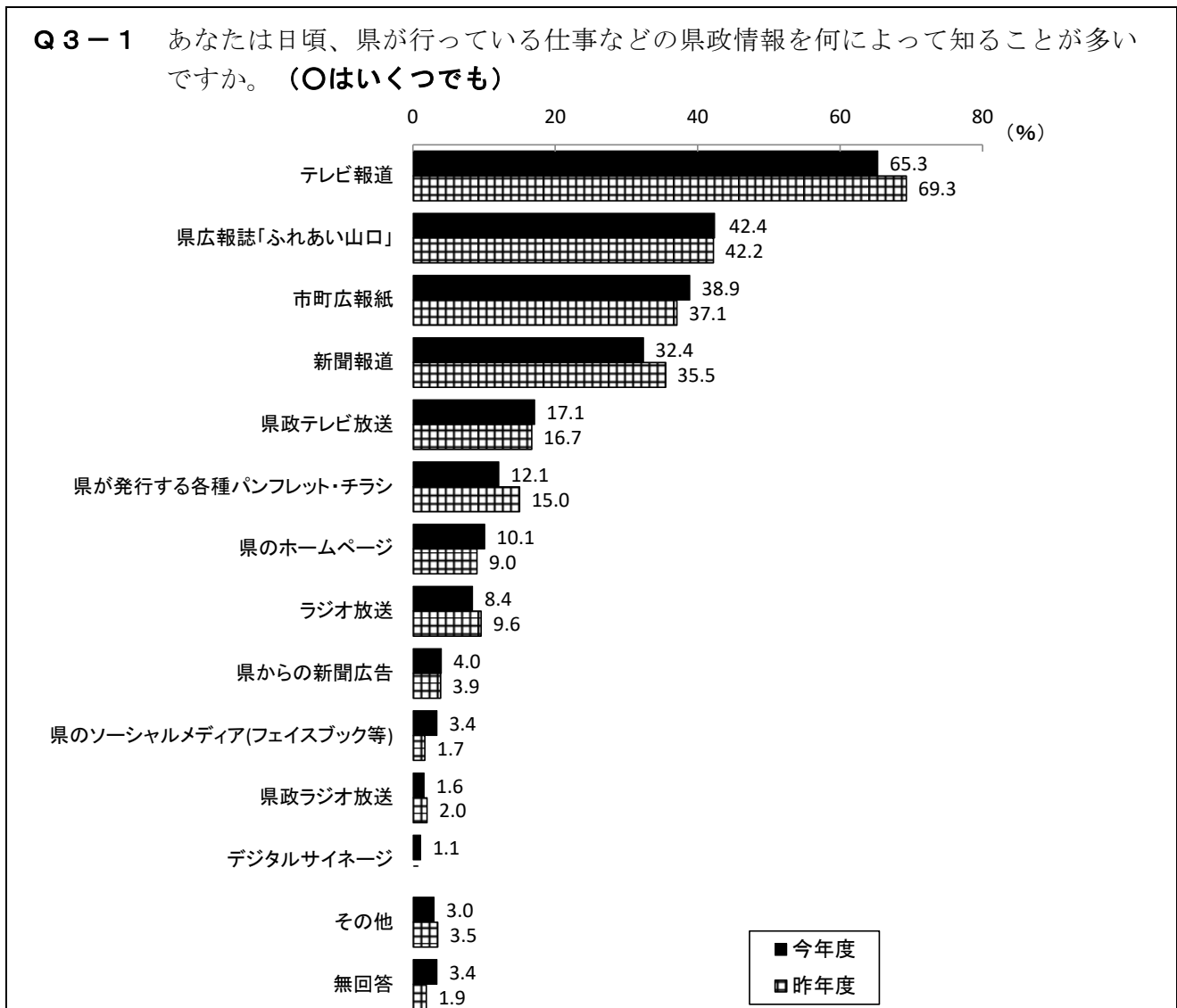


市町の政治・経済に対する関心度について、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある (計)』が 64.4%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない (計)』が 34.3%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、『関心がある (計)』は 1.0 ポイント上昇、『関心がない (計)』は 1.3 ポイント低下している。



### 3. 県が行う広報の認知等

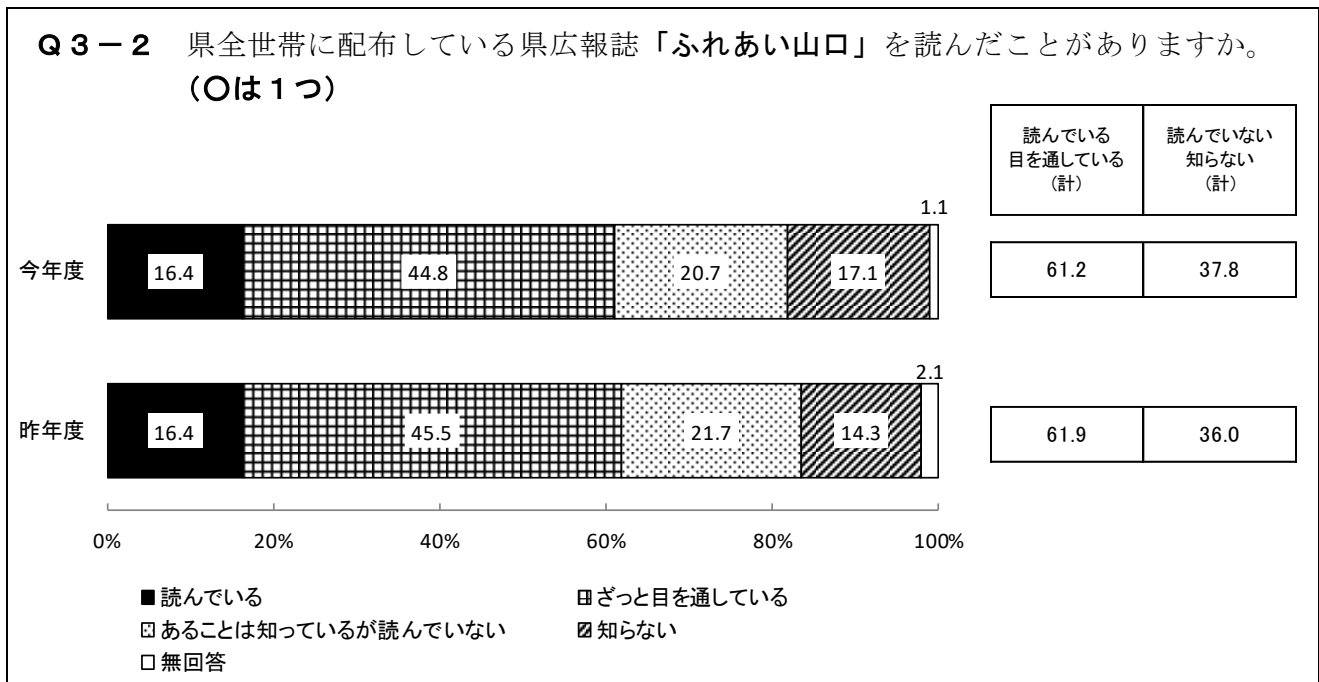
#### 3-1. 県の仕事の認知媒体



※選択肢「デジタルサイネージ」は今年度新設のため、昨年度のデータはありません。

県の仕事の認知媒体について、「テレビ報道」が 65.3%と最も高く、次いで「県広報誌『ふれあい山口』」が 42.4%、「市町広報紙」が 38.9%、「新聞報道」が 32.4%、「県政テレビ放送」が 17.1%の順となっている。昨年度と比較すると、「市町広報誌」で 1.8 ポイント上昇し、「テレビ報道」で 4.0 ポイント、「新聞報道」で 3.1 ポイントそれぞれ低下している。

3-2. 「ふれあい山口」の閲読状況



県広報誌「ふれあい山口」の閲読状況について、「読んでいる」と「ざっと目を通して」を合わせた『読んでいる・目を通して (計)』は61.2%、「あることは知っているが読んでいない」と「知らない」を合わせた『読んでいない・知らない (計)』は37.8%となっている。昨年度と比較すると、『読んでいる・目を通して (計)』は差がみられず、『読んでいない・知らない (計)』は1.8ポイント上昇している。

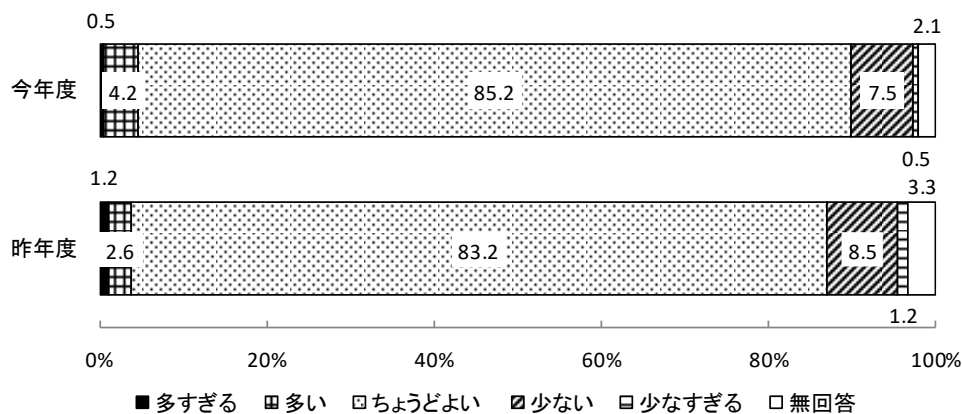
3-3. 「ふれあい山口」の内容に対する評価

【Q3-2で「読んでいる」と「ざっと目を通している」と回答した方に】 (n=802)

Q3-3 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。

(○はそれぞれ1つ)

(1) 発行回数 (年4回)

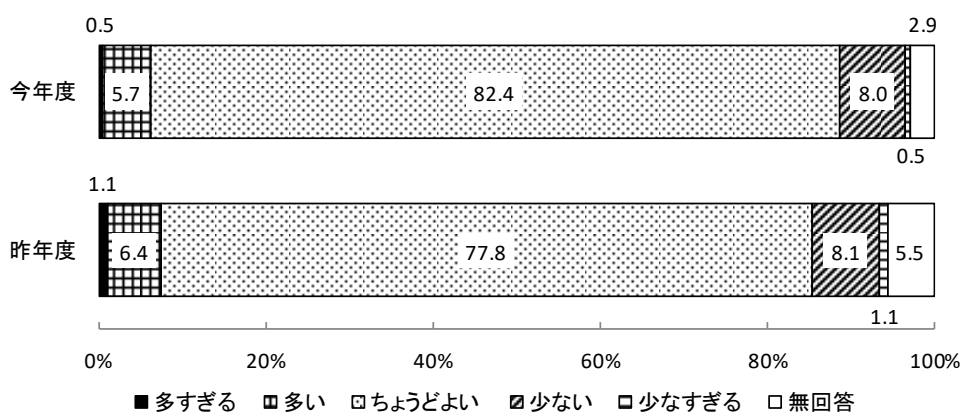


多い (計)	少ない (計)
-----------	------------

4.7	8.0
-----	-----

3.8	9.7
-----	-----

(2) 各号の情報量 (年4回：8ページ)

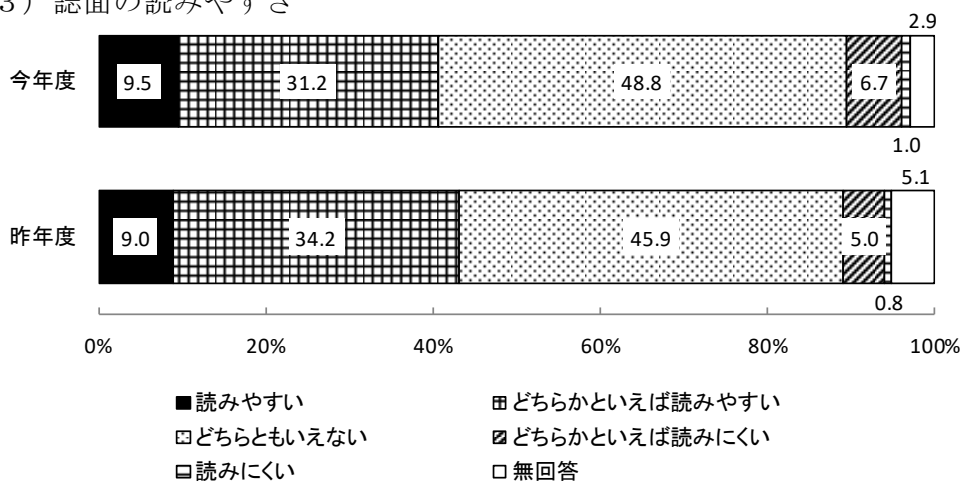


多い (計)	少ない (計)
-----------	------------

6.2	8.5
-----	-----

7.5	9.2
-----	-----

(3) 誌面の読みやすさ



読みやすい (計)	読みにくい (計)
--------------	--------------

40.7	7.7
------	-----

43.2	5.8
------	-----

Q3-2で「ふれあい山口」を「読んでいる」と「ざっと目を通している」と回答された方に、「ふれあい山口」の内容に対する評価について質問すると、発行回数は「ちょうどよい」が85.2%と最も高く、情報量についても「ちょうどよい」が82.4%と最も高くなっている。昨年度と比較すると、発行回数が「少ない」と「少なすぎる」合わせた『少ない(計)』は1.7ポイント低下、情報量が「多すぎる」と「多い」を合わせた『多い(計)』は1.3ポイント低下となっている。また、読みやすさについては、「どちらかといえば読みにくい」と「読みにくい」を合わせた『読みにくい(計)』が7.7%となり、昨年度と比較して1.9ポイント上昇している。

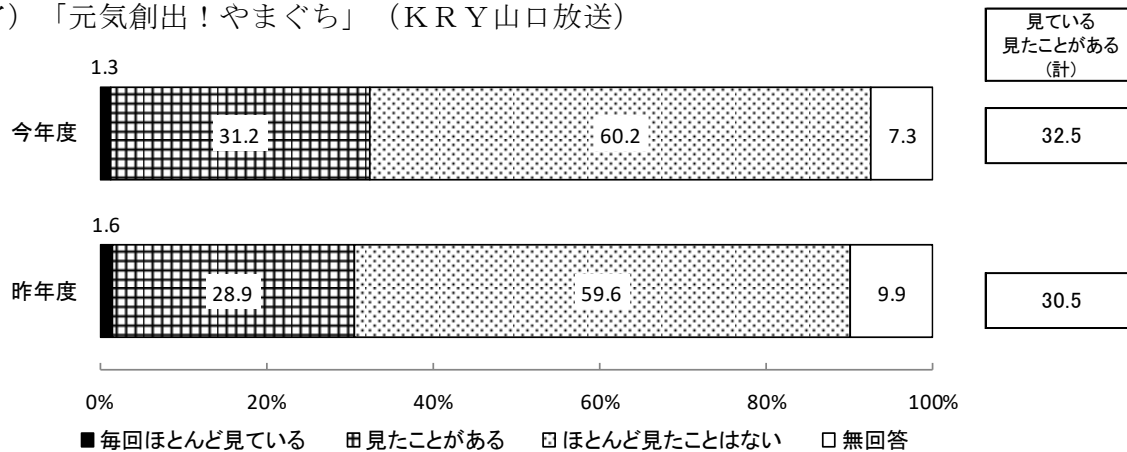
3-4. 各テレビ番組・各ラジオ番組の視聴（聴取）状況及び印象

Q3-4 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。

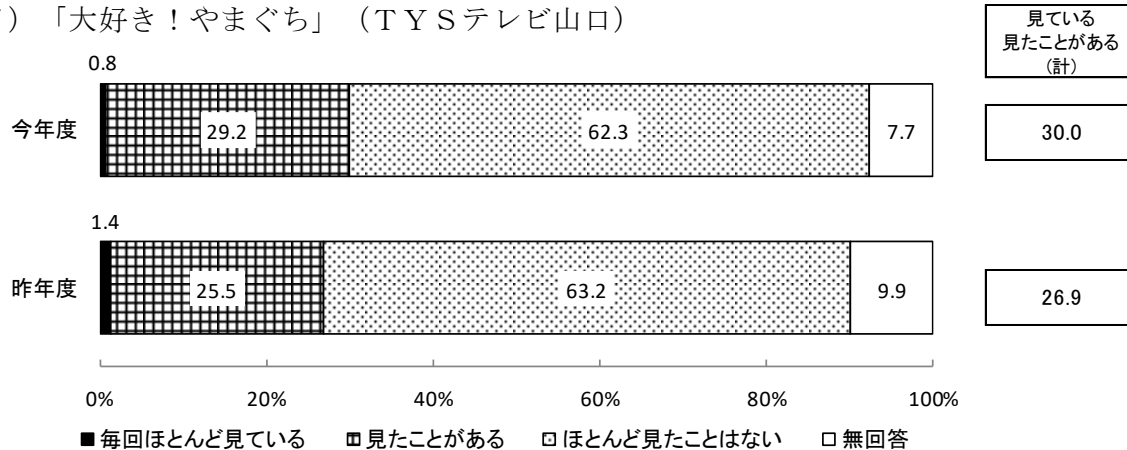
(1) 次の番組を視聴（または聴取）されたことがありますか。1、2、3から選んでください。

(○はそれぞれ1つ)

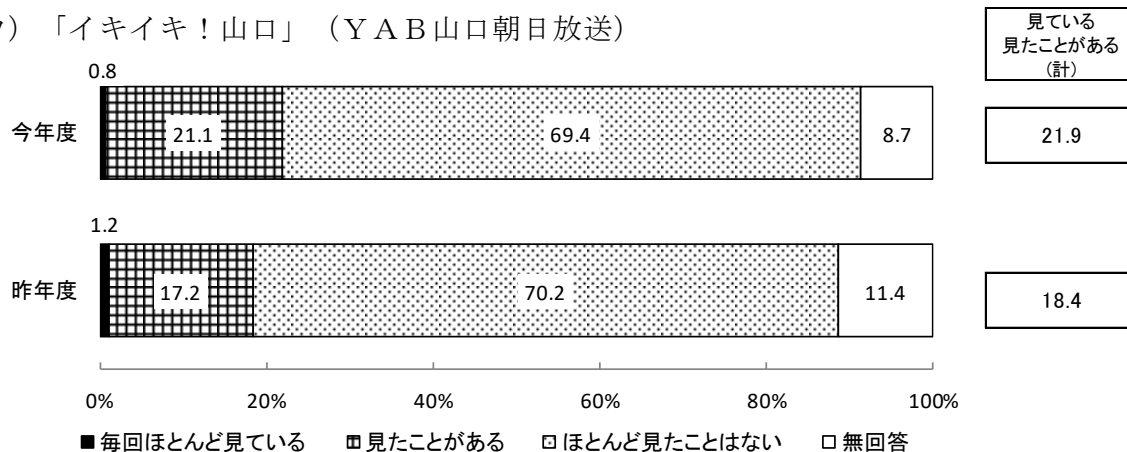
(ア) 「元気創出！やまぐち」（KRY山口放送）



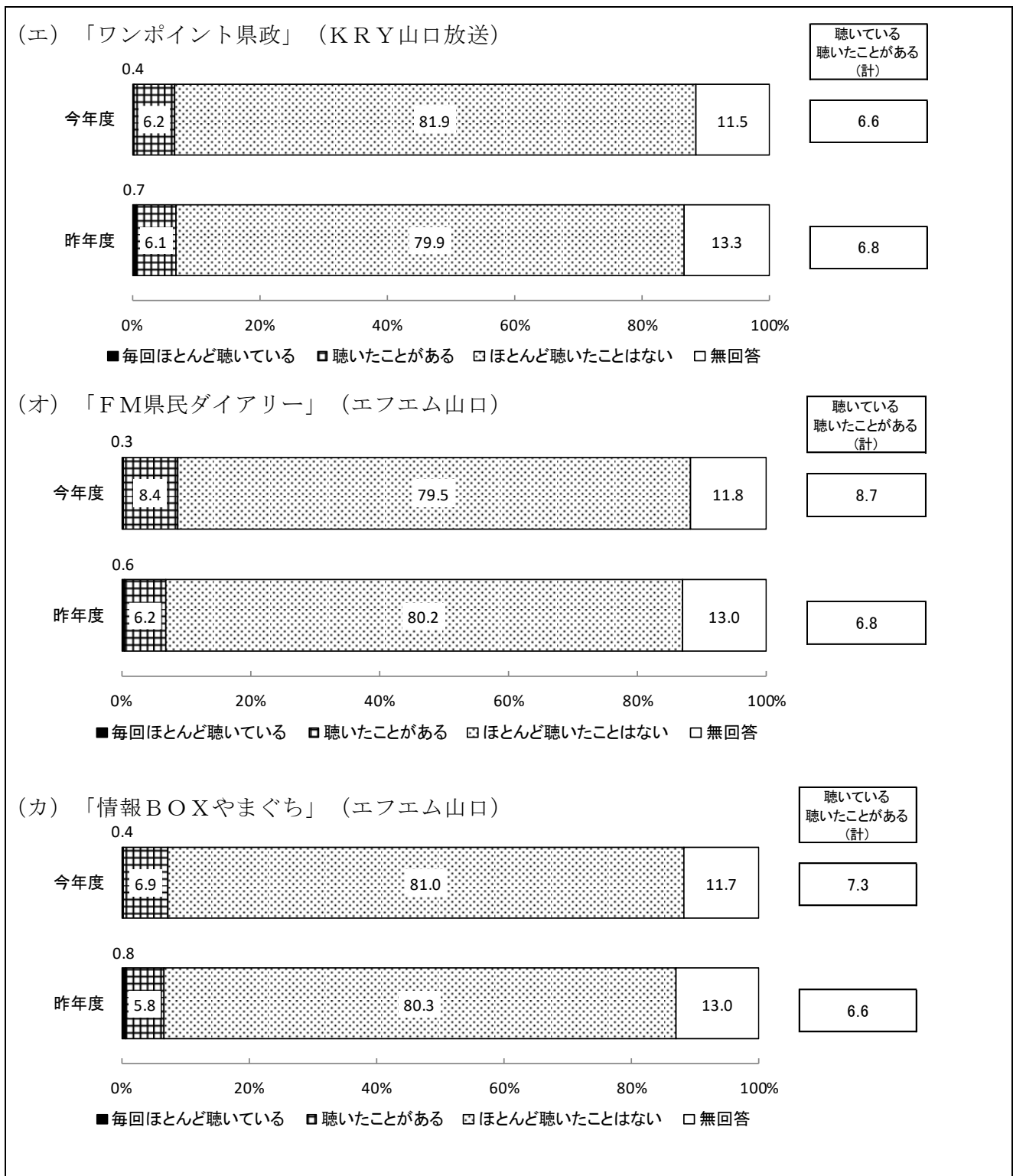
(イ) 「大好き！やまぐち」（TYSテレビ山口）



(ウ) 「イキイキ！山口」（YAB山口朝日放送）



県が提供している県政テレビ番組の視聴状況について、「毎回ほとんど見ている」と「見たことがある」を合わせた『見ている・見たことがある（計）』が、「元気創出！やまぐち」は32.5%、「大好き！やまぐち」は30.0%、「イキイキ！山口」は21.9%となっており、いずれの番組も昨年度より2～3ポイント以上上昇している。

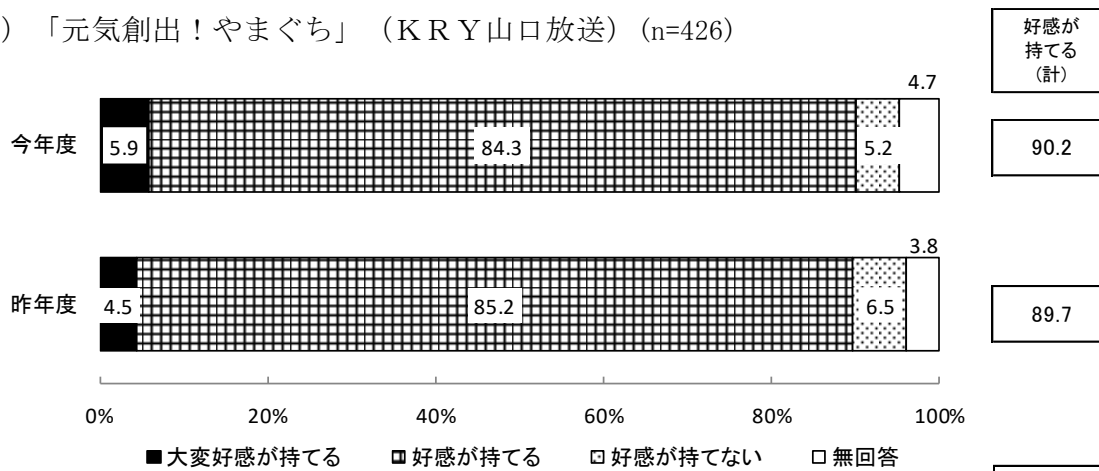


県が提供している県政ラジオ番組の聴取状況について、「毎回ほとんど聴いている」と「聴いたことがある」を合わせた『聴いている・聴いたことがある (計)』が、「ワンポイント県政」は6.6%、「FM県民ダイアリー」は8.7%、「情報BOXやまぐち」は7.3%となっており、昨年度と同程度で推移している。

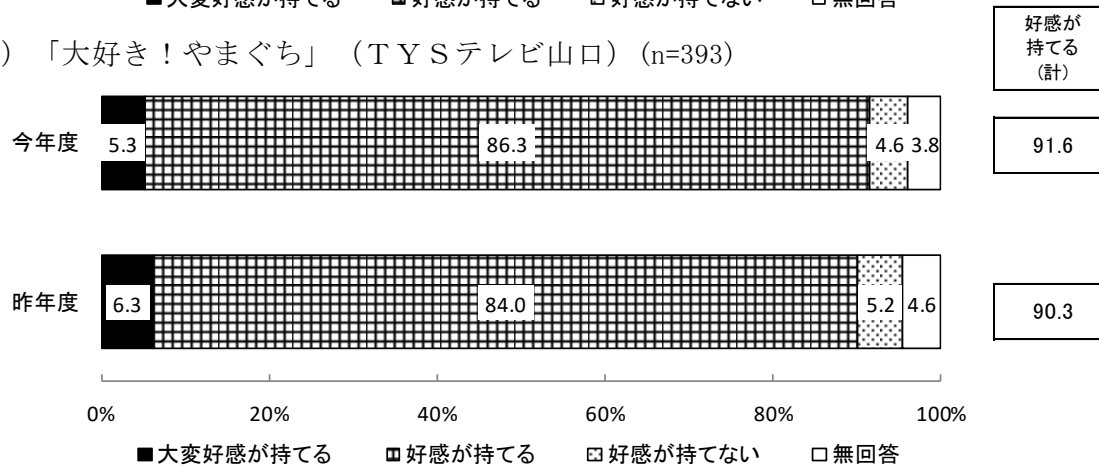
**Q3-4** 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。

(2) 視聴（または聴取）されたことがある場合は、その番組の印象をア、イ、ウから選んでください。（○はそれぞれ1つ）

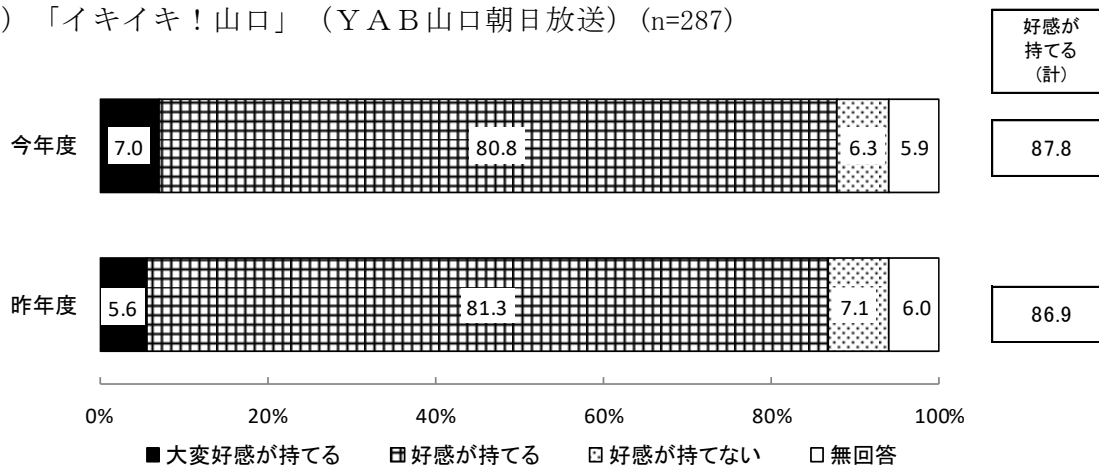
(ア) 「元気創出！やまぐち」（KRY山口放送）（n=426）



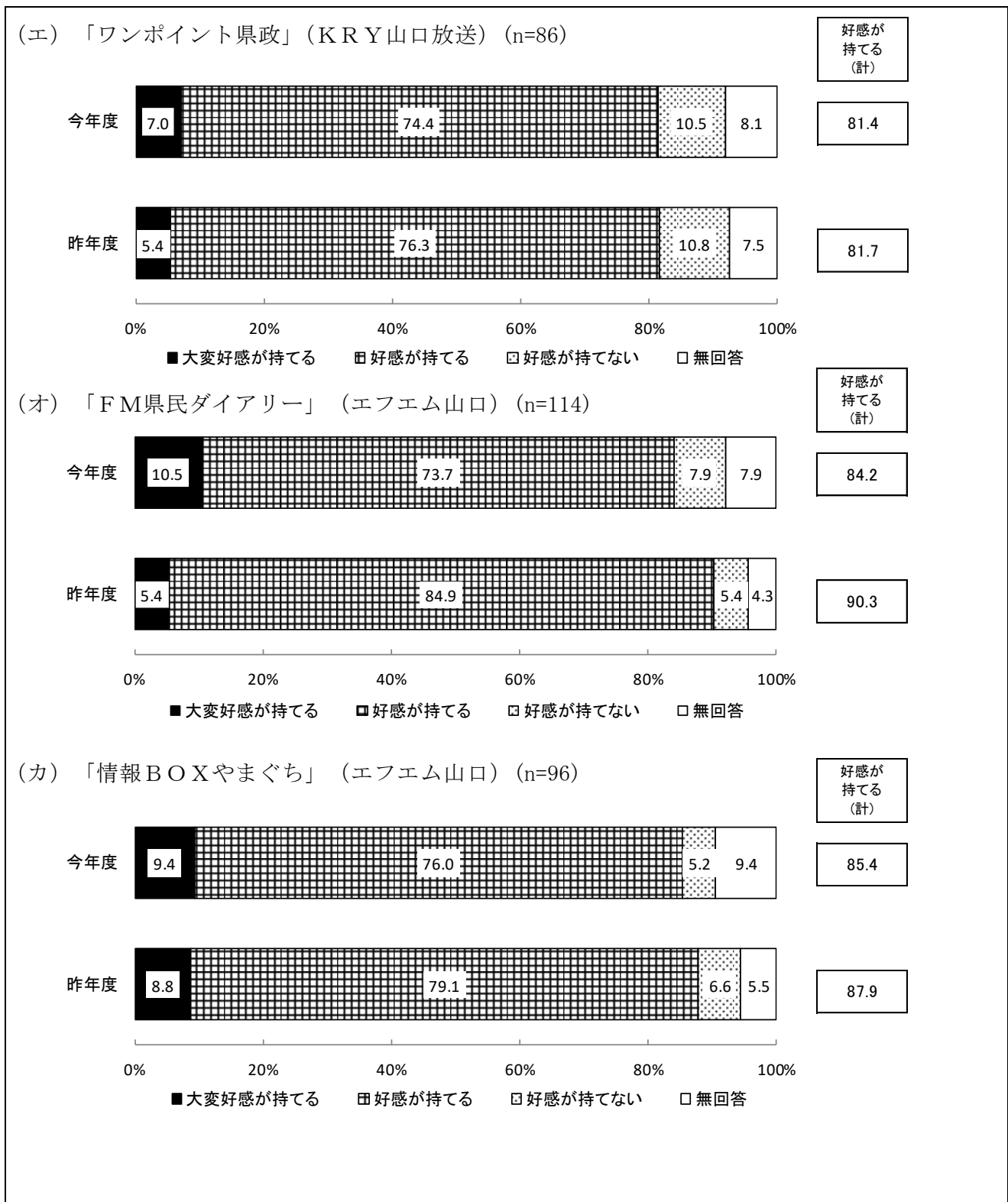
(イ) 「大好き！やまぐち」（TYSテレビ山口）（n=393）



(ウ) 「イキイキ！山口」（YAB山口朝日放送）（n=287）



県が提供している県政テレビ番組の各番組の印象について、「大変好感が持てる」と「好感が持てる」を合わせた『好感が持てる（計）』がいずれも9割前後となっており、昨年度と同程度で推移している。

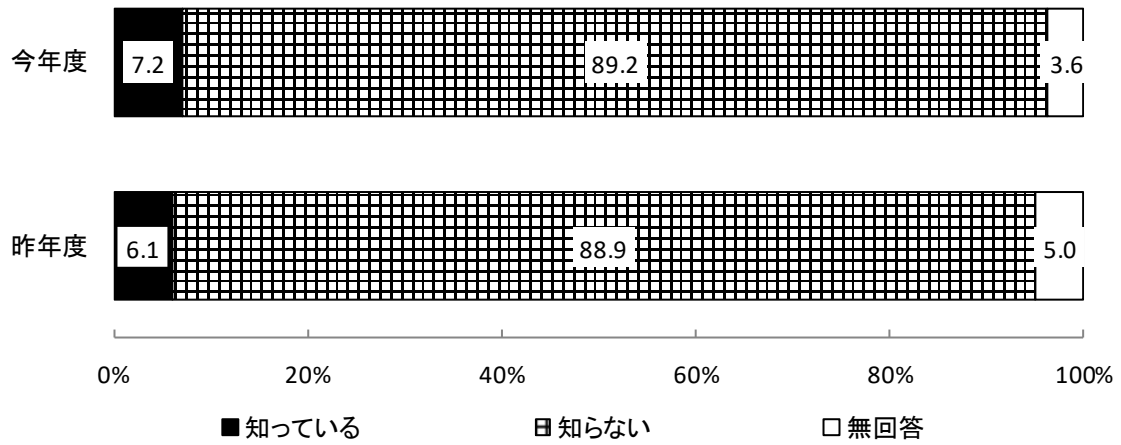


県が提供している県政ラジオ番組の各番組の印象について、「大変好感が持てる」と「好感が持てる」を合わせた『好感が持てる (計)』がいずれも8割台となっている。昨年度と比較すると、「FM県民ダイアリー」は6.1ポイント、「情報BOXやまぐち」は2.5ポイントそれぞれ低下している。



3-5. 県の広報展開の認知度

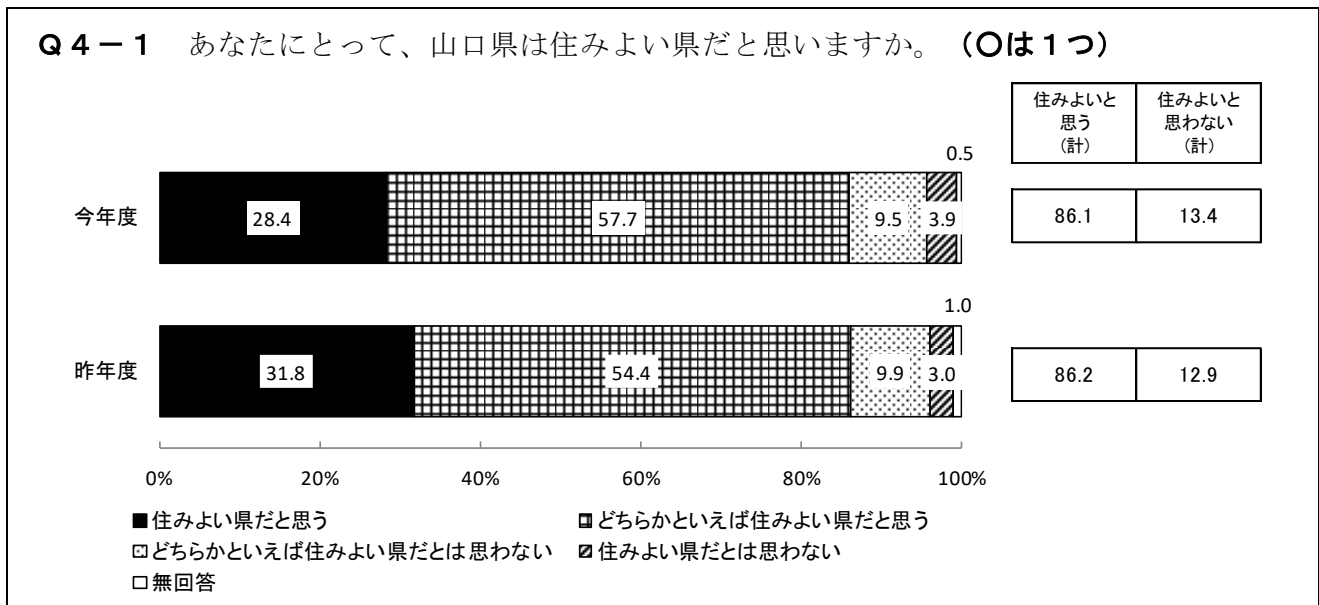
Q3-5 県では、本県の多彩な魅力や施策等の情報を、SNS等も活用し、ターゲットとなる方々に着実に届ける広報を展開しています。あなたは、このことをご存じですか。（〇は1つ）



県の広報展開の認知度について、「知っている」が7.2%、「知らない」が89.2%となり、知らない人の割合が9割弱を占めている。また、昨年度と比較すると、「知っている」は1.1ポイント上昇している。

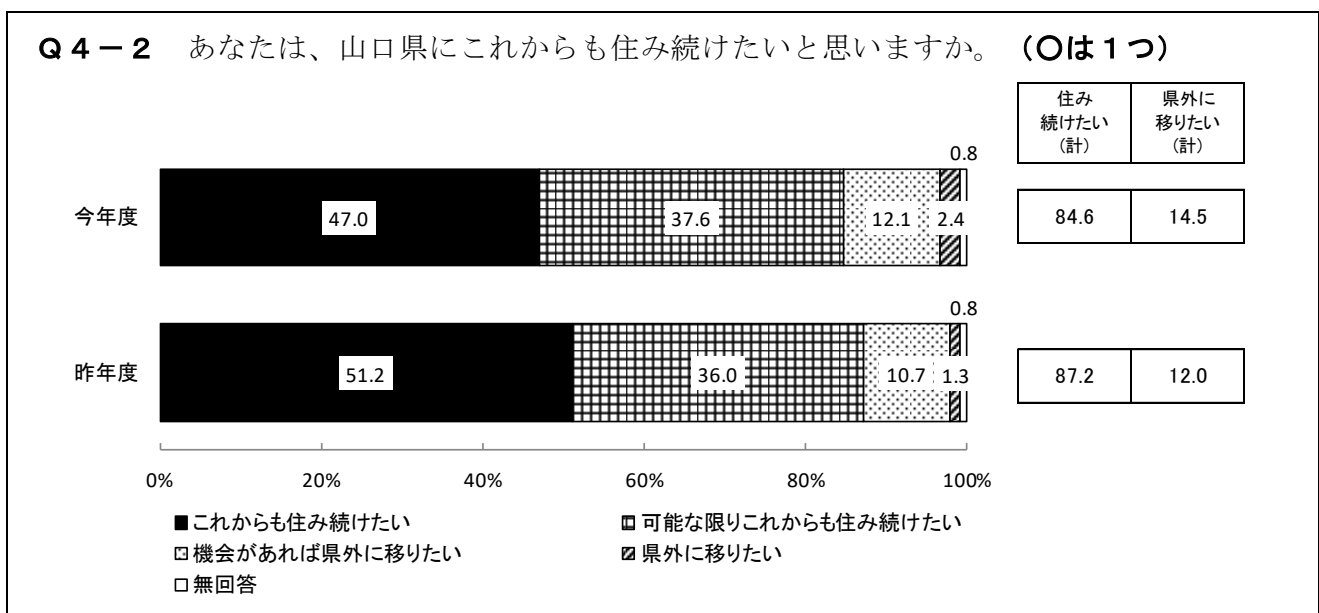
## 4. 県の取組に対する実感

### 4-1. 山口県の住みよさ



山口県の住みよさについて、「住みよい県だと思う」と「どちらかといえば住みよい県だと思う」を合わせた『住みよいと思う (計)』が 86.1%となっており、昨年度と比較すると同程度で推移している。

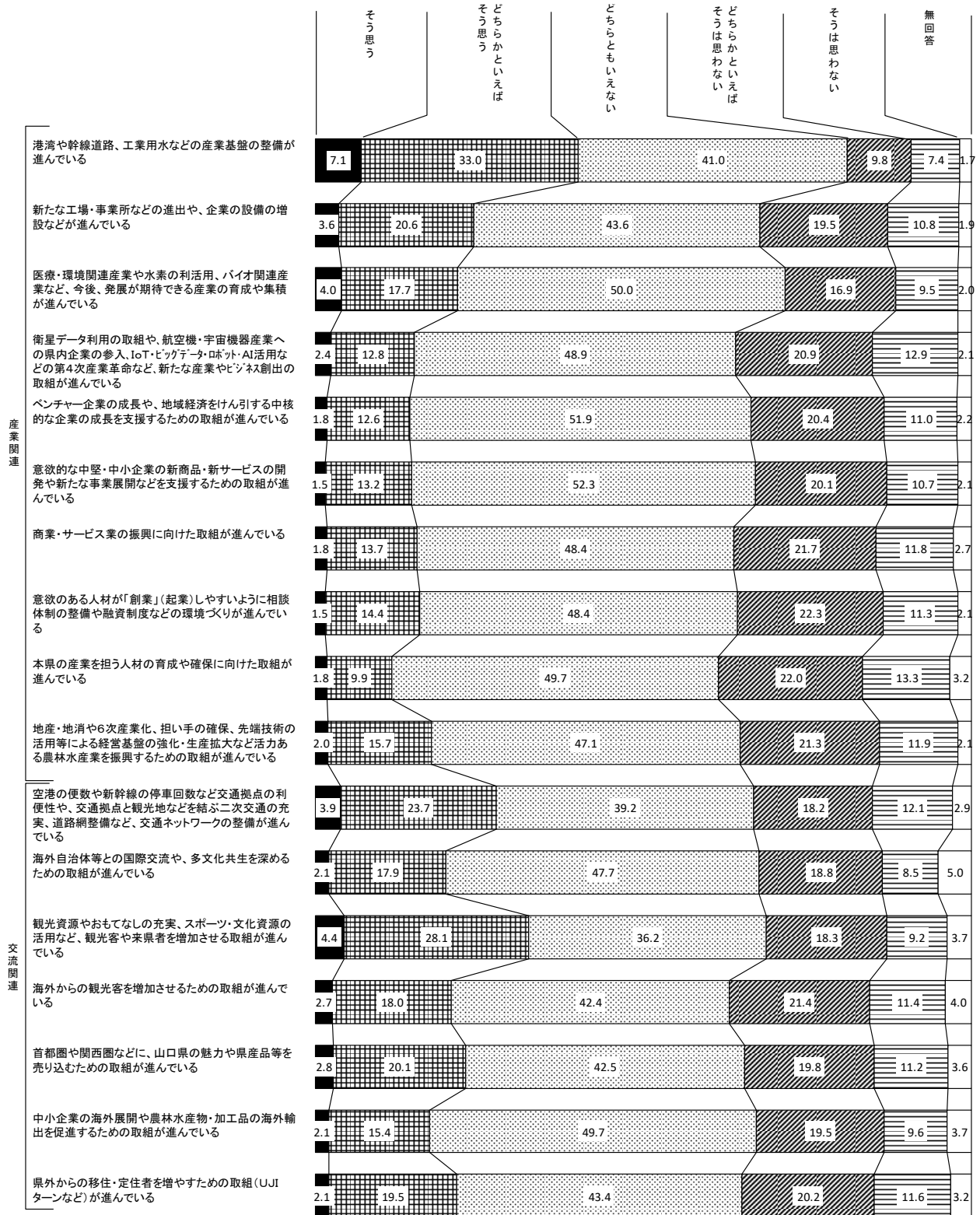
### 4-2. 今後の山口県での居住意向

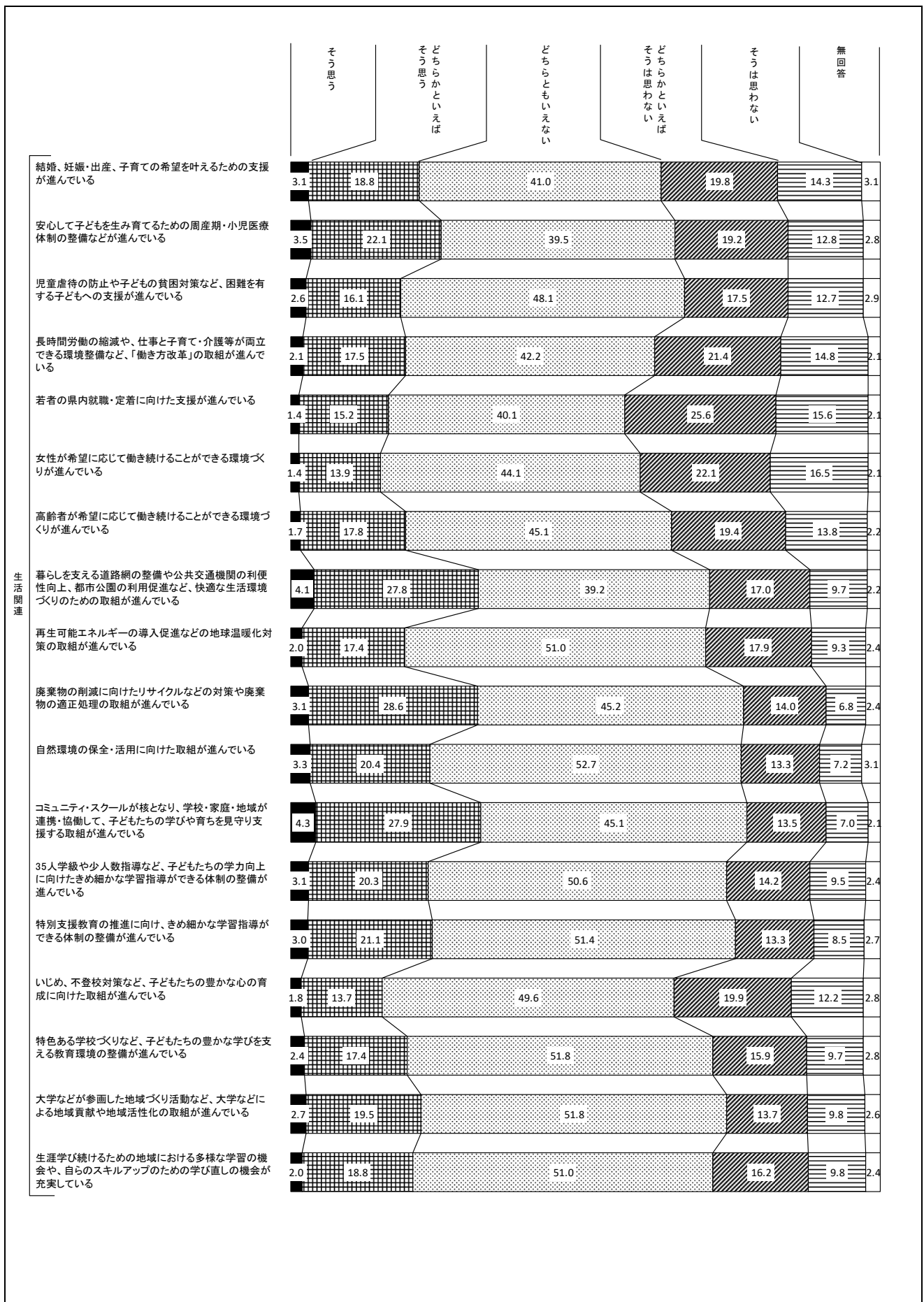


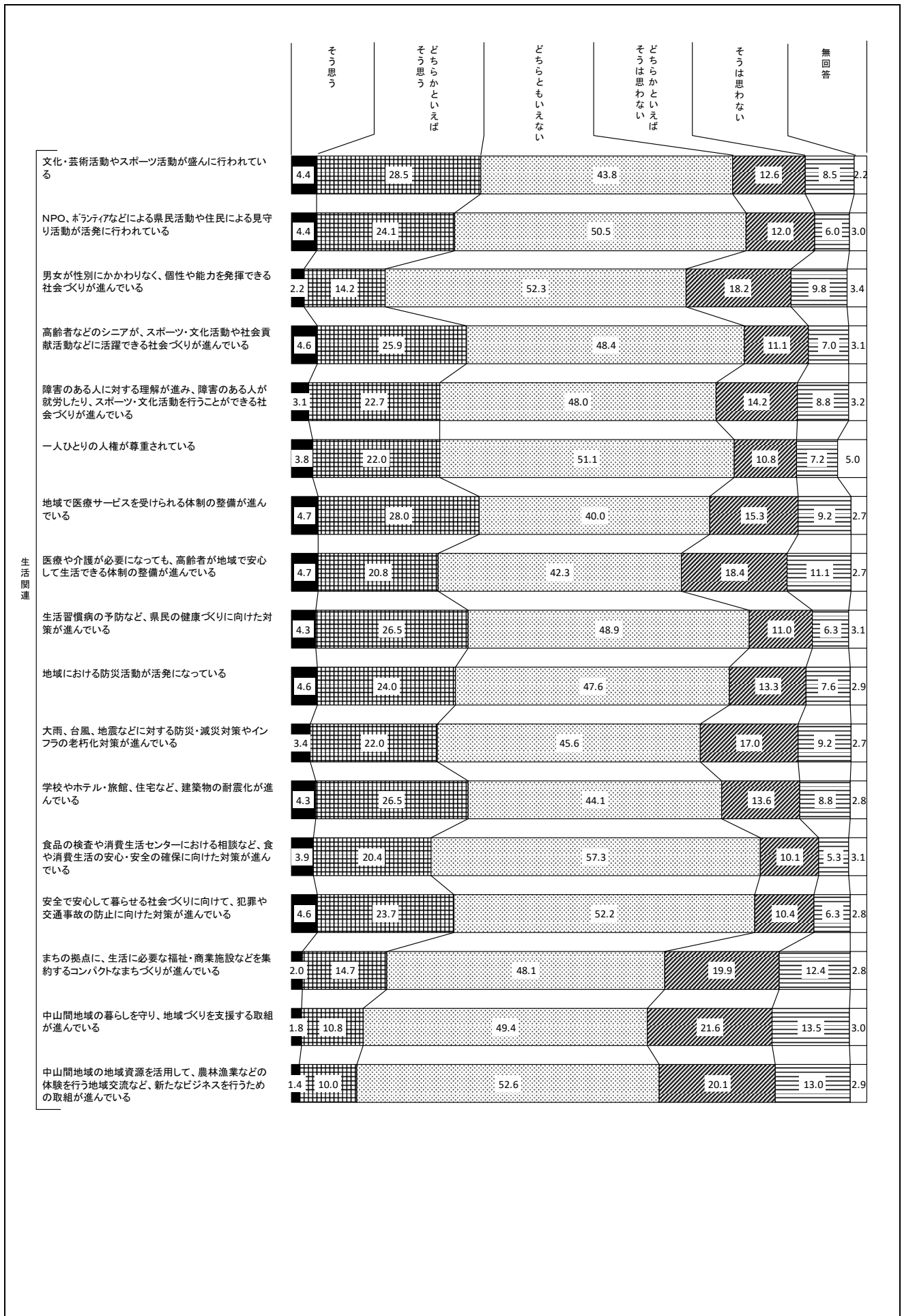
今後の山口県での居住意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい (計)』が 84.6%となっており、昨年度と比較すると、2.6ポイント低下している。

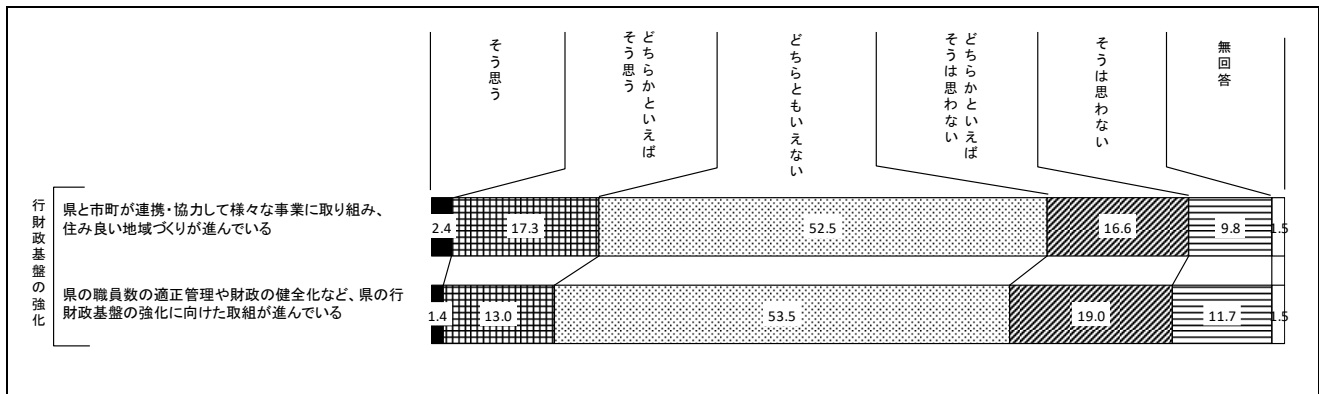
4-3. 県の取組に対する実感

Q4-3 「やまぐち維新プラン」では19のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の取組について、あなたの実感についておたずねします。右ページ（調査票）も参考に、いずれか1つを○で囲んでください。（○はそれぞれ1つずつ）









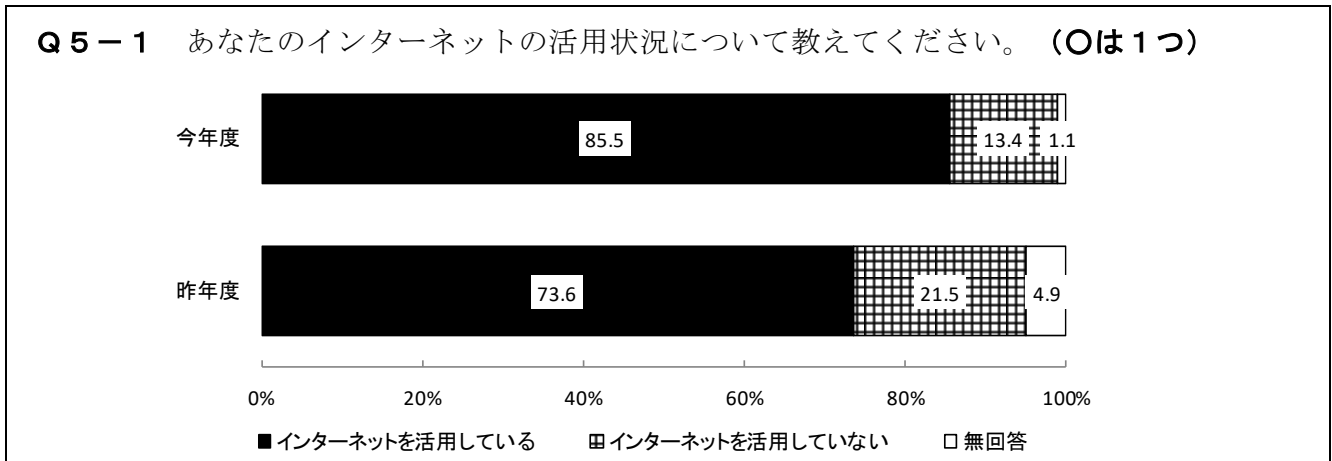
県の取組に対する実感について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う（計）』の割合は、【産業関連】分野の「港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる」が40.1%、【生活関連】分野の「文化・芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われている」が32.9%、【生活関連】分野の「地域で医療サービスを受けられる体制の整備が進んでいる」が32.7%、【大交流維新】分野の「観光資源やおもてなしの充実、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる」が32.5%などで高くなっている。

一方、「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『思わない（計）』の割合は、【生活関連】分野の「若者の県内就職・定着に向けた支援が進んでいる」が41.2%、【生活関連】分野の「女性が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる」が38.6%、【生活関連】分野の「長時間労働の縮減や、仕事と子育て・介護等が両立できる環境整備など、「働き方改革」の取組が進んでいる」が36.2%などで高くなっている。

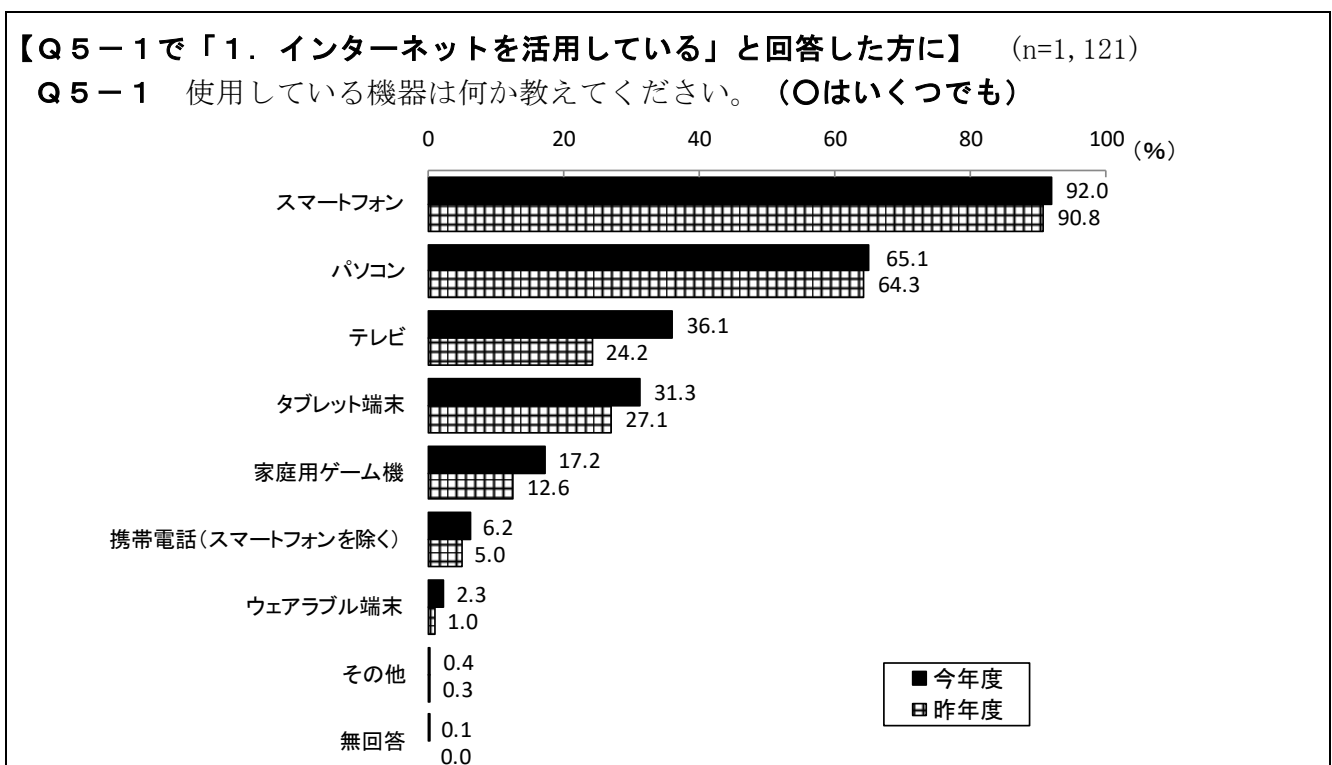
『その他、県が取組を進めている17項目』

5. デジタル化について

5-1. インターネットの活用状況

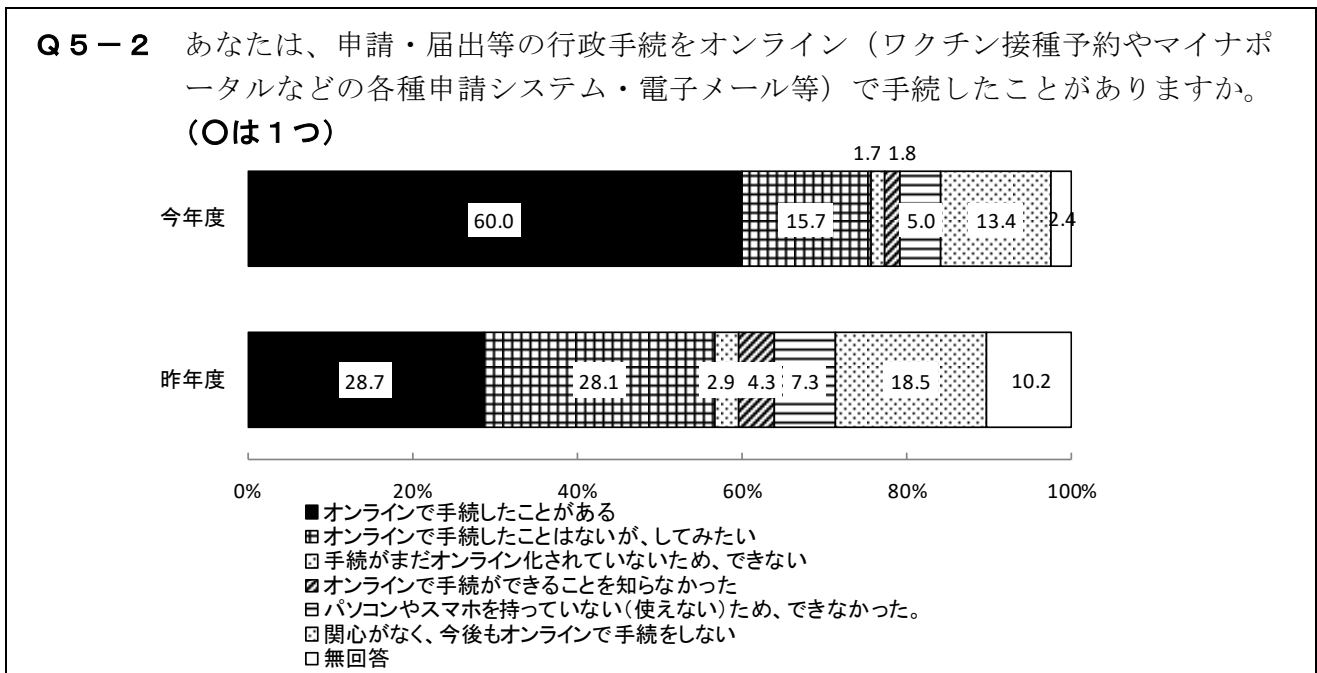


インターネットの活用状況について、「インターネットを活用している」が85.5%、「インターネットを活用していない」が13.4%となっている。昨年度と比較すると、「インターネットを活用している」は11.9ポイント上昇し、「インターネットを活用していない」は8.1ポイント低下している。



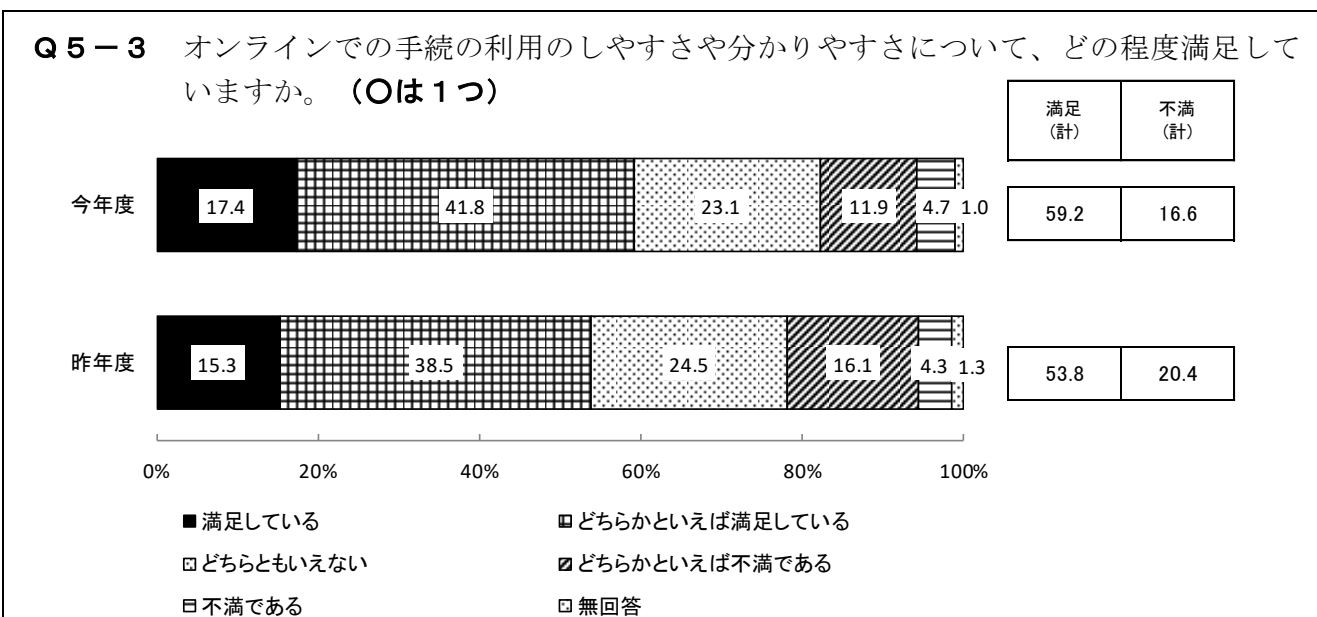
Q5-1で「インターネットを活用している」と回答した方に、使用している機器について質問すると、「スマートフォン」が92.0%と最も高く、次いで「パソコン」が65.1%、「テレビ」が36.1%、「タブレット端末」が31.3%、「家庭用ゲーム機」が17.2%の順となっている。昨年度と比較すると、すべての機器で上昇している。

5-2. 申請・届出等の行政手続のオンライン活用状況



申請・届出等の行政手続のオンライン利用状況について、「オンラインで手続したことがある」が60.0%、「オンラインで手続したことはないが、してみたい」が15.7%となっている。昨年度と比較すると、「オンラインで手続したことがある」は31.3ポイント上昇し、「オンラインで手続したことはないが、してみたい」は12.4ポイント、「関心がなく、今後もオンラインで手続をしない」は5.1ポイントそれぞれ低下している。

5-3. オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについての満足度

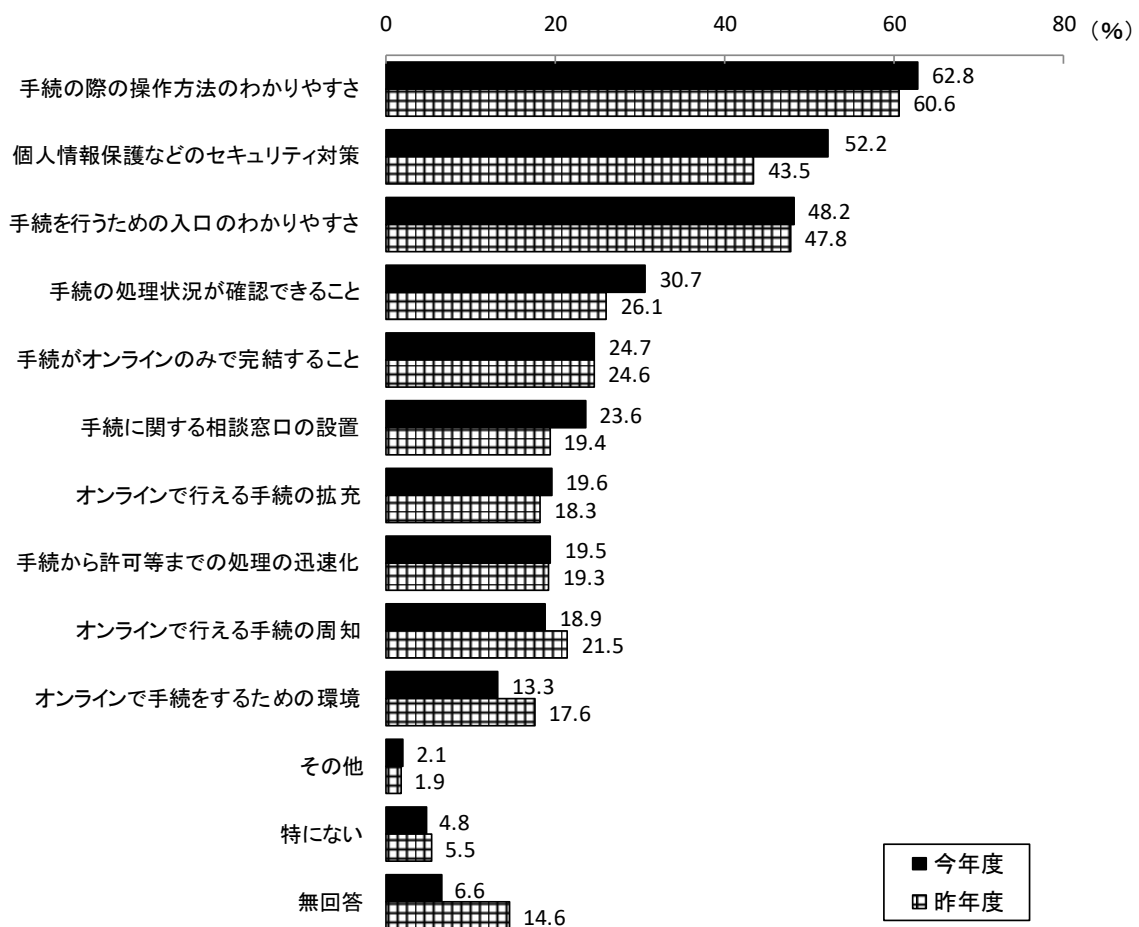


オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについて、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足 (計)』が59.2%、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた『不満 (計)』が16.6%となっている。昨年度と比較すると、『満足 (計)』は5.4ポイント上昇し、『不満 (計)』は3.8ポイント低下している。



5-4. オンライン手続きの促進に必要なこと

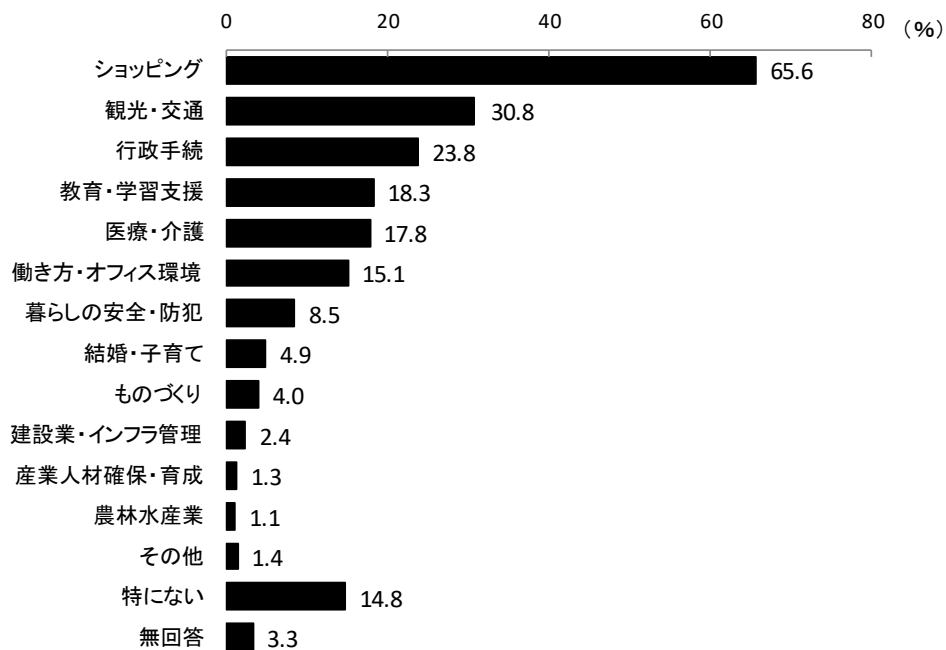
Q5-4 あなたは、オンラインでの手続きを促進するために、何が必要と考えますか。  
(○は1つ)



オンライン手続きの促進に必要なことについて、「手続きの際の操作方法のわかりやすさ」が 62.8%と最も高く、次いで「個人情報保護などのセキュリティ対策」が 52.2%、「手続きを行うための入口のわかりやすさ」が 48.2%、「手続きの処理状況が確認できること」が 30.7%、「手続きがオンラインのみで完結すること」が 24.7%の順となっている。昨年度と比較すると、上位項目はすべて上昇している。

## 5-5. デジタル技術の活用で便利になったと思う分野

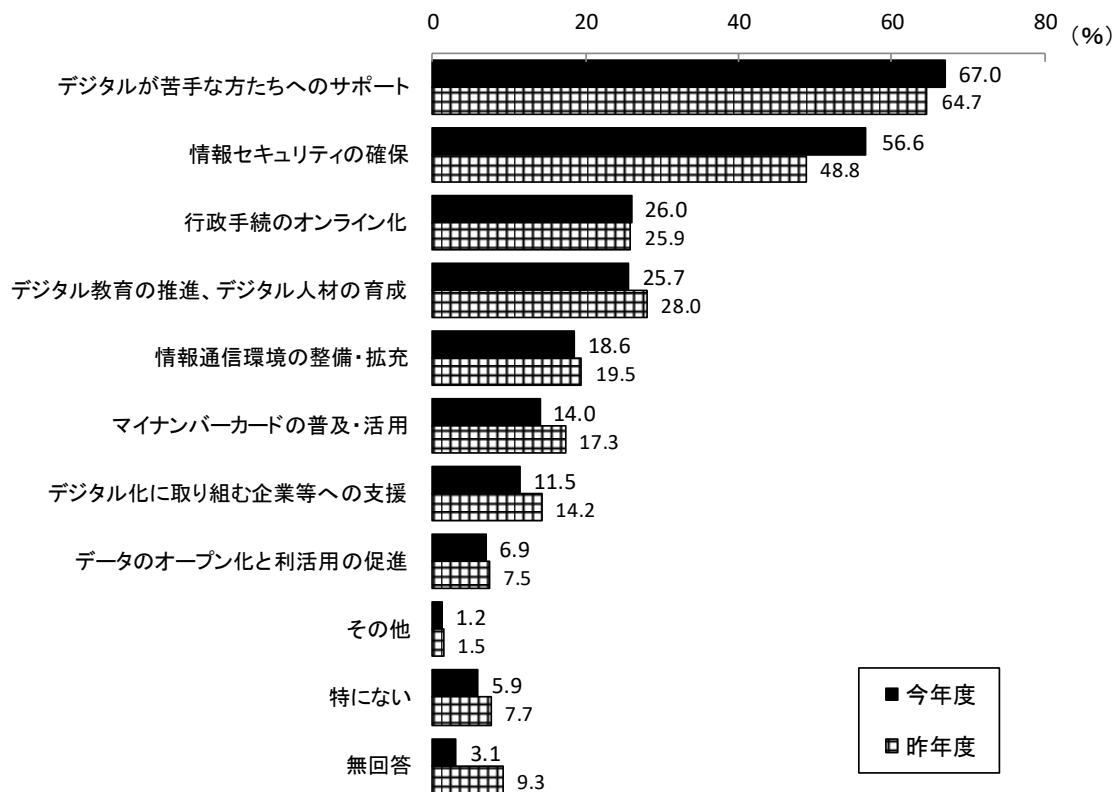
Q5-5 あなたは、どのような分野において、デジタル技術の活用で便利になったと思いますか。（〇はいくつでも）



デジタル技術の活用で便利になったと思う分野について、「ショッピング」が 65.6%と最も高く、次いで「観光・交通」が 30.8%、「行政手続」が 23.8%、「教育・学習支援」が 18.3%、「医療・介護」が 17.8%の順となっている。

5-6. デジタル化が進むために必要な取組

Q5-6 本県でデジタル化が進むためには、どのような取組が必要と考えますか。  
(〇はいくつでも)

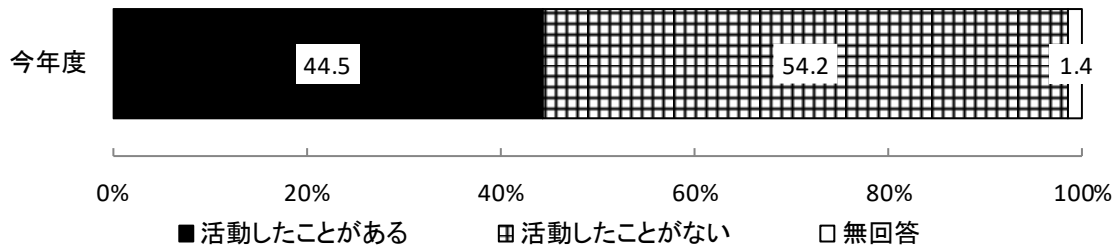


デジタル化が進むために必要な取組について、「デジタルが苦手な方たちへのサポート」が 67.0%と最も高く、次いで「情報セキュリティの確保」が 56.6%、「行政手続のオンライン化」が 26.0%、「デジタル教育の推進、デジタル人材の育成」が 25.7%、「情報通信環境の整備・拡充」が 18.6%の順となっている。昨年度と比較すると、「情報セキュリティの確保」は 7.8 ポイント、「デジタルが苦手な方たちへのサポート」は 2.3 ポイントそれぞれ上昇し、「マイナンバーカードの普及・活用」は 3.3 ポイント、「デジタル化に取り組む企業等への支援」は 2.7 ポイントそれぞれ低下している。

## 6. 県民活動について

### 6-1. 仕事以外での地域や社会のための活動

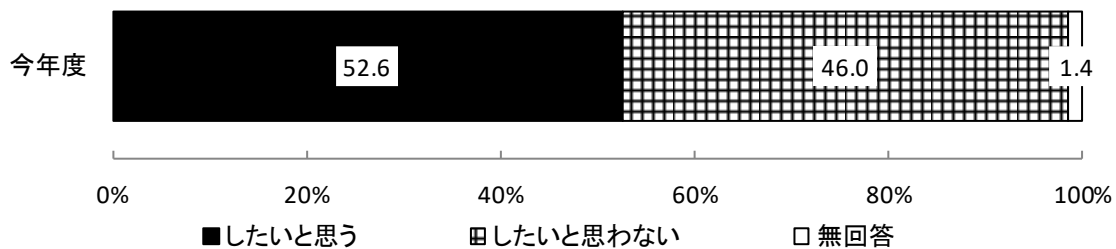
**Q6-1** あなたは、地域の清掃やスポーツ行事、リサイクル、高齢者や障害者のための福祉、子育て支援など、仕事以外で地域や社会のために活動したことはありますか。  
(○は1つ)



仕事以外での地域や社会のための活動について、「活動したことがある」が44.5%、「活動したことがない」が54.2%となっている。

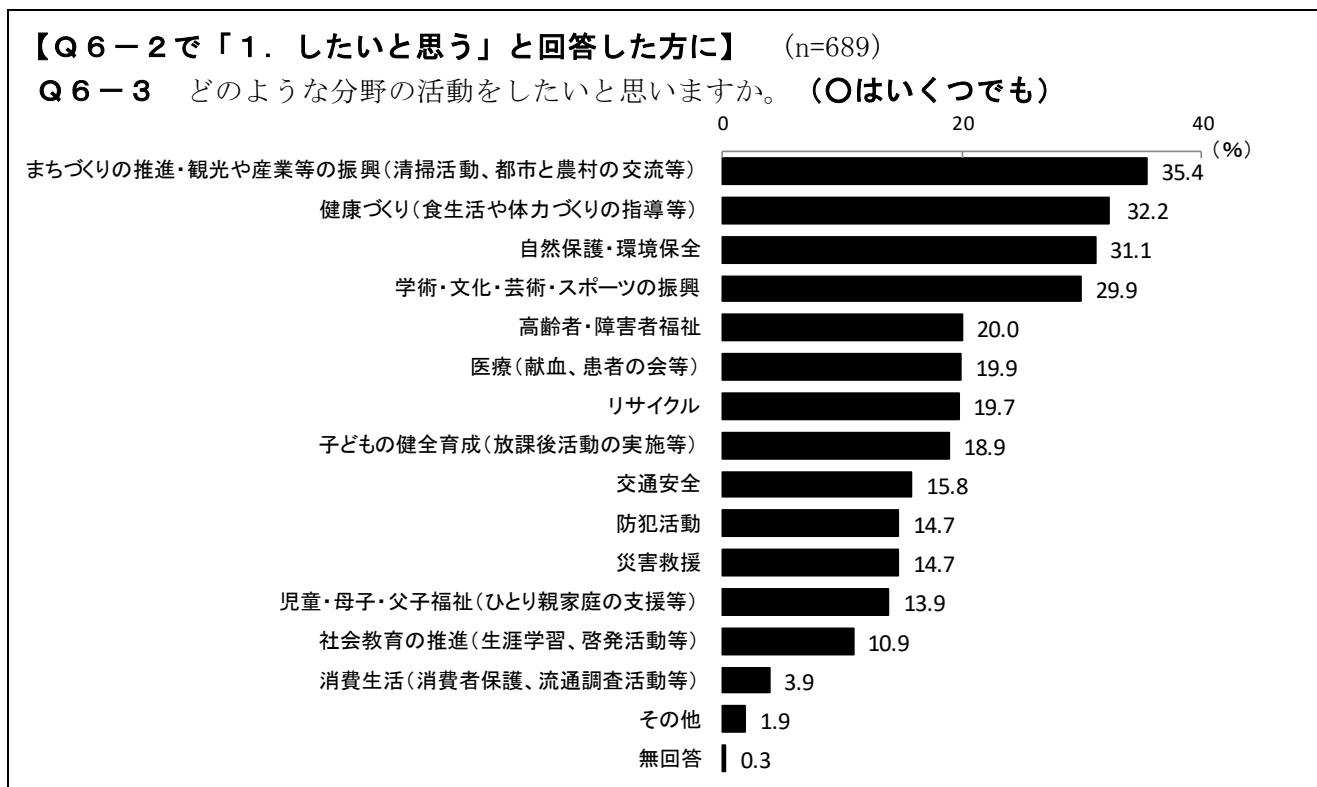
### 6-2. 今後の活動意欲

**Q6-2** あなたは、今後このような活動をしたいと思いませんか。(○は1つ)



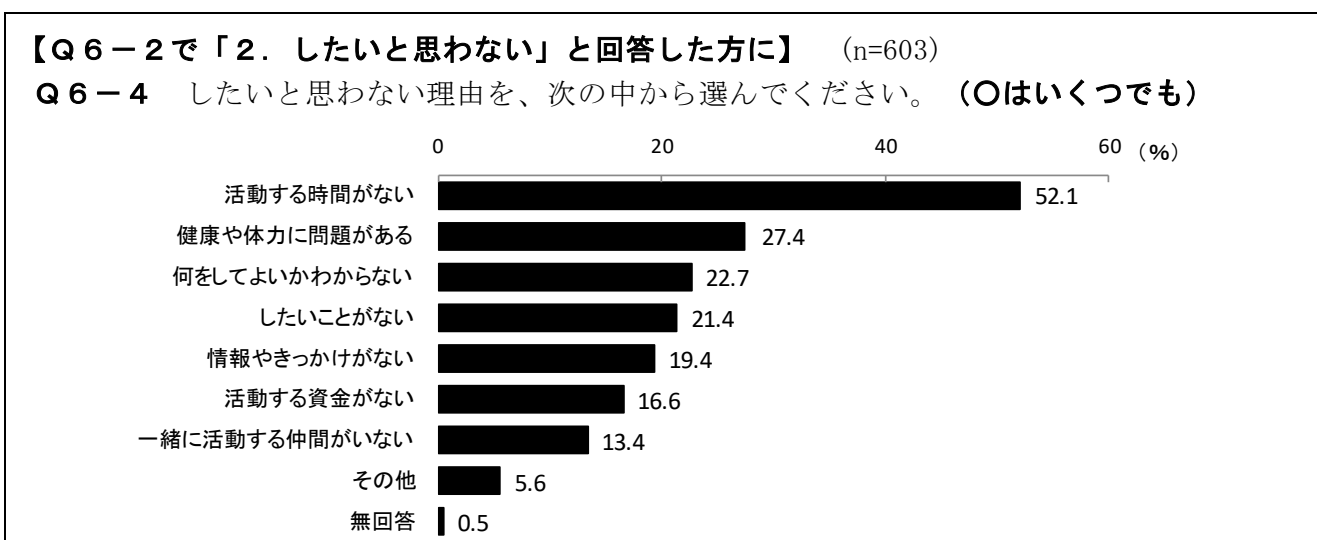
今後の活動意欲について、「したいと思う」が52.6%、「したいと思わない」が46.0%となっている。

## 6-3. 活動したいと思う分野



Q6-2で「したいと思う」と回答した方に、活動したい分野について質問すると、「まちづくりの推進・観光や産業等の振興(清掃活動、都市と農村の交流等)」が35.4%と最も高く、次いで「健康づくり(食生活や体力づくりの指導等)」が32.2%、「自然保護・環境保全」が31.1%の順となった。

## 6-4. 活動したいと思わない理由

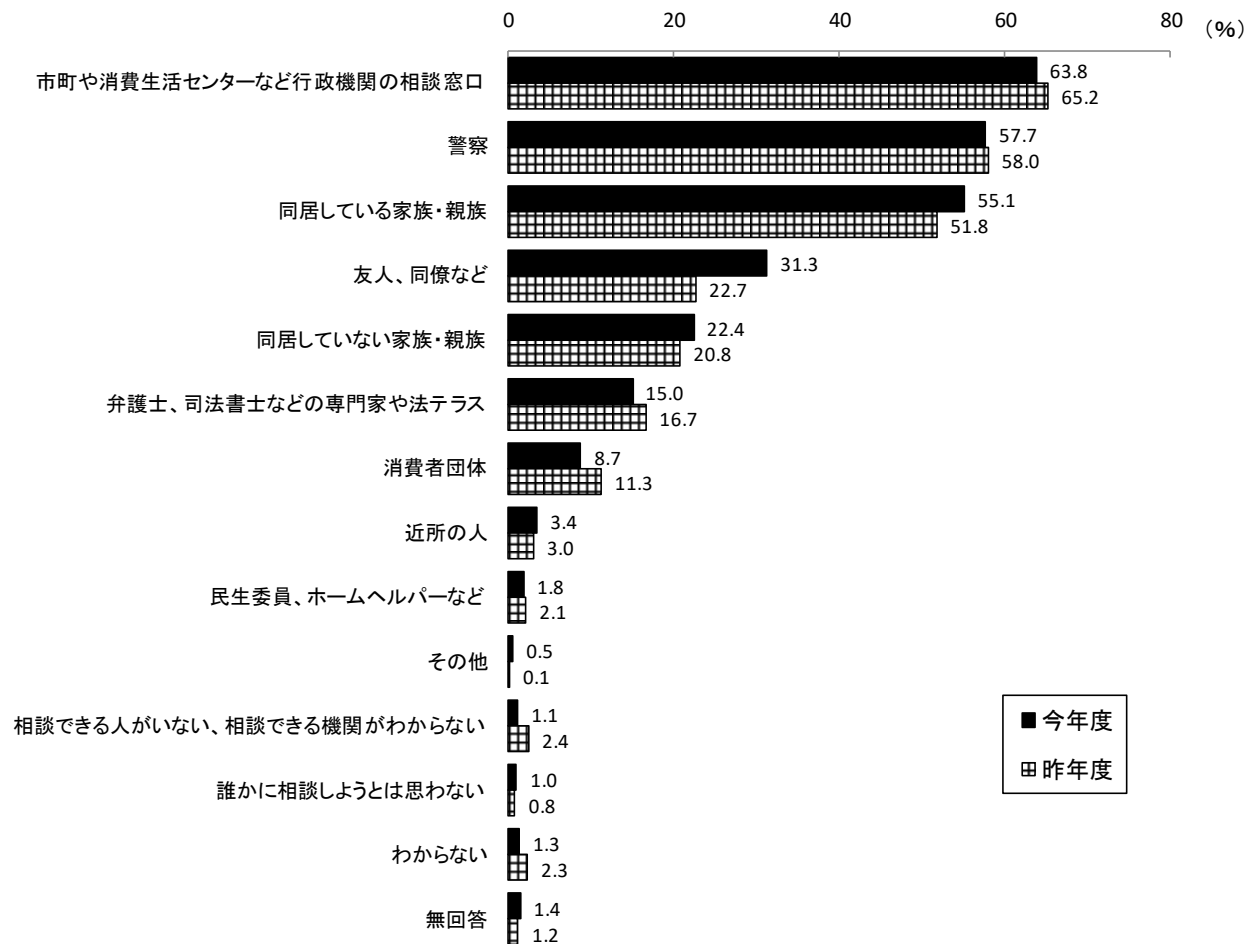


Q6-2で「したいと思わない」と回答した方に、活動したいと思わない理由について質問すると、「活動する時間がない」が52.1%と最も高く、次いで「健康や体力に問題がある」が27.4%、「何をしてもよいかわからない」が22.7%の順となった。

## 7. 消費生活に関することについて

### 7-1. 被害を受けた時の相談相手

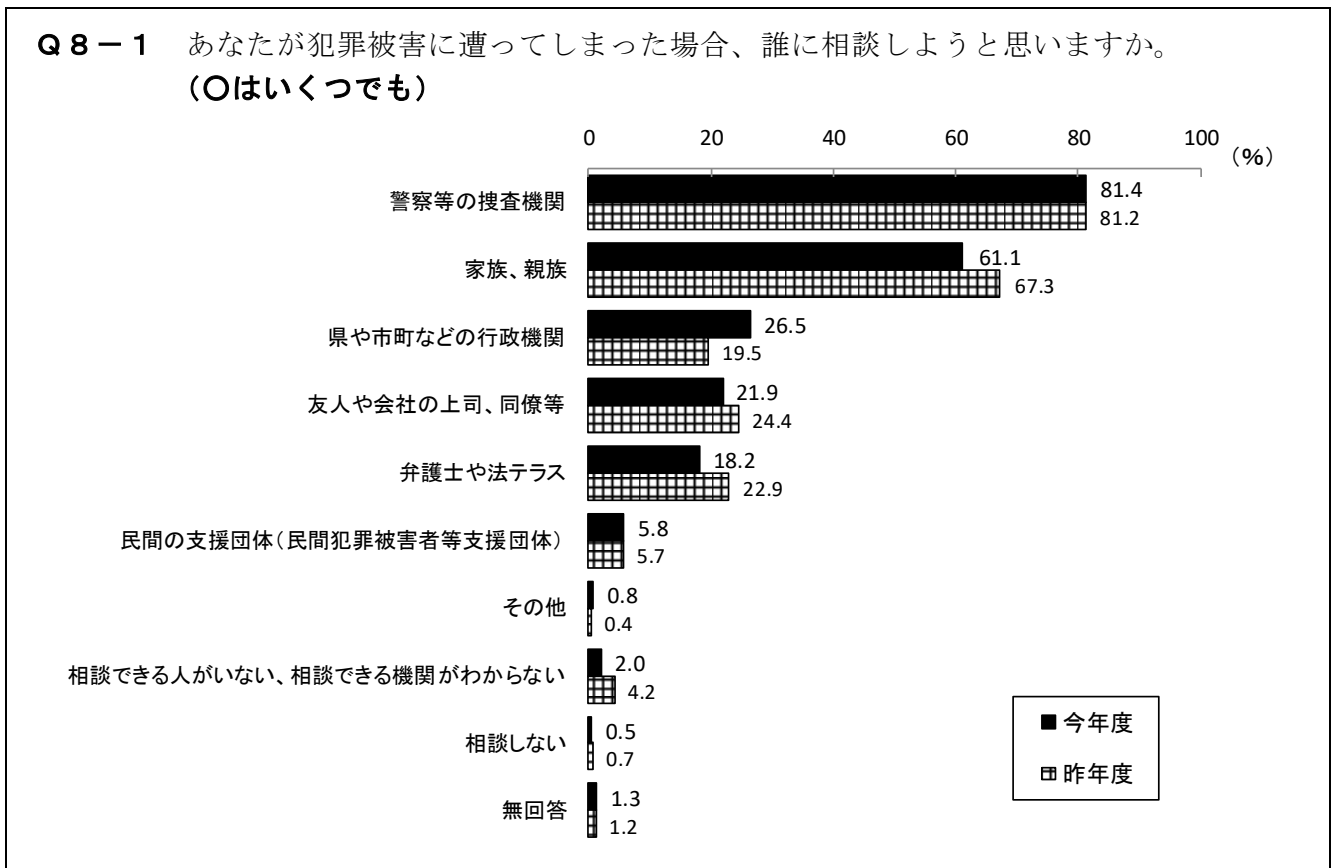
Q7-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)



被害を受けた時の相談相手について、「市町や消費生活センターなどの行政機関の相談窓口」が63.8%と最も高く、次いで「警察」が57.7%、「同居している家族・親族」が55.1%の順となっている。昨年度と比較すると、「友人、同僚など」が8.6ポイント、「同居している家族・親族」が3.3ポイントそれぞれ上昇し、「消費者団体」が2.6ポイント、「弁護士、司法書士などの専門家や法テラス」が1.7ポイントそれぞれ低下している。

## 8. 犯罪被害者等支援について

### 8-1. 犯罪被害に遭った場合の相談相手

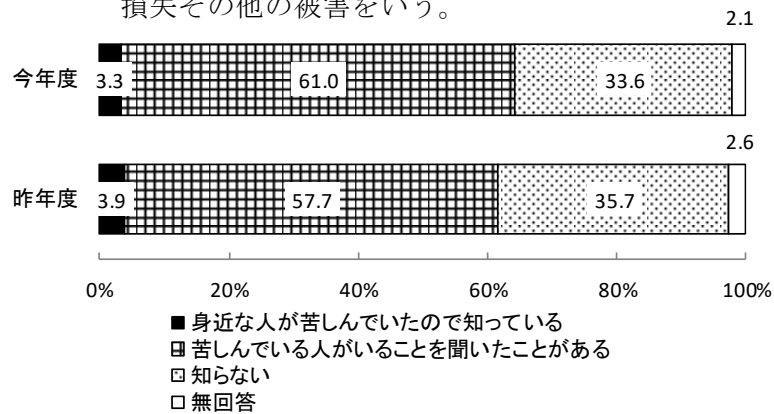


犯罪被害に遭った場合の相談相手について、「警察等の捜査機関」が 81.4%と最も高く、次いで「家族・親族」が 61.1%、「県や市町などの行政機関」が 26.5%の順となっている。昨年度と比較すると、「県や市町などの行政機関」は 7.0 ポイント上昇し、「家族・親族」は 6.2 ポイント低下している。

### 8-2. 「二次的被害」の認知状況

**Q 8-2** あなたは、犯罪被害に遭われた方やその家族又は遺族が「二次的被害」※により苦しんでいる実情があることを知っていますか。（○は1つ）

※二次的被害：犯罪等による直接的な被害を受けた後に、犯罪被害者等に対する配慮に欠ける言動、誹謗中傷、過剰な取材等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、名誉の毀損、私生活の平穩の侵害、経済的な損失その他の被害をいう。

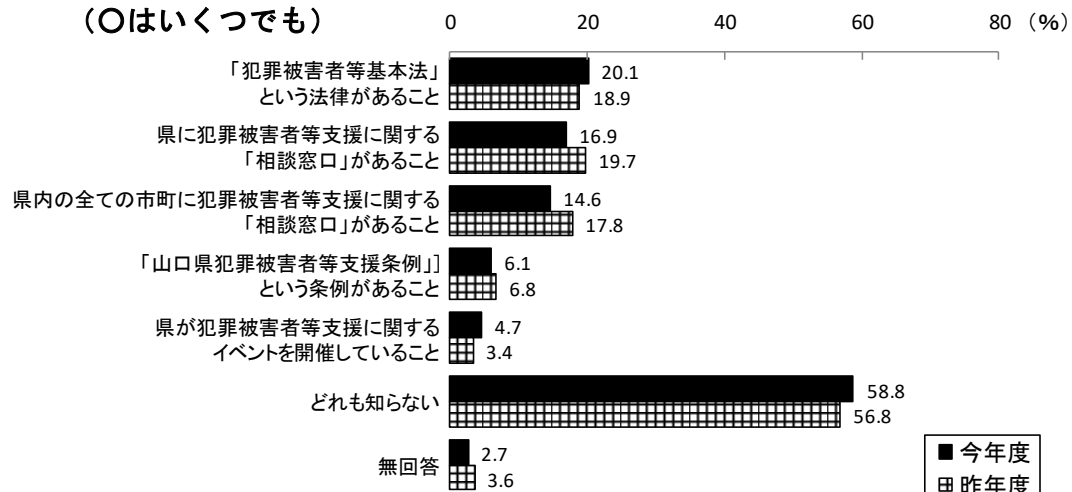


「二次的被害」の認知状況について、「身近な人が苦しんでいたの知っている」が3.3%、「苦しんでいる人がいることを聞いたことがある」が61.0%、「知らない」が33.6%となっている。昨年度と比較すると、「苦しんでいる人がいることを聞いたことがある」は3.3ポイント上昇し、「知らない」は2.1ポイント低下している。

### 8-3. 犯罪被害者等支援に関するものの認知状況

**Q 8-3** あなたは、次の犯罪被害者等支援に関するものを知っていますか。

（○はいくつでも）

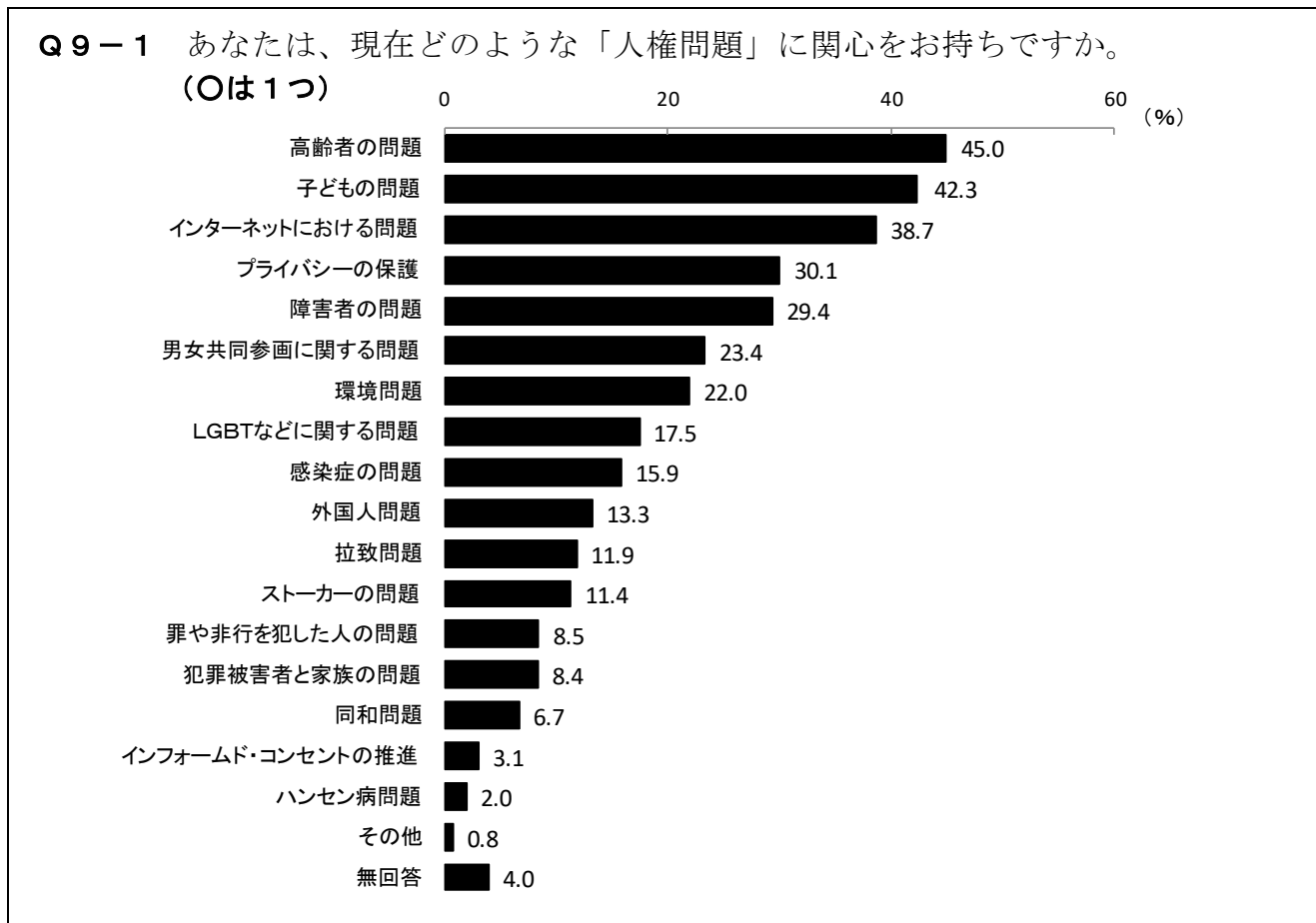


犯罪被害者等支援に関するものの認知状況について、「どれも知らない」が58.8%と最も高くなった。また、知っているものについては、「「犯罪被害者等基本法」という法律があること」が20.1%、「県に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること」が16.9%の順となっている。昨年度と比較すると、「どれも知らない」は2.0ポイント上昇し、「県内の全ての市町に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること」は3.2ポイント、「県に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること」は2.8ポイントそれぞれ低下している。



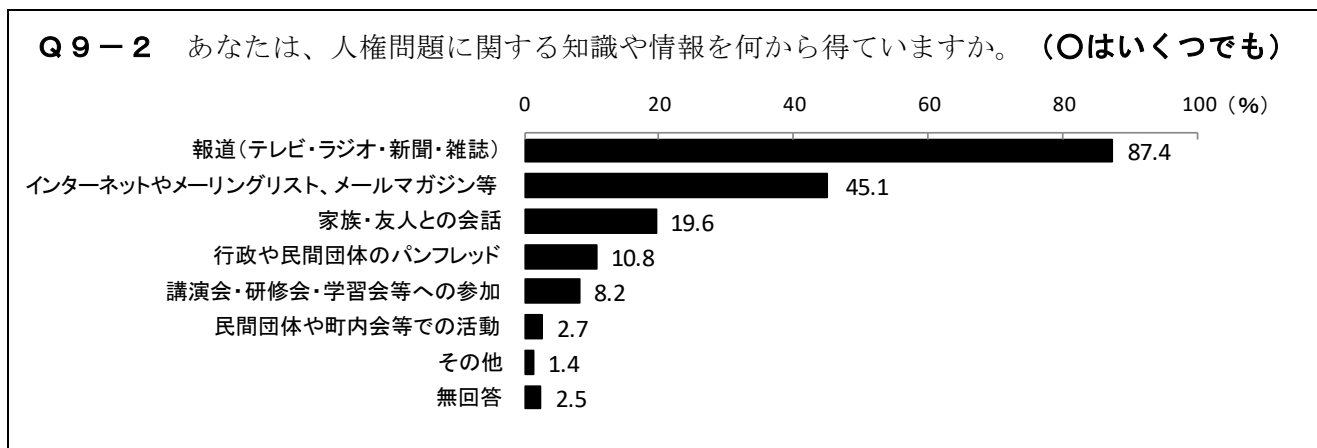
## 9. 人権について

## 9-1. 「人権問題」への関心



「人権問題」の関心について、「高齢者の問題」が45.0%と最も高く、次いで「子どもの問題」が42.3%、「インターネットにおける問題」が38.7%、「プライバシーの保護」が30.1%、「障害者の問題」が29.4%の順となっている。

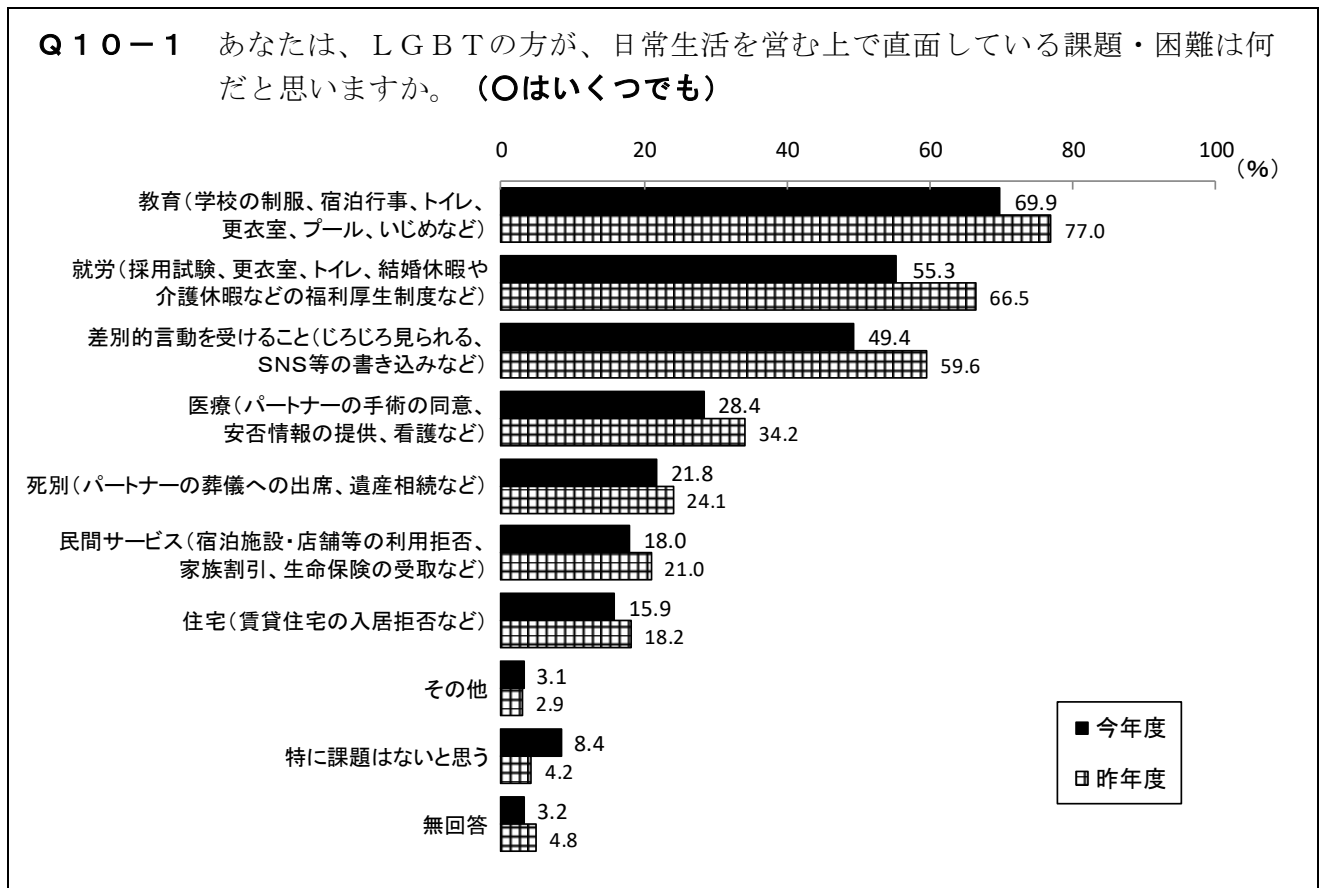
## 9-2. 人権問題に関する知識や情報の収集媒体



人権問題に関する知識や情報を何から得ているかについて、「報道(テレビ・ラジオ・新聞・雑誌)」が87.4%と最も高く、次いで「インターネットやメールマガジン等」が45.1%、「家族・友人との会話」が19.6%、「行政や民間団体のパンフレット」が10.8%、「講演会・研修会・学習会等への参加」が8.2%の順となっている。

## 10. 性の多様性について

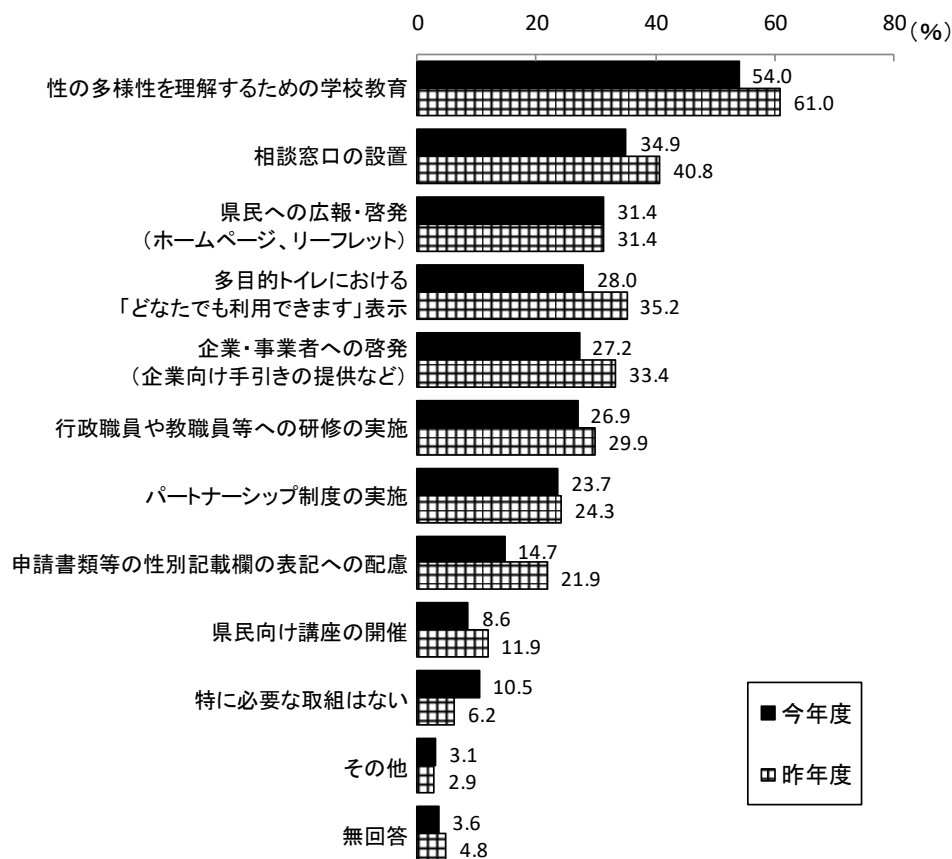
### 10-1. LGBTの方が日常生活で直面する課題・困難



LGBTの方が日常生活で直面する課題・困難について、「教育（学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール、いじめなど）」が69.9%も高く、次いで「就労（採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度など）」が55.3%、「差別的言動を受けること（じろじろ見られる、SNS等の書き込みなど）」が49.4%の順となっている。昨年度と比較すると、すべての項目で低下している一方、「特に課題はないと思う」は4.2ポイント上昇している。

10-2. 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要な取組

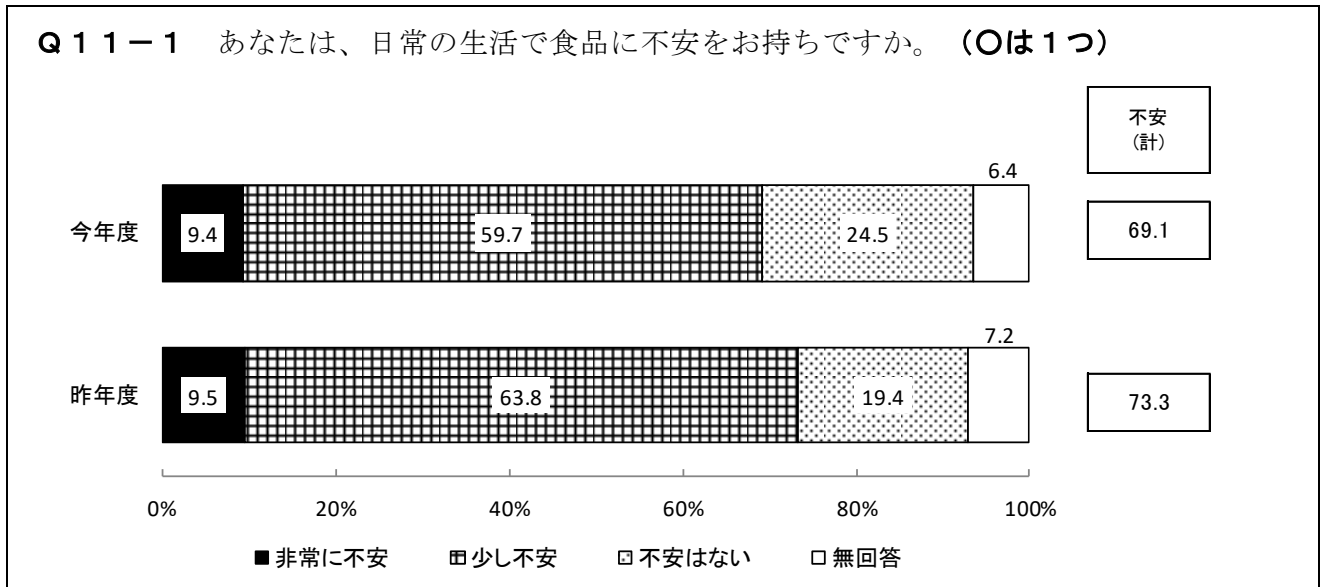
Q10-2 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組を選んでください。(〇はいくつでも)



性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要な取組について、「性の多様性を理解するための学校教育」が54.0%と最も高く、次いで「相談窓口の設置」が34.9%、「県民への広報・啓発（ホームページ、リーフレット）」が31.4%の順となっている。昨年度と比較すると、すべての項目で低下している一方、「特に必要な取組はない」は4.3ポイント上昇している。

## 11. 食の安心・安全について

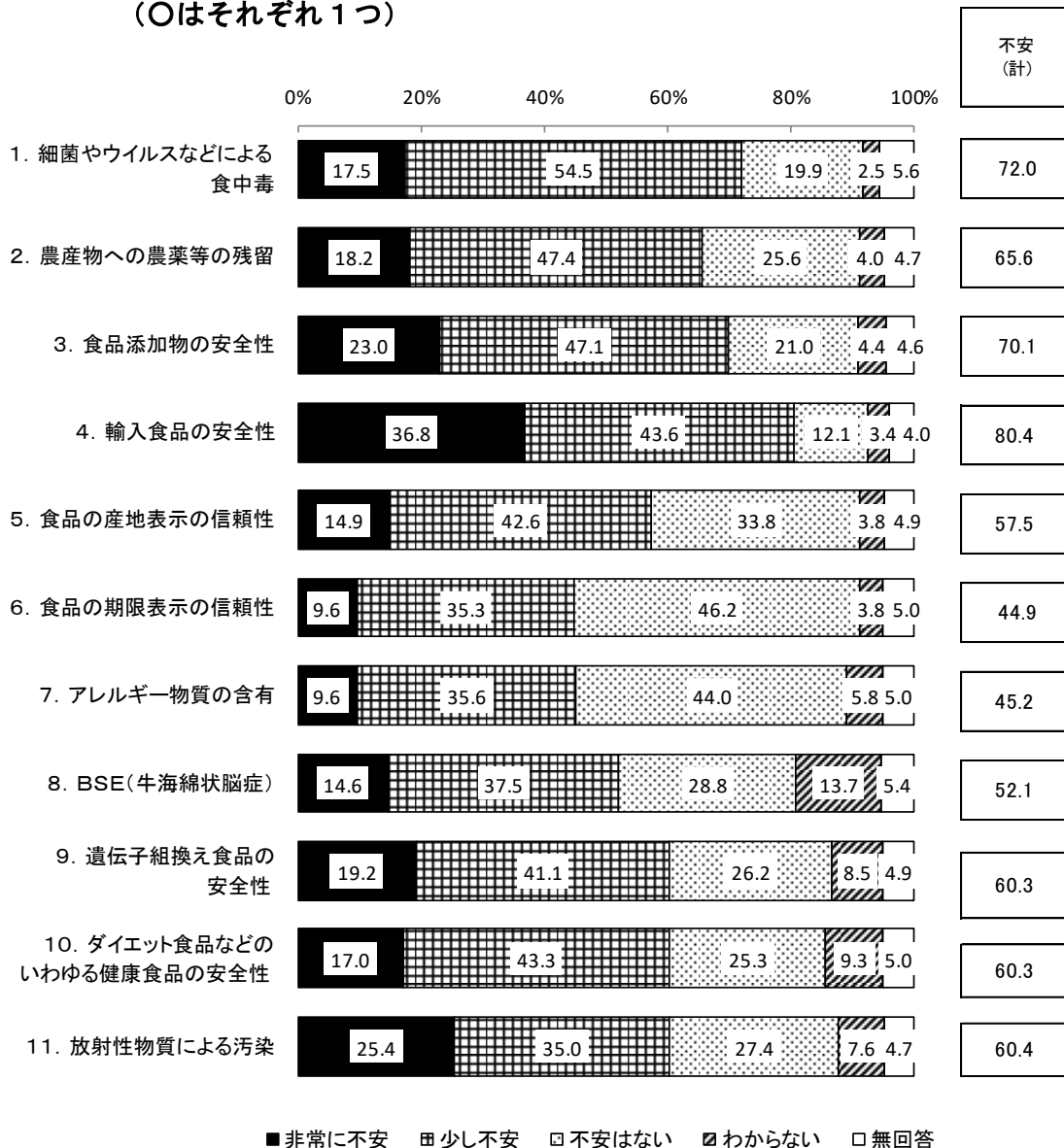
### 11-1. 食品に対する不安



食品に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は69.1%と7割弱となっている。昨年度と比較すると、『不安(計)』は4.2ポイント低下している。

11-2. 食品について不安なこと

Q11-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。  
(〇はそれぞれ1つ)

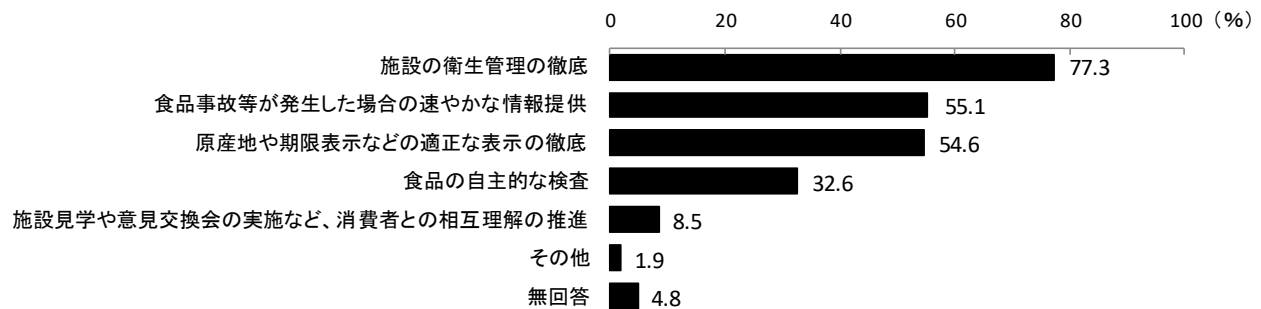


食品について不安なことについて、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』の割合は、「4. 輸入食品の安全性」が80.4%、「1. 細菌やウイルスなどによる食中毒」が72.0%、「3. 食品添加物の安全性」が70.1%、「2. 農産物への農薬等の残留」が65.6%などで高くなっており、6割超から8割超となっている。

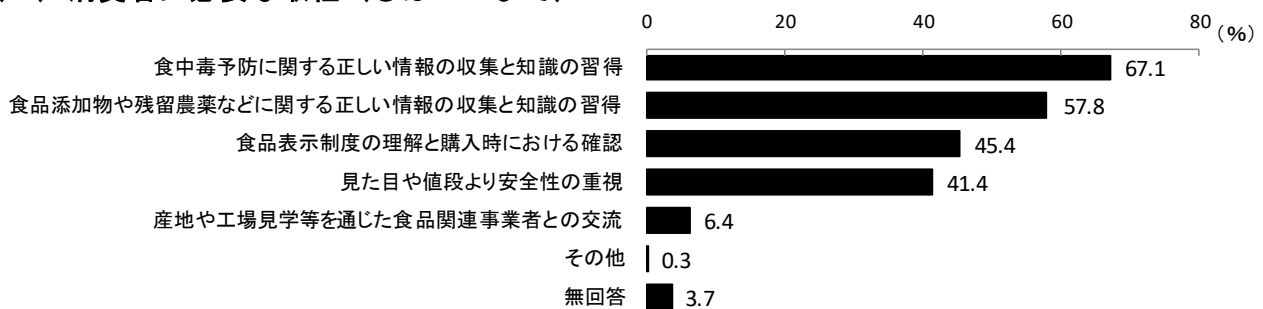
11-3. 県民が安全で安心な食生活を送るために必要な取組

Q11-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

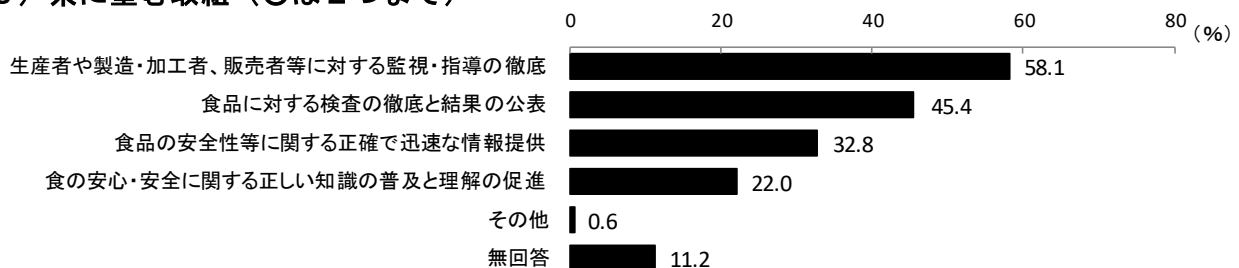
(1) 食品関連事業者に望む取組（○は3つまで）



(2) 消費者に必要な取組（○は3つまで）



(3) 県に望む取組（○は2つまで）



県民が安全で安心な食生活を送るために必要な取組について、「食品関連事業者に望む取組」は、「施設の衛生管理の徹底」が 77.3%と最も高く、次いで「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が 55.1%の順となっている。

「消費者に必要な取組」は、「食中毒予防に関する正しい情報の収集と知識の習得」が 67.1%と最も高く、次いで「食品添加物や残留農薬などに関する正しい情報の収集と知識の習得」が 57.8%の順となっている。

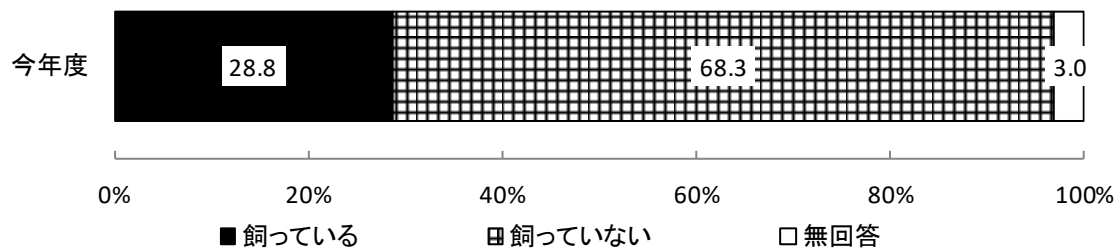
「県に望む取組」は、「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」が 58.1%と最も高く、次いで「食品に対する検査の徹底と結果の公表」が 45.4%の順となっている。



## 12. 動物の愛護管理について

### 12-1. 犬猫の飼育状況

Q12-1 あなたやあなたの家族は犬又は猫を飼っていますか。(〇は1つ)

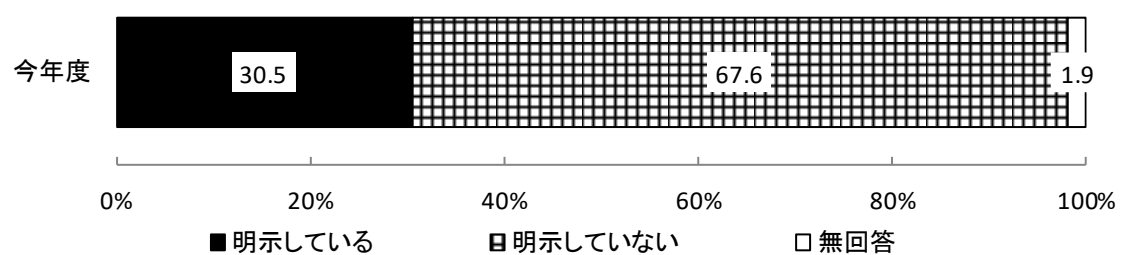


犬猫の飼育状況について、「飼っている」は28.8%、「飼っていない」は68.3%となっている。

### 12-2. 飼育する犬猫への名札やマイクロチップの装着状況

【Q12-1で「1. 飼っている」と回答した方に】 (n=377)

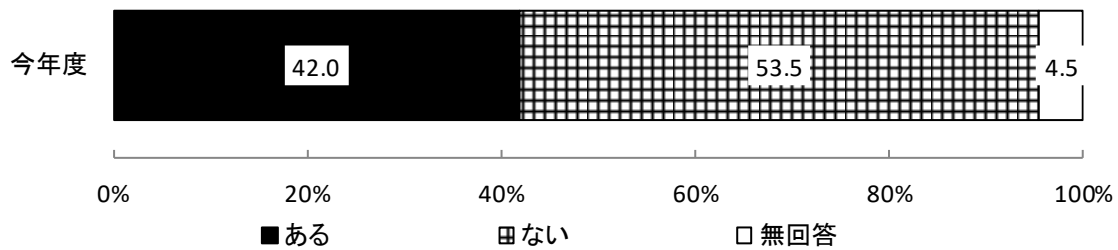
Q12-2 飼育している犬や猫に、名札(迷子札)やマイクロチップ等を装着し、飼主の氏名や住所などが分かるように明示していますか。(〇は1つ)



Q12-1で「飼っている」と回答した方に、飼育する犬猫への名札やマイクロチップを装着し、飼主の氏名や住所などを明示しているか質問すると、「明示している」は30.5%、「明示していない」は67.6%となった。

12-3. 他人のペットに対して迷惑を感じたことがあるか

Q12-3 あなたは、他人がペット動物を飼っていることによって、迷惑を感じたことはありますか。(〇は1つ)

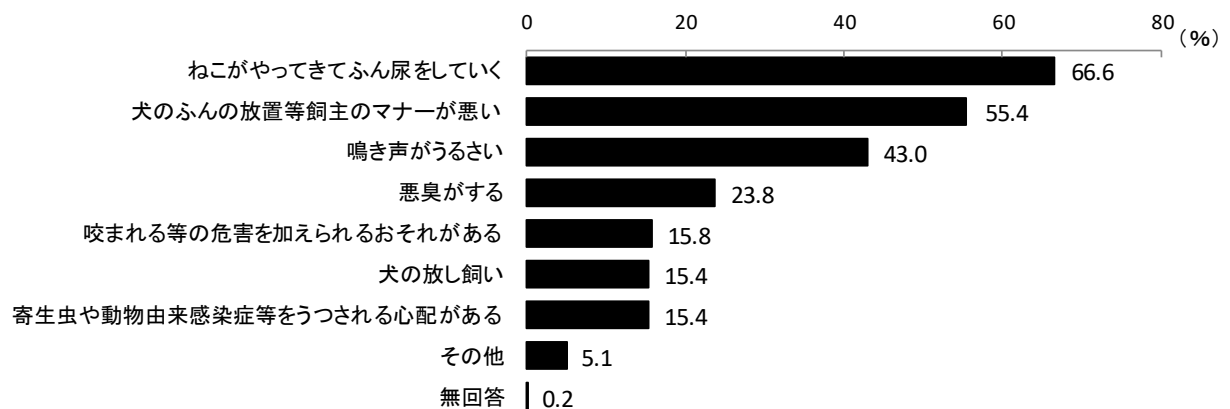


他人のペットに対して迷惑を感じたことがあるかについて、「ある」は42.0%、「ない」は53.5%となっている。

12-4. 迷惑に感じたこと

【Q12-3で「1. ある」と回答した方に】 (n=551)

Q12-4 どのようなことに迷惑を感じましたか。(〇は1つ)

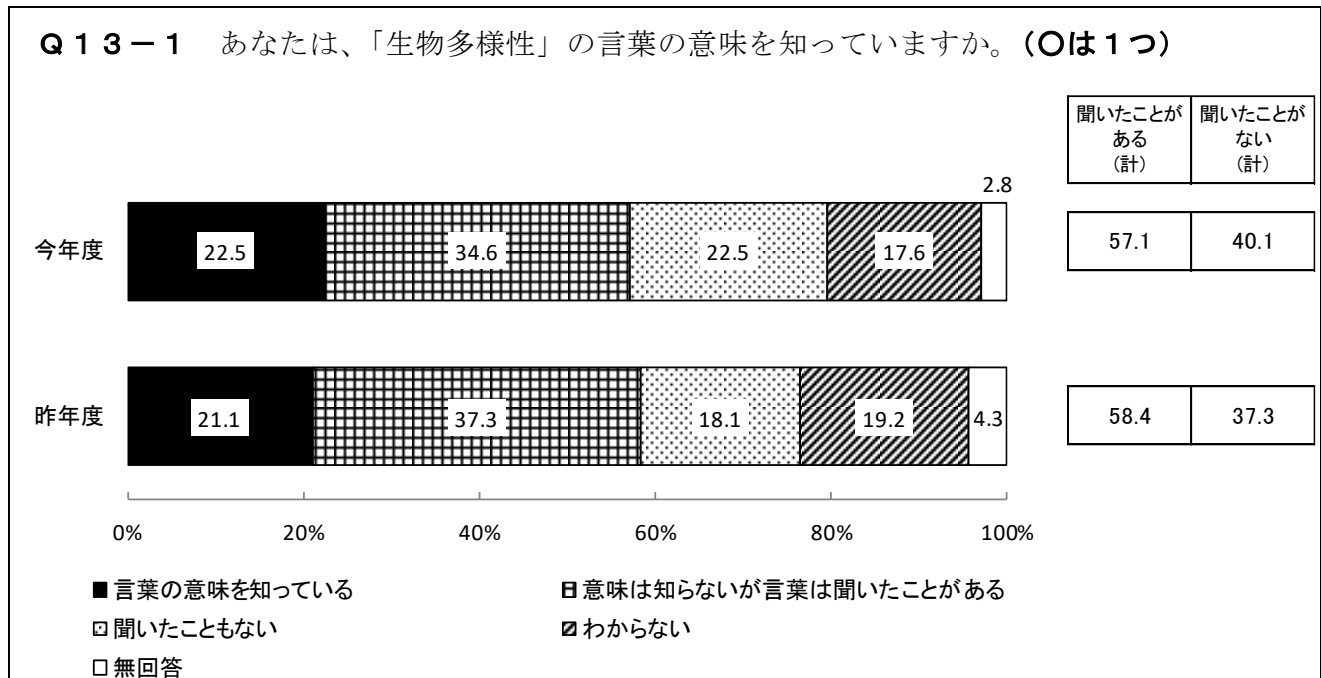


Q12-3で「ある」と回答した方に、どのようなことに迷惑を感じたか質問すると、「猫がやってきてふん尿をしてく」が66.6%と最も高く、次いで「犬のふんの放置等飼主のマナーが悪い」が55.4%、「鳴き声がうるさい」が43.0%の順となった。

### 1 3. 生物多様性について

「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

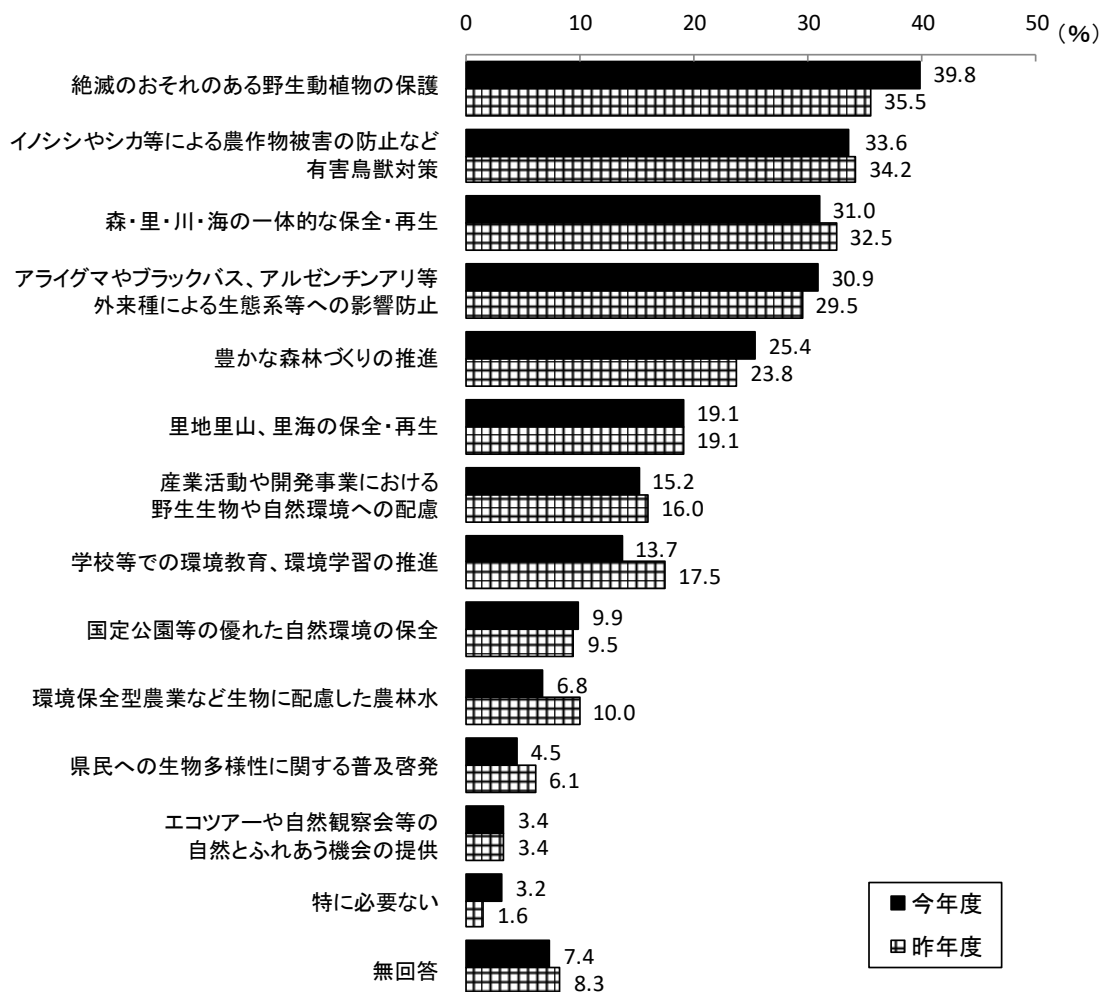
#### 1 3 - 1. 「生物多様性」の認知状況



「生物多様性」の認知状況について、「言葉の意味を知っている」が 22.5%、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が 34.6%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがある (計)』は 57.1%となっている。また、「聞いたこともない」が 22.5%、「わからない」が 17.6%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがない (計)』は 40.1%となっている。昨年度と比較すると、『聞いたことがない (計)』が 2.8 ポイント上昇している。

13-2. 生物多様性を守るために必要な取組

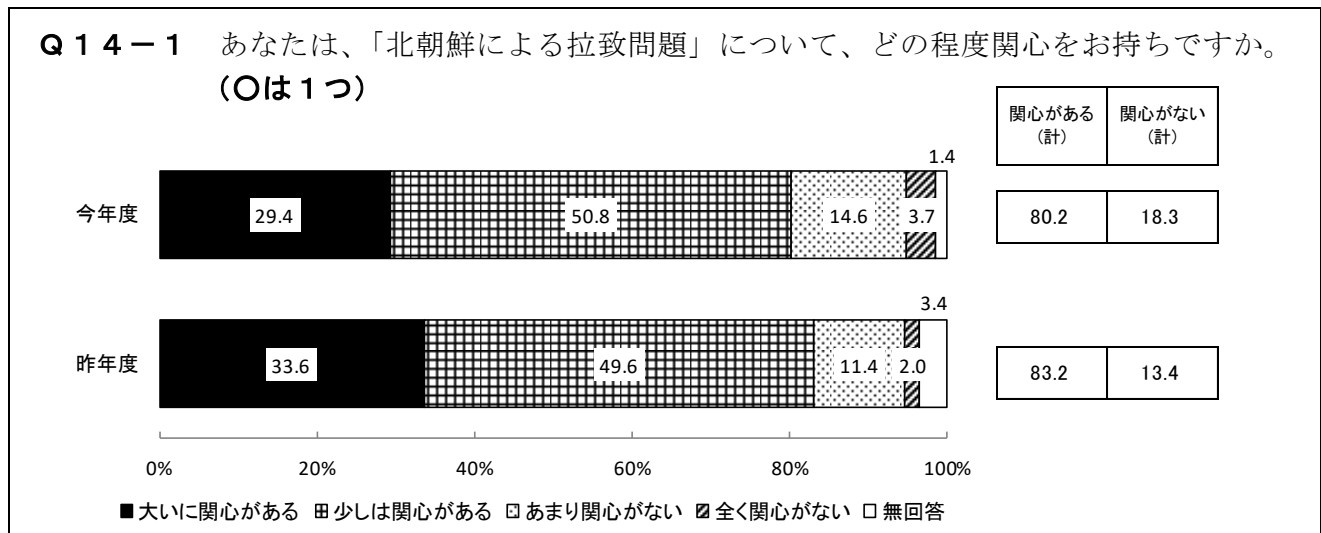
Q13-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)



生物多様性を守るために必要な取組について、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」が 39.8%と最も高く、次いで「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」が 33.6%、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」が 31.0%、「アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止」が 30.9%、「豊かな森林づくりの推進」が 25.4%の順となっている。昨年度と比較すると、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」は 4.3 ポイント上昇、「学校等での環境教育、環境学習の推進」が 3.8 ポイント、「環境保全型農業など生物に配慮した農林水」が 3.2 ポイントそれぞれ低下している。

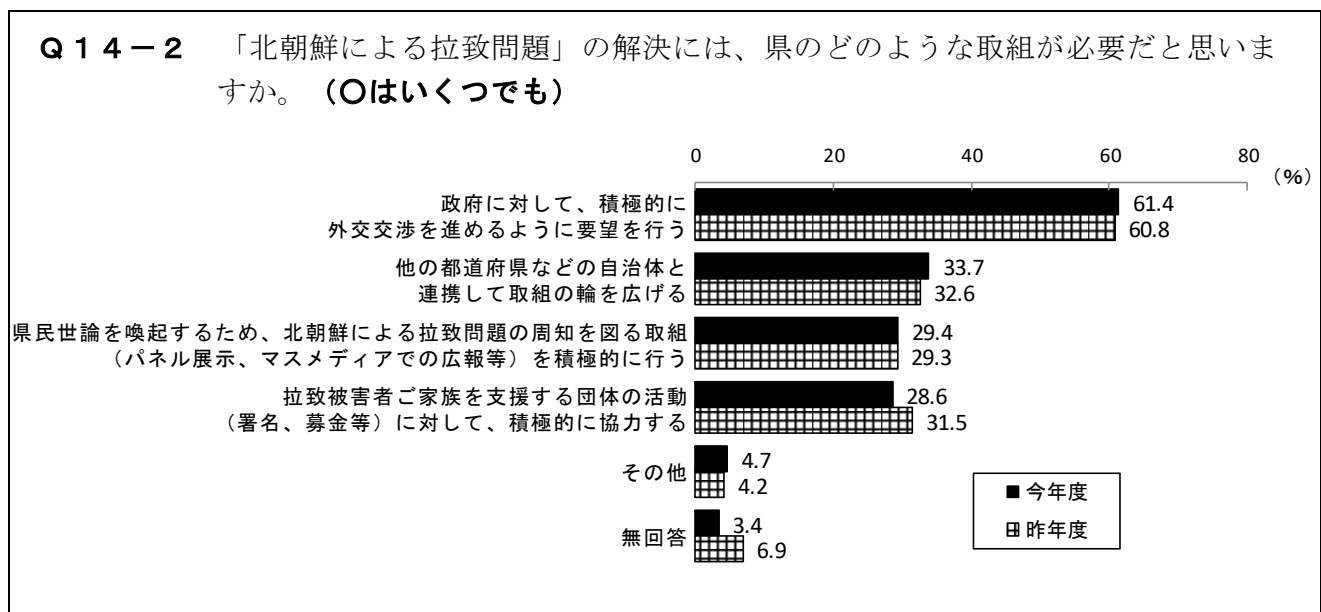
## 14. 北朝鮮による拉致問題について

### 14-1. 「北朝鮮による拉致問題」についての関心



「北朝鮮による拉致問題」について、「大いに関心がある」と「少しは関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が80.2%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が18.3%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、『関心がある(計)』が3.0ポイント低下、『関心がない(計)』が4.9ポイント上昇となっている。

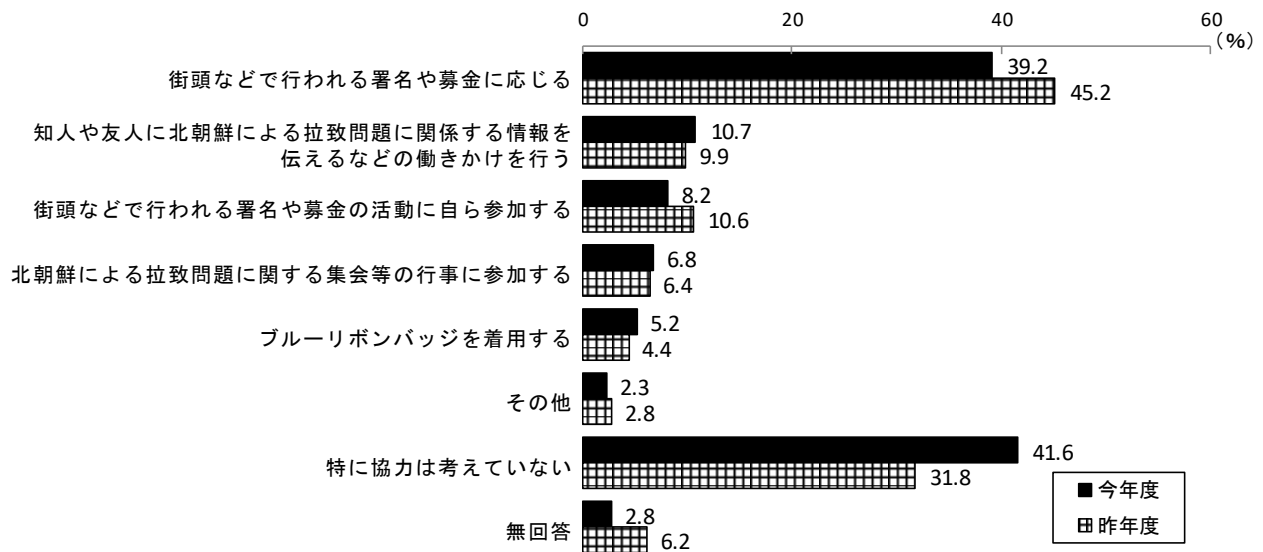
### 14-2. 「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組



「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組について、「政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う」が61.4%と最も高く、次いで「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」が33.7%の順となっている。昨年度と比較すると、「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」は1.1ポイント上昇、「拉致被害者ご家族を支援する団体の活動(署名、募金等)に対して、積極的に協力する」が2.9ポイント低下している。

## 14-3. 北朝鮮による拉致問題の解決に向けての今後の協力

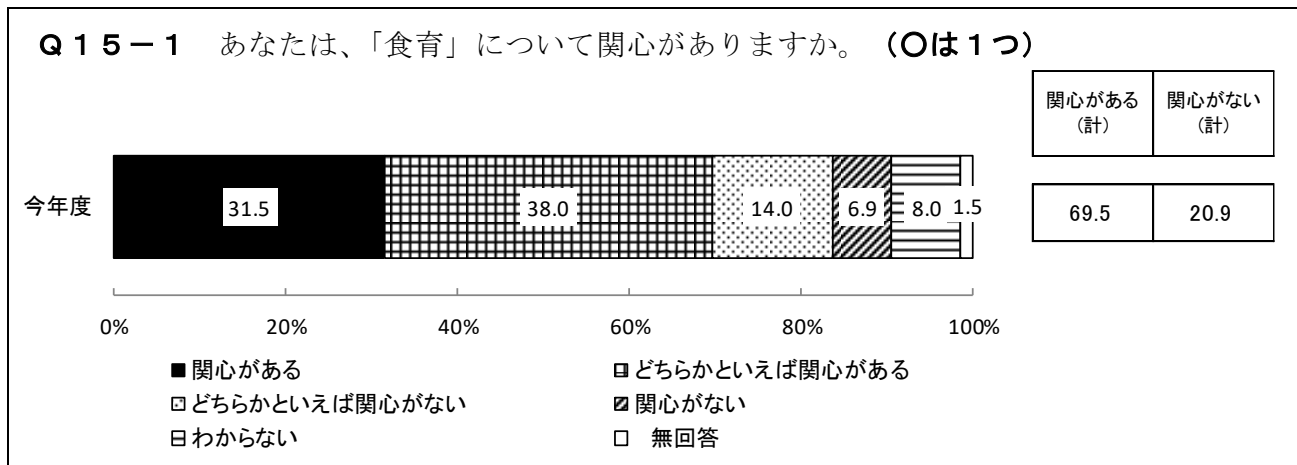
Q14-3 北朝鮮による拉致問題の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。（〇はいくつでも）



「北朝鮮による拉致問題」の解決に向けて今後協力していきたいことについて、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が39.2%と最も高く、次いで「知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う」が10.7%、「街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する」が8.2%、「北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する」が6.8%、「ブルーリボンバッジを着用する」が5.2%の順となっている。また、「特に協力は考えていない」は41.6%となっており、昨年度と比較すると9.8ポイント上昇している。

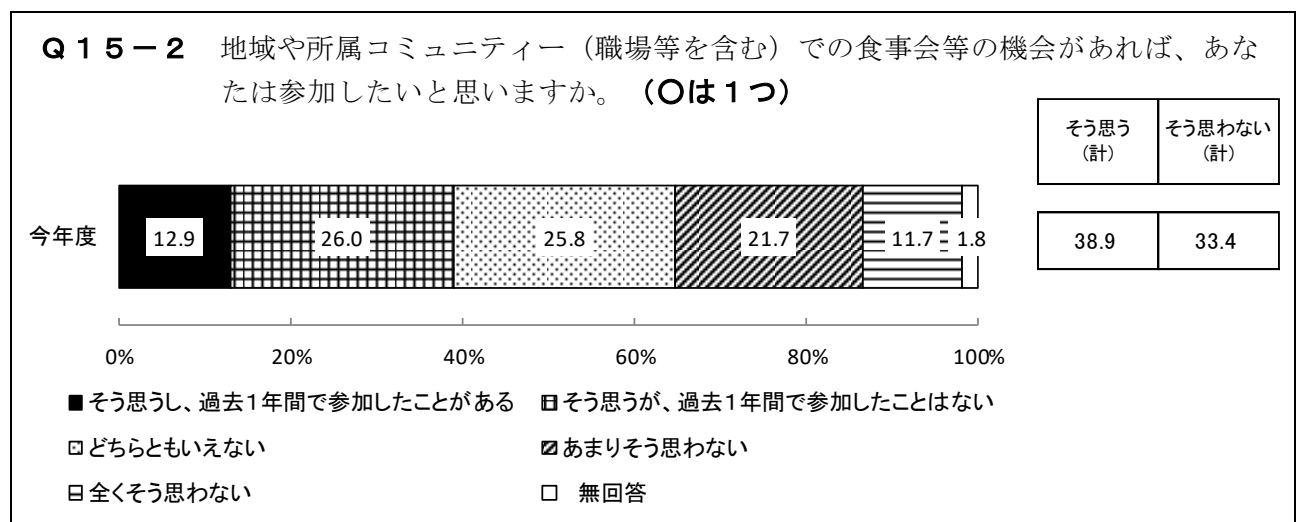
## 15. 食育について

### 15-1. 「食育」についての関心



「食育」について、「関心がある」が31.5%、「どちらかといえば関心がある」が38.0%となっており、2項目を合わせた『関心がある (計)』は69.5%となっている。また、「どちらかといえば関心がない」が14.0%、「関心がない」が6.9%となっており、2項目を合わせた『関心がない (計)』は20.9%となっている。

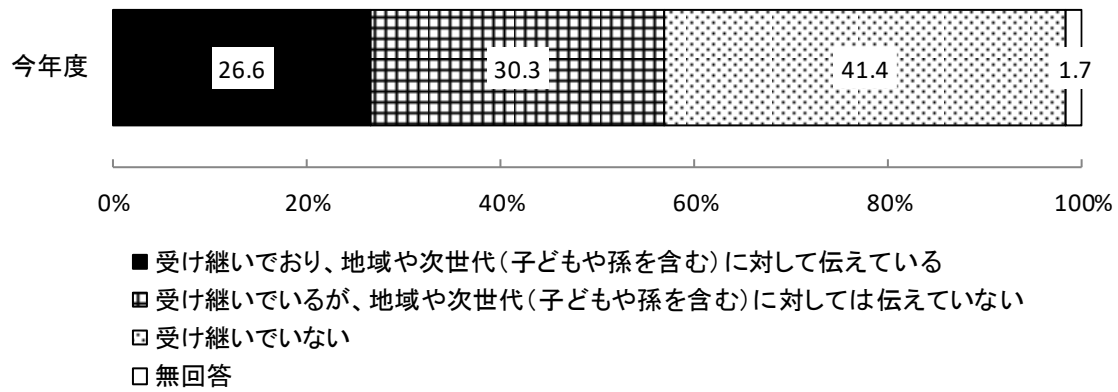
### 15-2. 地域や所属コミュニティでの食事会等への参加意欲



地域や所属コミュニティでの食事会等へ参加したいと思うか質問すると、「そう思うし、過去1年間で参加したことがある」が12.9%、「そう思うが、過去1年間で参加したことはない」が26.0%となっており、2項目を合わせた『そう思う (計)』は38.9%となっている。また、「あまりそう思わない」が21.7%、「全くそう思わない」が11.7%となっており、2項目を合わせた『そう思わない (計)』は33.4%となっている。

## 15-3. 郷土料理や伝統料理の味や食事作法の受け継ぎ

Q15-3 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。（○は1つ）



郷土料理や伝統料理の味や食事作法について、「受け継いでいない」が41.4%と最も高く、次いで「受け継いでいるが、地域や次世代（子どもや孫を含む）に対しては伝えていない」が30.3%、「受け継いでおり、地域や次世代（子どもや孫を含む）に対して伝えている」が26.6%の順となっている。



## 16. 薬剤師・薬局について

薬局の中には、薬について身近に相談できるかかりつけ薬剤師・薬局に加え、入退院などで療養環境が変わっても、医療機関等と薬の情報を共有して途切れることなく対応できる「地域連携薬局」や薬以外の健康に関する相談に応じる「健康サポート薬局」があります。

また、山口県独自の取組として、地域において薬学的な健康サポート\*を行う「山口県健康エキスパート薬剤師」を登録・公表しています。

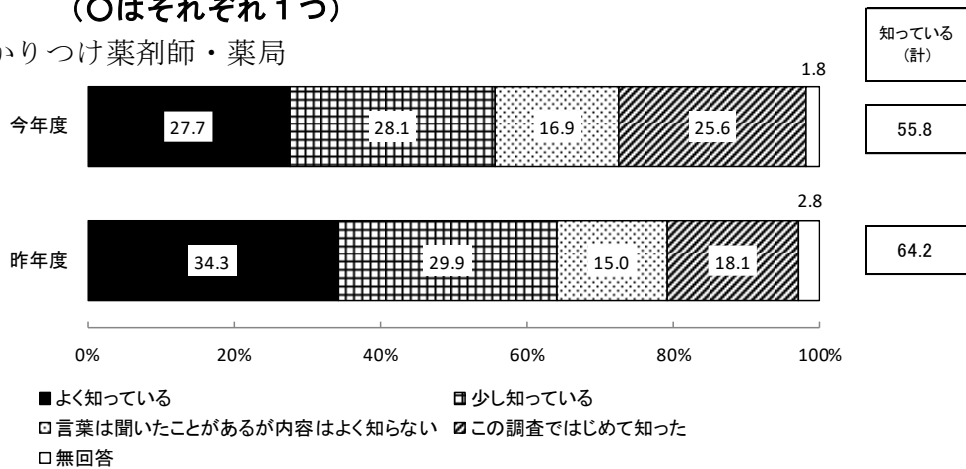
※薬学的な健康サポートとは

身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うことです。

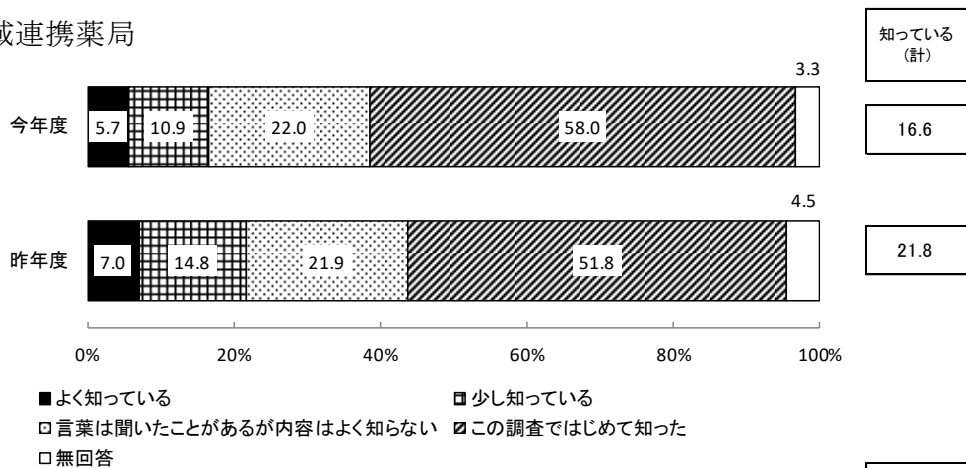
### 16-1. 薬剤師・薬局に関する取組の認知度

Q16-1 これらの薬剤師・薬局に関する取組について知っていましたか。  
(○はそれぞれ1つ)

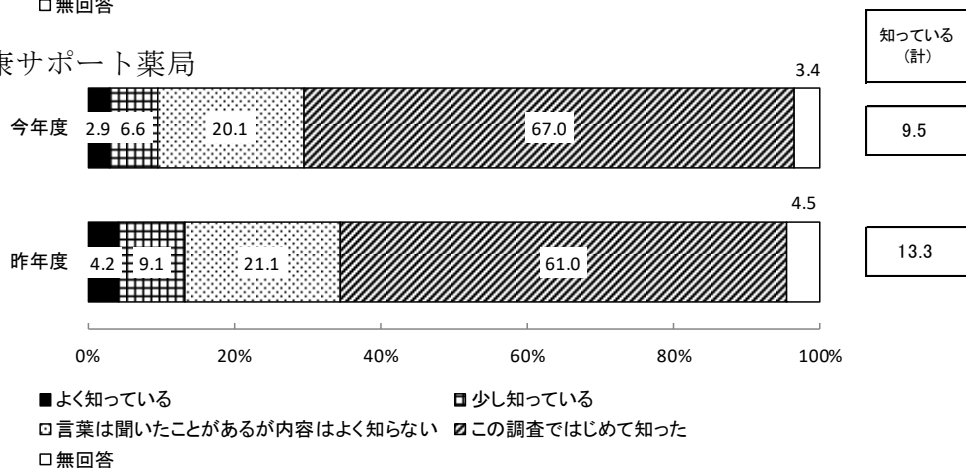
(1) かかりつけ薬剤師・薬局

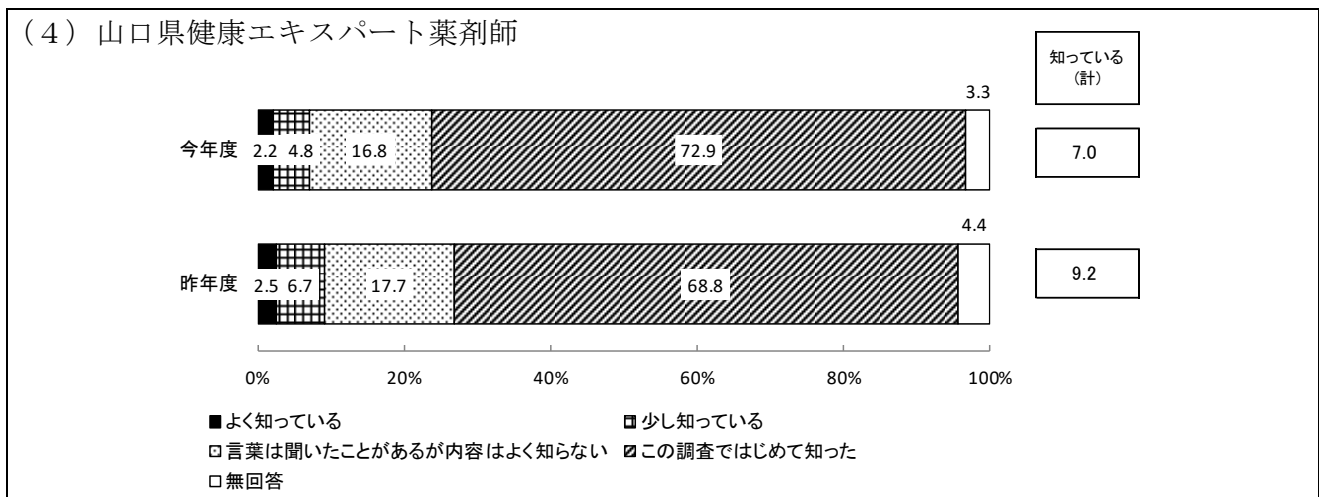


(2) 地域連携薬局



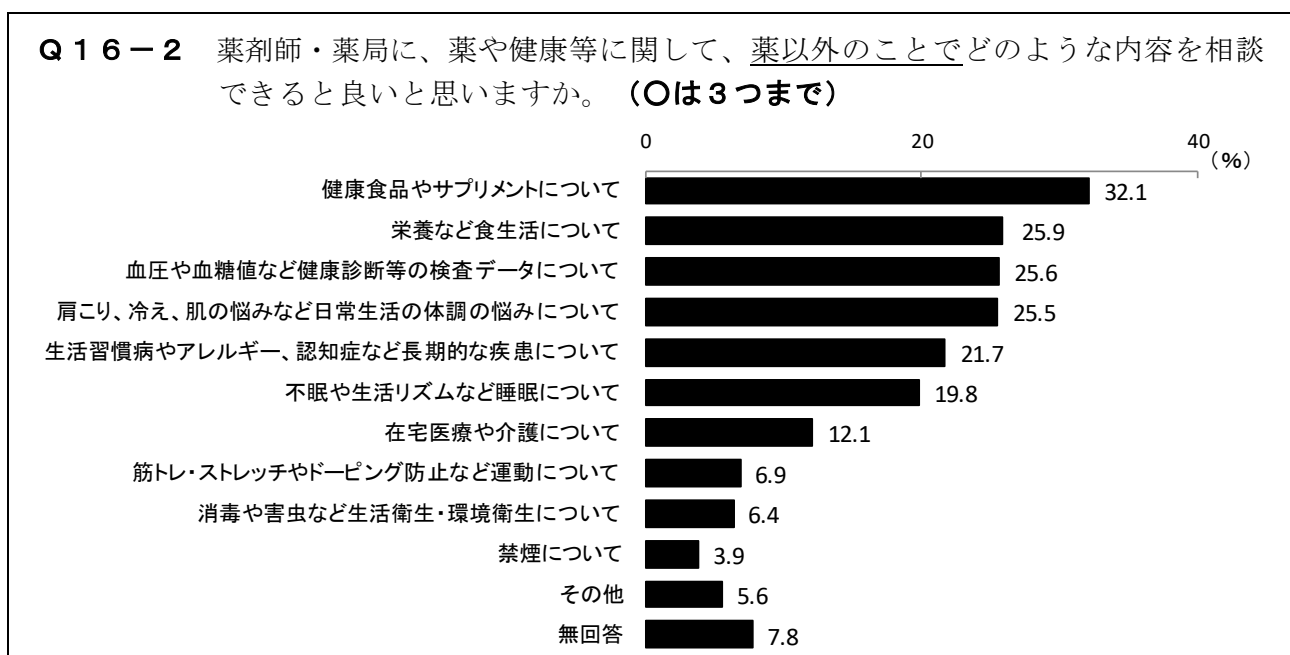
(3) 健康サポート薬局





薬剤師・薬局に関する取組の認知状況について、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている(計)』の割合は、「1. かかりつけ薬剤師・薬局」が55.8%と最も高く、次いで「2. 地域連携薬局」が16.6%の順となっている。一方、「この調査ではじめて知った」の割合は、「4. 山口県健康エキスパート薬剤師」が72.9%と最も高く、次いで「3. 健康サポート薬局」が67.0%となっている。

16-2. 薬や健康に関して、薬以外のことで相談できると良いと思う内容



薬や健康に関して相談できると良いと思う内容について、「健康食品やサプリメントについて」が32.1%と最も高く、次いで「栄養など食生活について」が25.9%、「血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて」が25.6%、「肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて」が25.5%、「生活習慣病やアレルギー、認知症など長期的な疾患について」が21.7%の順となっている。

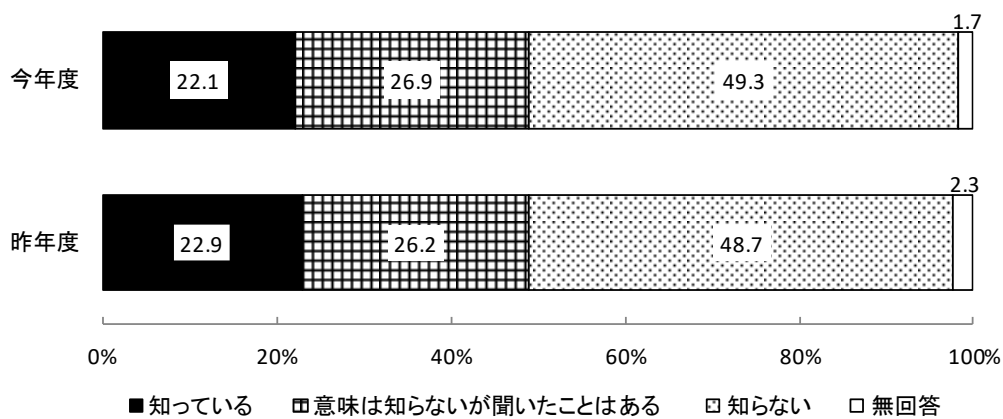
## 17. 多文化共生について

### 17-1. 多文化共生の認知度

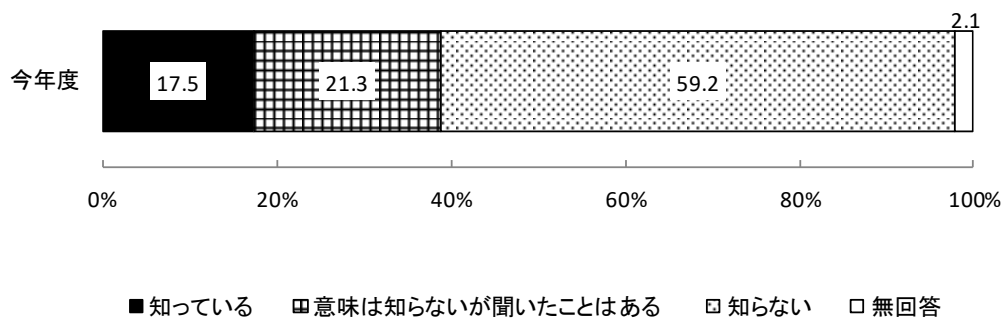
**Q17-1** あなたは、「多文化共生」（地域住民と外国人が互いを認め合い共に暮らしていくこと）、及び「やさしい日本語」（普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと）という言葉を知っていますか。

（○はそれぞれ1つ）

#### (1) 「多文化共生」の認知度



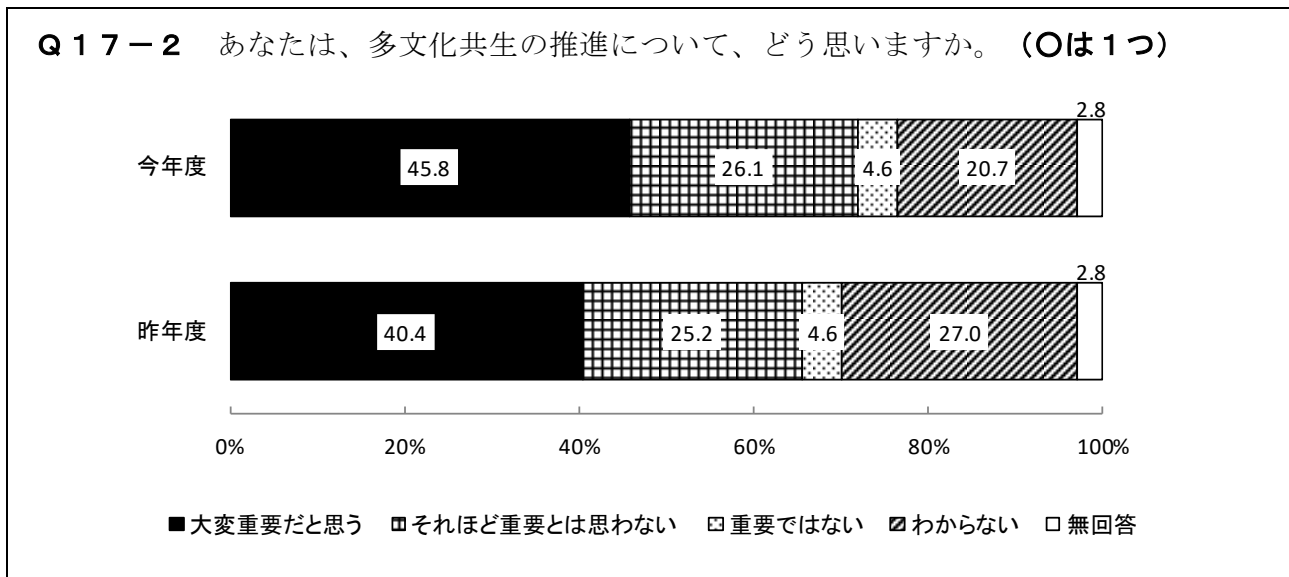
#### (2) 「やさしい日本語」の認知度



多文化共生の認知度について、「知っている」が 22.1%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 26.9%、「知らない」が 49.3%となっている。昨年度と比較すると、同程度で推移している。

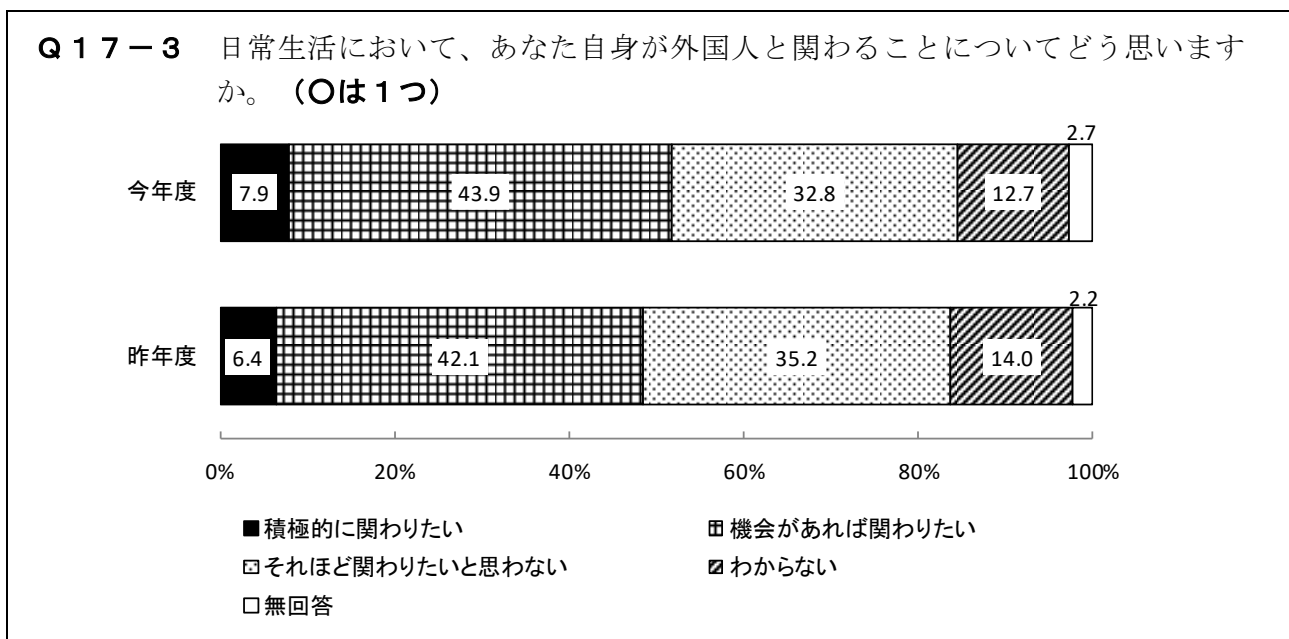
やさしい日本語の認知度について、「知っている」が 17.5%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 21.3%、「知らない」が 59.2%となっている。

17-2. 多文化共生の推進



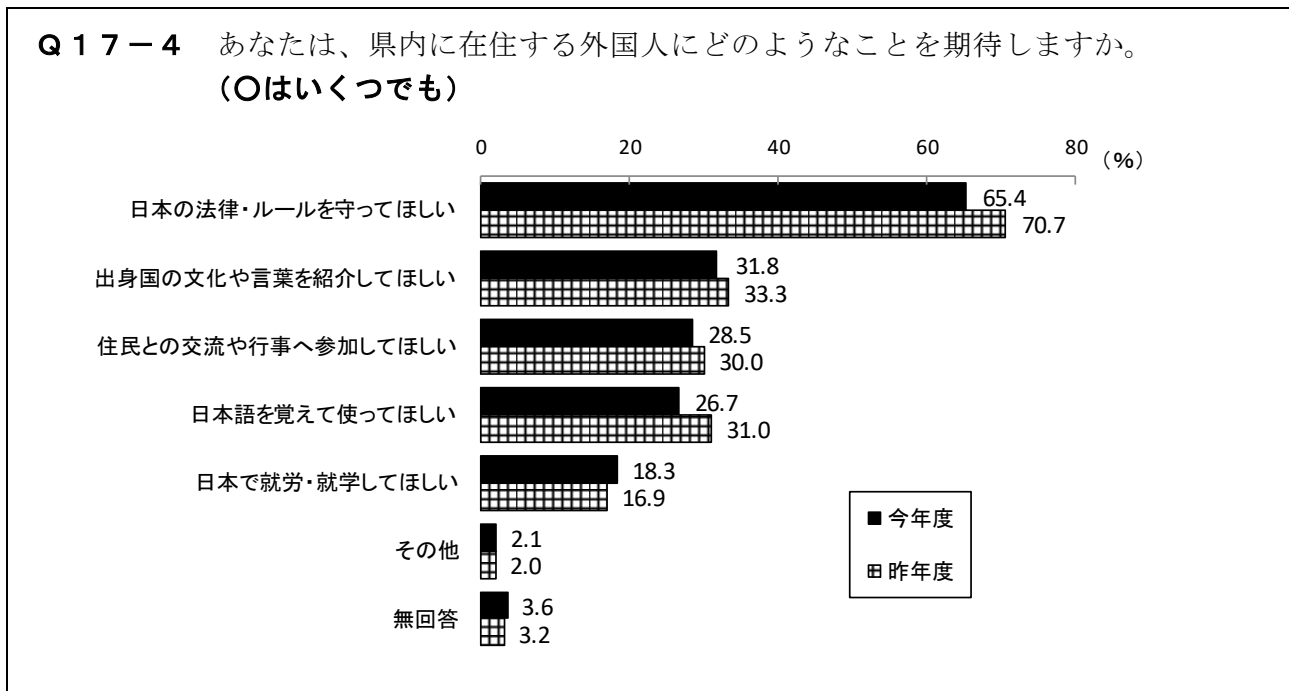
多文化共生の推進について、「大変重要だと思う」が45.8%と最も高く、次いで「それほど重要とは思わない」が26.1%、「わからない」が20.7%、「重要ではない」が4.6%の順となっている。昨年度と比較すると、「大変重要だと思う」が5.4ポイント上昇し、「わからない」が6.3ポイント低下している。

17-3. 日常生活で外国人と関わることについて



日常生活で外国人と関わることについて、「機会があれば関わりたい」が43.9%と最も高く、次いで「それほど関わりたいと思わない」が32.8%、「わからない」が12.7%、「積極的に関わりたい」が7.9%の順となっている。昨年度と比較すると、「積極的に関わりたい」が1.5ポイント、「機会があれば関わりたい」が1.8ポイントそれぞれ上昇し、「それほど関わりたいと思わない」が2.4ポイント、「わからない」が1.3ポイントそれぞれ低下している。

17-4. 県内在住の外国人へ期待すること



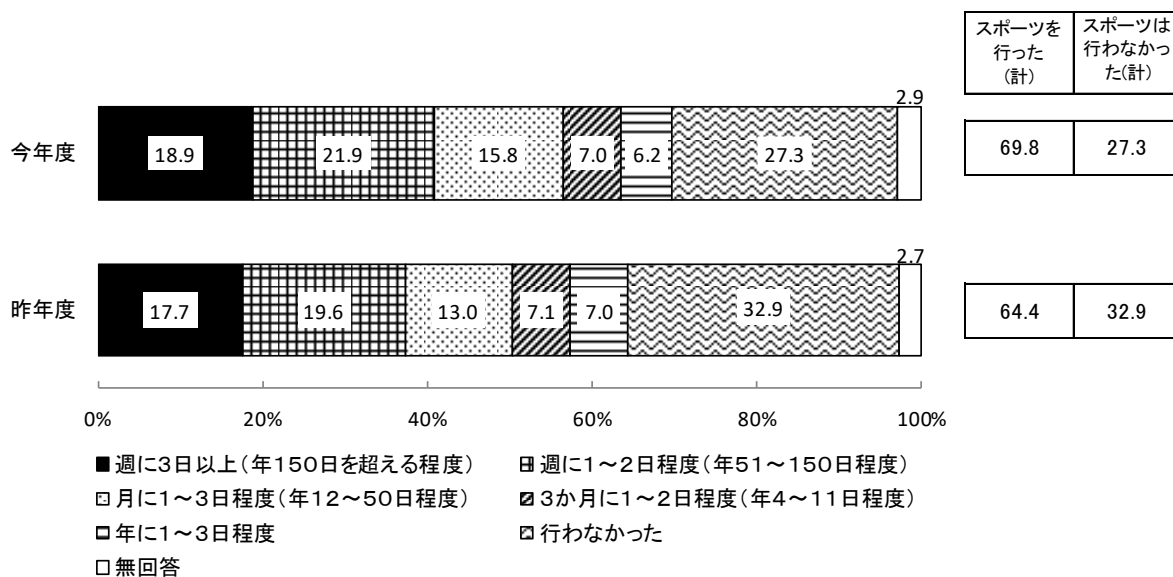
県内在住の外国人へ期待することについて、「日本の法律・ルールを守ってほしい」が65.4%で最も高く、次いで「出身国の文化や言葉を紹介してほしい」が31.8%、「住民との交流や行事へ参加してほしい」が28.5%、「日本語を覚えて使ってほしい」が26.7%、「日本で就労・就学してほしい」が18.3%の順となっている。昨年度と比較すると、「日本で就労・就学してほしい」が1.4ポイント上昇し、「日本の法律・ルールを守ってほしい」が5.3ポイント、「日本語を覚えて使ってほしい」が4.3ポイントそれぞれ低下している。

## 18. 運動・スポーツの実施状況について

### 18-1. 運動・スポーツの実施頻度

**Q18-1** あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ」を行いましたか。  
(○は1つ)

※「運動・スポーツ」：陸上競技・水泳・球技・武道・マリンスポーツ、ウィンタースポーツ等の他、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、サイクリング、トレッキング・釣り等のアウトドアスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

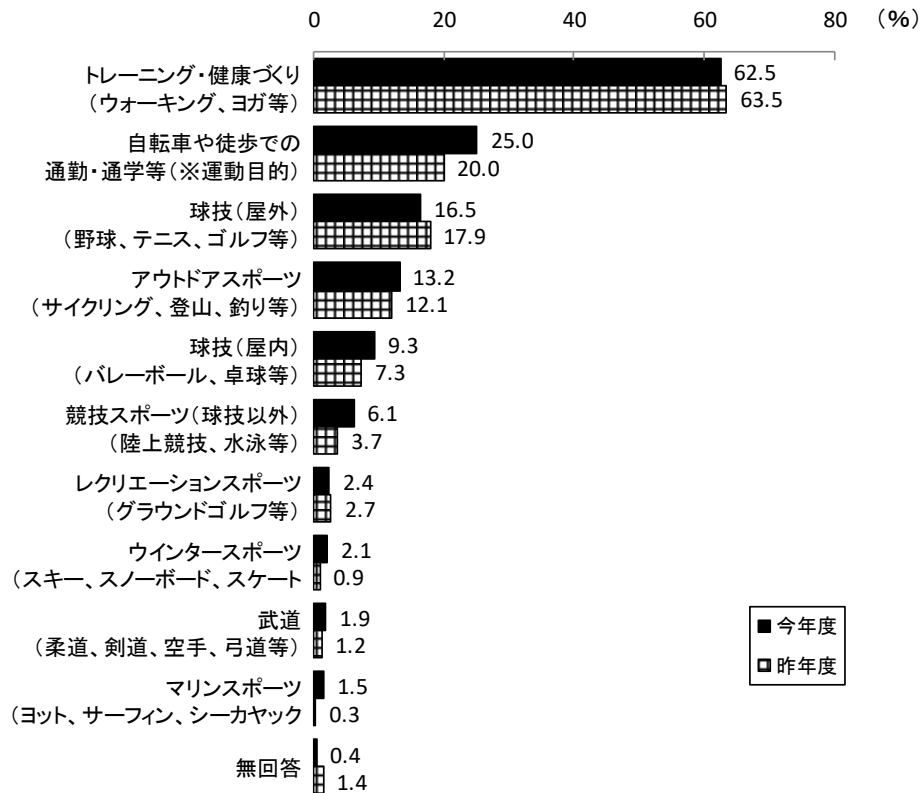


運動・スポーツの実施頻度について質問すると、「行わなかった」が27.3%となっており、昨年度と比較して5.6ポイント低下している。行った頻度は、「週に1~2日程度(年51~150日程度)」が21.9%と最も高く、次いで「週に3日以上(年150日を超える程度)」が18.9%、「月に1~3日程度(年12~50日程度)」が15.8%となっている。昨年度と比較すると、「月に1~3日程度(年12~50日程度)」が2.8ポイント、「週に1~2日程度(年51~150日程度)」が2.3ポイントそれぞれ上昇している。

18-2. どのような運動・スポーツを行ったか

【Q18-1で「1~5. 行った」と回答した方に】 (n=915)

Q18-2 どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。(〇はいくつでも)

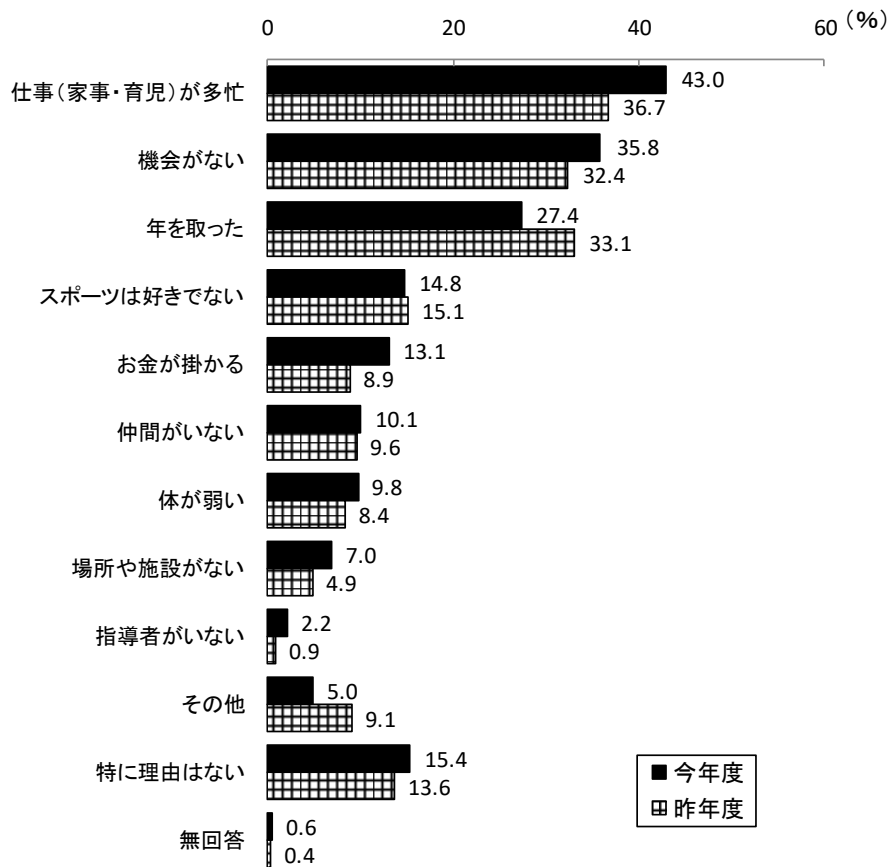


Q18-1で「行った」と回答した方に、どのような運動・スポーツを行ったか質問すると、「トレーニング・健康づくり(ウォーキング・ヨガ等)」が62.5%と最も高く、次いで「自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的)」が25.0%、「球技(屋外)(野球、テニス、ゴルフ等)」が16.5%、「アウトドアスポーツ(サイクリング、登山、釣り等)」が13.2%の順となっている。昨年度と比較すると、「自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的)」が5.0ポイント、「競技スポーツ(球技以外)(陸上競技、水泳等)」が2.4ポイントそれぞれ上昇し、「球技(屋外)(野球、テニス、ゴルフ等)」が1.4ポイント低下している。

18-3. 運動・スポーツを行わなかった理由

【Q18-1で「6. 行わなかった」と回答した方に】 (n=358)

Q18-3 「運動・スポーツ」を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

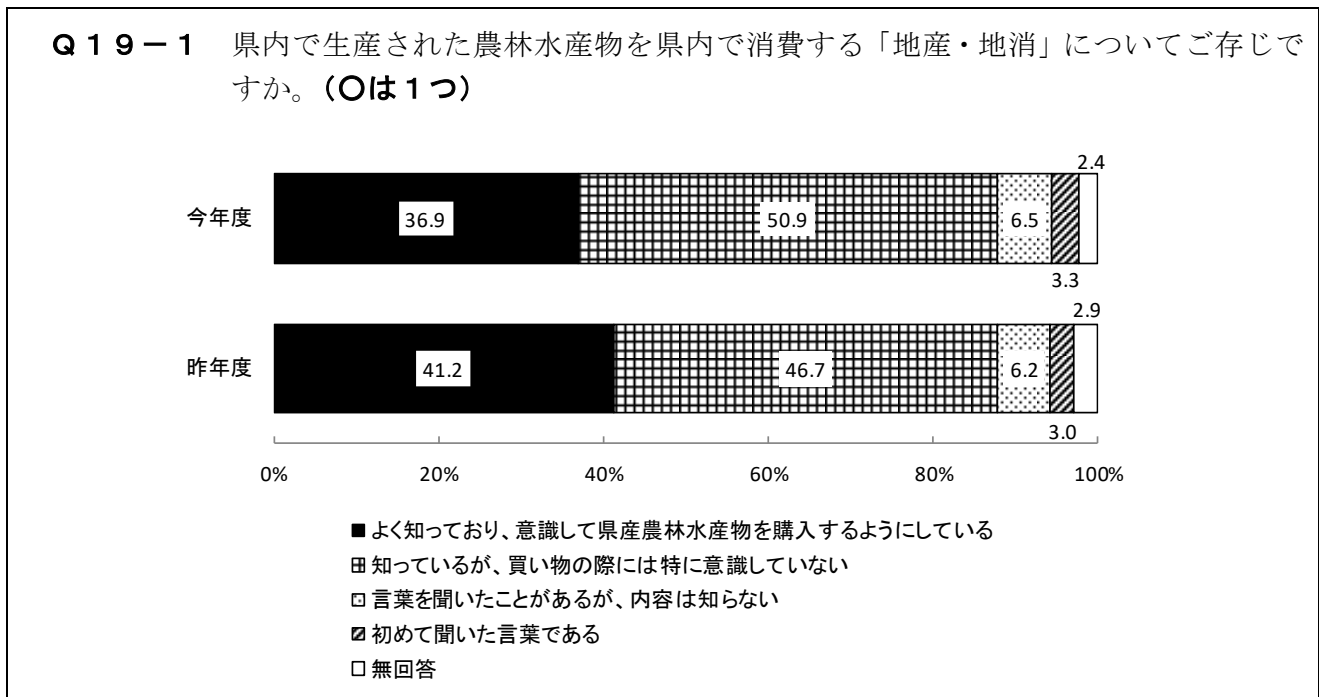


Q18-1で「行わなかった」と回答した方に、運動・スポーツを行わなかった理由について質問すると、「仕事（家事・育児）が多忙」が43.0%と最も高く、次いで「機会がない」が35.8%、「年を取った」が27.4%、の順となっている。昨年度と比較すると、「仕事（家事・育児）が多忙」が6.3ポイント「お金が掛かる」が4.2ポイントそれぞれ上昇したが、「年を取った」が5.7ポイント低下している。



## 19. 地産・地消の推進について

### 19-1. 「地産・地消」の認知状況

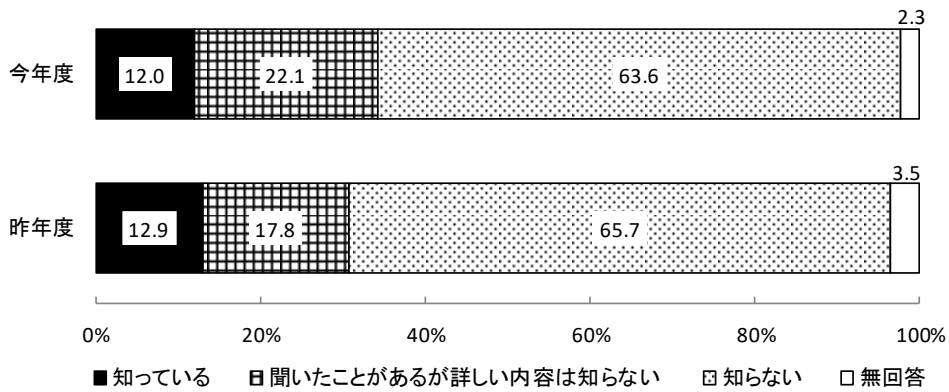


「地産・地消」の認知状況について、「よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている」が36.9%、「知っているが、買い物の際には特に意識していない」が50.9%、「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」が6.5%、「初めて聞いた言葉である」が3.3%となっている。昨年度と比較すると、「知っているが、買い物の際には特に意識していない」が4.2ポイント上昇し、「よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている」が4.3ポイント低下している。

## 20. 「やまぐち森林づくり県民税」について

### 20-1. 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況

**Q20-1** 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。(〇は1つ)

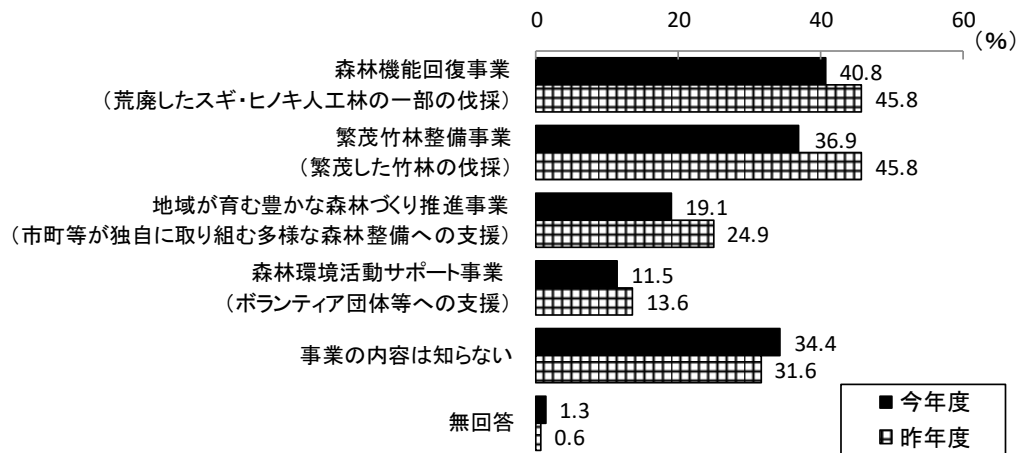


「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況について、「知っている」が12.0%、「聞いたことがあるが詳しい内容は知らない」が22.1%、「知らない」が63.6%となっている。昨年度と比較すると、「聞いたことがあるが詳しい内容は知らない」が4.3ポイント上昇し、「知らない」が2.1ポイント低下している。

## 20-2. 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容

【Q20-1で「1. 知っている」と回答した方に】 (n=157)

Q20-2 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。(〇はいくつでも)

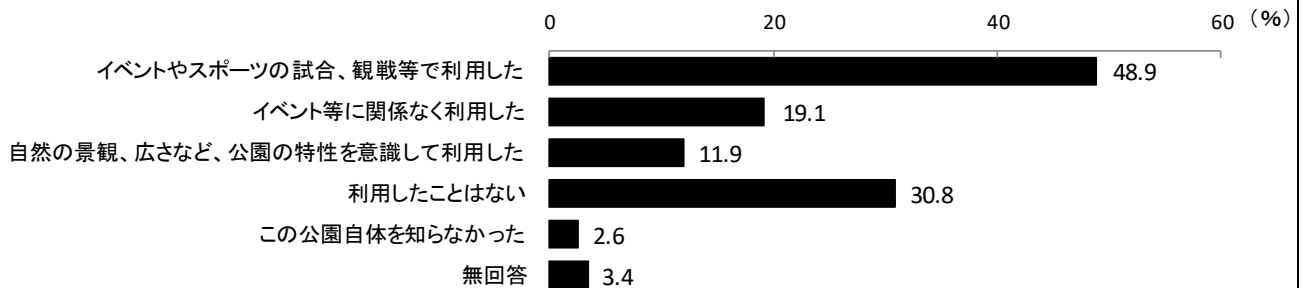


Q20-1で「やまぐち森林づくり県民税」を「知っている」と回答された方に、「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、知っている内容について質問すると、「森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部の伐採）」が40.8%と最も高く、次いで「繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）」が36.9%、「地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援）」が19.1%、「森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援）」が11.5%の順となっている。昨年度と比較すると、「繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）」が8.9ポイント、「地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援）」が5.8ポイントそれぞれ低下し、「事業の内容は知らない」は2.8ポイント上昇している。

## 2 1. 山口きらら博記念公園の再整備について

### 2 1 - 1. 山口きらら博記念公園の利用状況

**Q 2 1 - 1** あなたは山口きらら博記念公園を利用されたことはありますか。  
(〇はいくつでも)

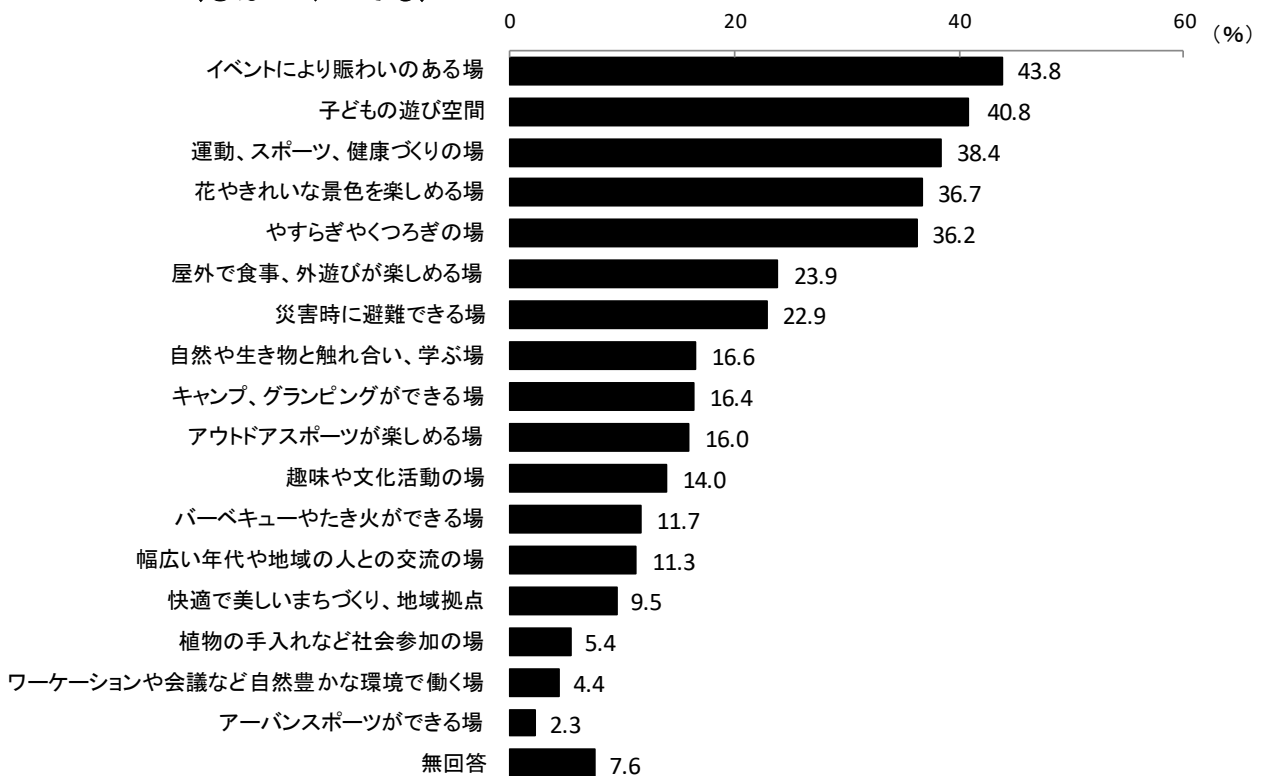


山口きらら博記念公園の利用状況について、「イベントやスポーツの試合、観戦等で利用した」が48.9%で最も高く、次いで「イベント等に関係なく利用した」が19.1%、「自然の景観、広さなど、公園の特性を意識して利用した」が11.9%の順となっている。一方で、「利用したことはない」は30.8%、「この公園自体を知らなかった」は2.6%となっている。

21-2. 山口きらら博記念公園に期待する役割

Q21-2 あなたが、山口きらら博記念公園に期待する役割についてお聞かせください。

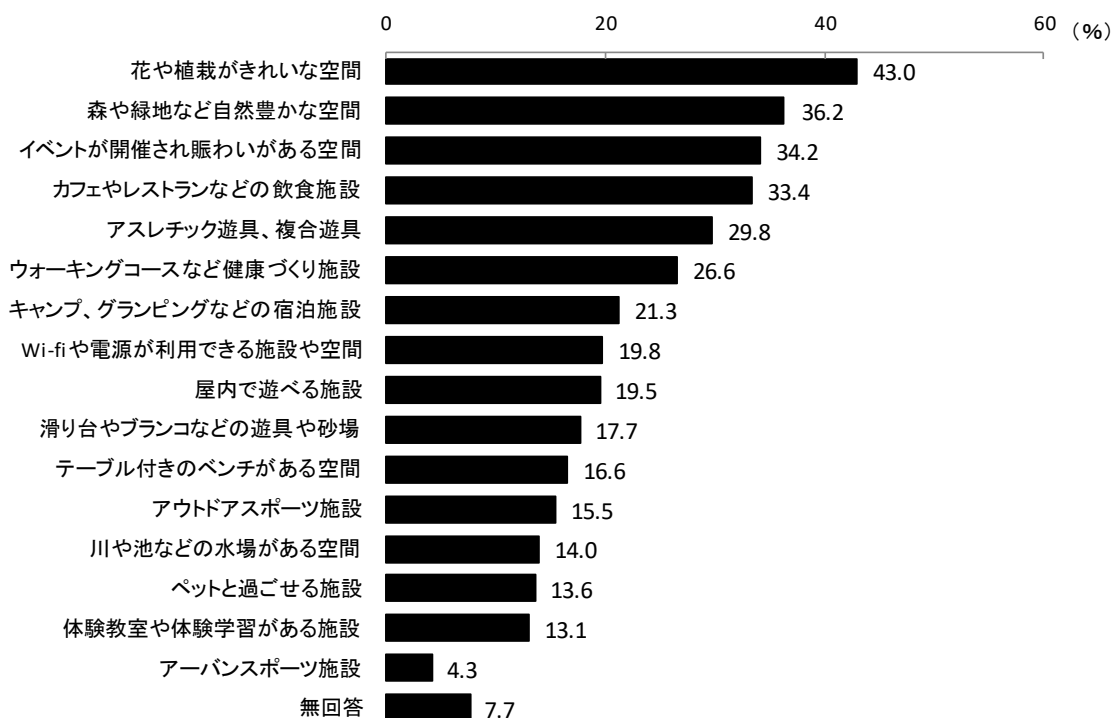
(〇はいくつでも)



山口きらら博記念公園に期待する役割について、「イベントにより賑わいのある場」が43.8%と最も高く、次いで「子どもの遊び空間」が40.8%、「運動、スポーツ、健康づくりの場」が38.4%、「花やきれいな景色を楽しめる場」が36.7%、「やすらぎやくつろぎの場」が36.2%の順となっている。

### 21-3. 山口きらら博記念公園に整備を希望する施設や空間

Q21-2 あなたが、山口きらら博記念公園に整備を希望する施設や空間をお聞かせください。(〇はいくつでも)



山口きらら博記念公園に整備を希望する施設や空間について、「花や植栽がきれいな空間」が 43.0%と最も高くなっている。次いで「森や緑地など自然豊かな空間」が 36.2%、「イベントが開催され賑わいがある空間」が 34.2%、「カフェやレストランなどの飲食施設」が 33.4%、「アスレチック遊具、複合遊具」が 29.8%の順となっている。

### Ⅲ. 資 料

#### 使用した調査票

### Ⅲ. 資料

## 令和5年度 県政世論調査 ～調査ご協力のお祝い～

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、山口県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答は無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今後の県政運営の基礎資料とさせていただきますので、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

### ご回答にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
- ◇ 次ページ以降の各質問について、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ◇ 「その他」を選ばれた場合は、( )内に具体的に記入してください。
- ◇ 6月日( )までに、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

#### ・本調査票で回答

同封の返信用封筒に調査票を入れて、ポストに投函してください。

#### ・インターネットで回答

① 回答用Webページを開く。

アドレスを入力するか、二次元バーコードを読み取り、Webページに接続する。

●アドレス

<https://kktstr.com/yamaguchir3>

●二次元バーコード



② 「回答用ID」と「パスワード」を入力し、ログインする。

●回答用ID

●パスワード

③ 画面の案内に沿って回答する。

(インターネットで回答された場合は、調査票を返送する必要はありません。)

※ 調査票にあなたのご氏名等を記入される必要はありません。

※ インターネットで回答しても、あなたのご氏名等は特定されません。

この調査についてご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県総合企画部広報広聴課 広聴企画班 TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 株式会社東京商工リサーチ 山口支店 TEL 0834-22-1060



最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。

Q1-1 いまのお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (〇は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

その理由をお書きください ( )

Q1-2 いまのお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (〇は1つ)

1. 満 足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不 満

その理由をお書きください ( )

Q1-3 これからのお宅の生活の見通しは・・・ (〇は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗 い

その理由をお書きください ( )

Q2 あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

県の行っている広報についておたずねします。

Q3-1 あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」          | 7. 県が発行する各種パンフレット・チラシ |
| 2. 県政テレビ放送               | 8. デジタルサイネージ          |
| 3. 県政ラジオ放送               | 9. 新聞報道               |
| 4. 県からの新聞広告              | 10. テレビ報道             |
| 5. 県のホームページ              | 11. ラジオ放送             |
| 6. 県のソーシャルメディア(フェイスブック等) | 12. 市町広報紙             |
|                          | 13. その他 ( )           |

Q3-2 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(〇は1つ)

- |          |               |                          |         |
|----------|---------------|--------------------------|---------|
| 1. 読んでいる | 2. ざっと目を通している | 3. あることは知っているが<br>読んでいない | 4. 知らない |
|----------|---------------|--------------------------|---------|



Q3-4へ

Q3-3 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。(〇はそれぞれ1つ)

(1) 発行回数 季刊発行(年4回)	1. 多すぎる	2. 多い	3. ちょうど よい	4. 少ない	5. 少なすぎる
-----------------------	---------	-------	---------------	--------	----------

(2) 各号の情報量 年4回：8ページ	1. 多すぎる	2. 多い	3. ちょうどよい	4. 少ない	5. 少なすぎる
(3) 誌面の読みやすさ	1. 読みやすい	2. どちらかといえば読みやすい	3. どちらともいえぬ	4. どちらかといえば読みにくい	5. 読みにくい

- Q3-4** 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。(〇はそれぞれ1つ)
- (1) 次の番組を視聴（または聴取）されたことがありますか。1、2、3から選んでください。
- (2) 視聴（または聴取）されたことがある場合は、その番組の印象をア、イ、ウから選んでください。

		毎回ほとんど見て(聴)いている	見た(聴)いたことがある	ほとんど見た(聴)いたことはない	大変好感が持てる	好感が持てる	好感が持てない
テレビ	「元気創出!やまぐち」[KRY 山口放送] 毎週日曜日 11:10~11:25	1	2	3	ア	イ	ウ
	「大好き!やまぐち」[TYS テレビ山口] 毎週土曜日 18:50~18:55	1	2	3	ア	イ	ウ
	「イキイキ!山口」[YAB 山口朝日放送] 毎週月曜日 23:10~23:15	1	2	3	ア	イ	ウ
ラジオ	「ワンポイント県政」[KRY 山口放送] 毎週水曜日 13:35~13:40	1	2	3	ア	イ	ウ
	「FM県民ダイアリー」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 18:10~18:15	1	2	3	ア	イ	ウ
	「情報BOXやまぐち」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 7:38~7:39	1	2	3	ア	イ	ウ

- Q3-5** 県では、本県の多彩な魅力や施策等の情報を、SNS等も活用し、ターゲットとなる方々に着実に届ける広報を展開しています。あなたは、このことをご存じですか。(〇は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

**県の取組に対する実感についておたずねします。**

山口県では、県づくりの基本目標である「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、さまざまな取組を進めています。ついては、取組の参考としますので、次の問いにお答えください。

- Q4-1** あなたにとって、山口県は住みよい県だと思いますか。(〇は1つ)

1. 住みよい県だと思う	3. どちらかといえば住みよい県だとは思わない
2. どちらかといえば住みよい県だと思う	4. 住みよい県だとは思わない

- Q4-2** あなたは、山口県にこれからも住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. これからも住み続けたい	3. 機会があれば県外に移りたい
2. 可能な限りこれからも住み続けたい	4. 県外に移りたい

Q4-3 「やまぐち維新プラン」(2018年～2022年)では19プロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しました。これに関する県の取組について、あなたの実感についておたずねします。右ページも参考に、いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

【1】産業維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
<b>1 「時代を勝ち抜く産業力強化」プロジェクト</b>						
①	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
②	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる	1	2	3	4	5
<b>2 「次代を切り拓く成長産業発展」プロジェクト</b>						
③	医療・環境関連産業や水素の利活用、バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる	1	2	3	4	5
④	衛星データ利用の取組や、航空機・宇宙機器産業への県内企業の参入、IoT・ビッグデータ・ロボット・AI活用などの第4次産業革命など、新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>3 「中堅・中小企業の『底力』発揮」プロジェクト</b>						
⑤	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑥	意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑦	商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑧	意欲のある人材が「創業」(起業)しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑨	本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>4 「強い農林水産業育成」プロジェクト</b>						
⑩	地産・地消や6次産業化、担い手の確保、先端技術の活用等による経営基盤の強化・生産拡大など活力ある農林水産業を振興するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5



## 19プロジェクトの主な取組のご紹介

①～⑩の質問に対応した主な取組（令和4年度の取組など）を記載していますので、ご回答の参考にしてください。

- ① コンビナートの国際競争力の強化に向け、世界最大級の船舶の入港が可能となる港湾整備を実施【R4年度：徳山下松港・宇部港】
- ② 医療関連、環境・エネルギー分野などの重点成長分野の企業誘致を推進【R4年：企業誘致件数：40件】



- ③ 水素の利活用による産業振興に向け、コンビナートで大量に生成される水素の活用や企業の水素関連研究開発を推進  
環境・エネルギー、医療、バイオ関連分野における企業等の研究開発や事業化を支援【R4年度：事業化件数：14件】
- ④ IoTを活用した新サービス等を創出する企業を、補助金等により支援【R4年度：中小企業IoT導入率：22.2%】



- ⑤ 県内金融機関等と連携したカンファレンスチームにより、地域中核企業等への支援を実施【R4年度：企業支援・相談等対応件数 延べ 752件】
- ⑥⑦ ものづくりやサービス業を営む企業に対し、「生産性向上・人材創造拠点」を設置し、コーディネーターや補助金等による支援を実施
- ⑧ 商工会議所や商工会等と連携し、創業を希望する者を支援【R4年度：支援による創業数：226件】
- ⑨ 企業が求める産業人材の確保に向け、「山口しごとセンター」で、若者、女性、シニアと県内企業とのマッチング等を実施【R4年度：就職決定者（山口しごとセンター登録者）：3,367人】



- ⑩ 新規就業者に対して、全国トップ水準の給付金などによる支援に加え、技術習得から生活全般へのトータルサポート体制を構築  
中核経営体の経営基盤強化のため、専門大学や専門家派遣等による経営分析、マネジメント研修、農業機械・施設等の整備など、総合的な支援を実施



【2】大交流維新		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう は思わな い	そうは 思わな い
<b>5 「交流を拡げる基盤整備」プロジェクト</b>						
⑪	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる	1	2	3	4	5
⑫	海外自治体等との国際交流や、多文化共生を深めるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>6 「選ばれる観光目的地やまぐち実現」プロジェクト</b>						
⑬	観光資源やおもてなしの充実、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑭	海外からの観光客を増加させるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>7 「国内外での新たな市場開拓」プロジェクト</b>						
⑮	首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品等を売り込むための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑯	中小企業の海外展開や農林水産物・加工品の海外輸出を促進するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>8 「やまぐちへの人の還流・移住・定住促進」プロジェクト</b>						
⑰	県外からの移住・定住者を増やすための取組（U・Jターンなど）が進んでいる	1	2	3	4	5

【3】生活維新		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう は思わな い	そうは 思わな い
<b>9 「結婚、妊娠・出産、子育て応援」プロジェクト</b>						
⑱	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる	1	2	3	4	5
⑲	安心して子どもを産み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる	1	2	3	4	5
⑳	児童虐待の防止や子どもの貧困対策など、困難を有する子どもへの支援が進んでいる	1	2	3	4	5

- ⑪ 県内交通事業者（バス、タクシー等）の事業継続を図るため、大きな負担となっている燃料費等を支援、観光列車などの運行等により観光地へのアクセスを改善  
 【R4年度：観光列車などの運行：S L/DL やまぐち号、〇〇(まるまる)のはなし、やまぐち絶景海喫バス】
- ⑫ オンラインなど新たな手法も活用した海外自治体等との交流・国際交流員による情報発信や、外国人に対する相談体制の確立や日本語教育の推進など、国際交流や多文化共生に関する取組を実施



- ⑬ やまぐち割引宿泊券、旅々やまぐち割、旅々やまぐち割プラス等の観光需要の一層の喚起を図る取組や、宿泊客増加につながる民間事業者による観光資源開発に対する支援を進めるとともに、県内観光資源を活用した周遊イベント「やまぐちのナゾさんぽ」など、誘客促進と観光消費の向上を図る取組を展開  
 【R4年：延べ宿泊者数の対令和元年（コロナ禍前）比伸び率：山口県 9.0%（全国1位）】  
 【R4年：宿泊施設の客室稼働率：山口県 57.1%（全国1位）】



- ⑭ インバウンドの回復が本格化した状況を捉え、海外の旅行会社やメディアと連携したオンラインを活用したプロモーションの実施、観光事業者によるデジタル技術を活用した情報発信の支援や、クルーズ船誘致に向けたセールス活動など、海外からの誘客拡大の取組を実施

- ⑮ 県産品の売り込みの強化を図るため、「地域商社やまぐち」を中心に、首都圏等での販路開拓や情報発信を実施  
 【R4年度：ご当地商品開発、展示会出展、オンライン商談会、県産品のPR】
- ⑯ 様々な県産品を合わせて輸出できる体制の構築や、現地での販売促進イベントを実施【R4年度：農林水産物等の輸出商品数：312商品】



- ⑰ 移住促進の取組の強化に向け、東京の移住希望者に向けた講座の開催、県外でも移住相談に対応できる体制の整備などを実施【R4移住者数：3,655人】



- ⑱ やまぐち結婚応援センターによるマッチングや、子育て世代包括支援センターの設置など、結婚から子育てまで、切れ目のない支援を実施  
 【R4年度：マッチング件数：728件、支援センター設置19市町】



- ⑲ 総合・地域周産期母子医療センターへの支援や、夜間の小児応急処置等への電話相談「#8000」など、周産期・小児医療の体制を整備  
 【R4年度：小児救急医療の電話相談の件数：8,830件】



- ⑳ 困難を有する子どもへの支援を充実するため、子ども食堂の開設支援など地域で支える「子どもの居場所づくり」の取組拡大や、児童福祉司の増員等を実施



		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>10 「やまぐち働き方改革推進」プロジェクト</b>						
⑲	長時間労働の縮減や、仕事と子育て・介護等が両立できる環境整備など、「働き方改革」の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑳	若者の県内就職・定着に向けた支援が進んでいる	1	2	3	4	5
㉑	女性が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉒	高齢者が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
<b>11 「快適な暮らしづくり推進」プロジェクト</b>						
㉓	暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上、都市公園の利用促進など、快適な生活環境づくりのための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉔	再生可能エネルギーの導入促進などの地球温暖化対策の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉕	廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉖	自然環境の保全・活用に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>12 「新時代を創造する人材育成」プロジェクト</b>						
㉗	コミュニティ・スクールが核となり、学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉘	少人数指導など、子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉙	特別支援教育の推進に向け、きめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉚	いじめ、不登校対策など、子どもたちの豊かな心の育成に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉛	特色ある学校づくりなど、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉜	大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>13 「人を豊かにする環境づくり推進」プロジェクト</b>						
㉝	生涯学び続けるための地域における多様な学習の機会や、自らのスキルアップのための学び直しの機会が充実している	1	2	3	4	5
㉞	文化・芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われている	1	2	3	4	5

- ⑳ 働き方改革実践モデルづくりに向け、「やまぐち働き方改革支援センター」や登録制のアドバイザーにより、企業の取組のサポートを実施  
【R4年度：支援センター企業訪問件数：556件】
- ㉑ 若者の県内就職・定着のため、県内外の大学生を対象とした県内企業インターンシップを実施【R4年度：インターンシップ参加学生数：850人】
- ㉒㉓ 「山口しごとセンター」を設置し、女性や高齢者の就職支援を強化  
【R4年度：シニア・女性就職支援コーナー利用件数：772件】



- ㉔ 公共交通機関の利便性の向上に向け、路線バスへの交通系ICカード導入に対する支援や、「新たな地域交通モデル形成に関する取組方針」を踏まえた地域交通の課題解決に資する実証事業を推進  
【R4年度：交通系ICカード導入支援1社】
- ㉕ 山口きらら博記念公園において、民間事業者による公園での自立的かつ継続的な活動に向け「山口きらら博記念公園活性化協議会」に対する支援を行い、イベント「ゆめ花マルシェ2022」を開催（R4年度：10月開催）
- ㉖ アプリを活用して脱炭素型ライフスタイルへの行動変容の促進を図るとともに、山口県産品を導入したネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）に対する補助などにより、省・創・蓄エネの導入を促進する取組を実施  
【R4年度：ZEH補助24件】
- ㉗ 食品ロス削減に向けたフードバンク活動の拡大・定着を図る取組を支援  
【フードバンクポスト数：107カ所（R5.3.31時点）】
- ㉘ 指定希少野生動物種の追加指定や野生鳥獣の適正な管理による生態系の保全、ニホンアワサングなどの自然資源を活用したエコツーリズムを促進する取組を実施



- ㉙ 全国に先駆け、全ての公立小中学校、高等学校及び総合支援学校等にコミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した取組を実施  
【R4年度：コミュニティ・スクールを活用し取組を実施した県立高校等：100%】
- ㉚ 少人数指導のための教員加配、学力向上推進リーダー等の配置など、指導体制の整備を実施
- ㉛ 総合支援学校における実践的・体験的なキャリア教育やVRを活用した新たな学びの機会の創出による校外学習・職場体験の充実など、障害のある生徒の社会参加を促進  
【R4年度：総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率：98.8%】
- ㉜ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより、児童生徒等へのカウンセリングや家庭への支援などを実施  
いじめや自殺の未然防止に向け、教員への研修などを実施
- ㉝ 県内初の3部制の定時制課程と通信制課程をもつ「山口松風館高校」を開校
- ㉞ 県内の大学が持つ知見を活用した共同研究の推進や、大学生が中山間地域を活性化する取組への支援などを実施



- ㉟ 博物館やセミナーパークにおいて、生涯学習講座を開催するなど、様々な学習の機会を提供
- ㊱ 「庵野秀明展」など美術館での企画展や「地域伝統芸能全国大会」の開催、市町が総合型地域スポーツクラブと連携して開催するスポーツイベント等の取組を支援  
【R4年度：県立美術館入館者数：153,551人】  
【R4年度：総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツイベント参加者数：31,651人】





		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>14 「誰もがいきいきと輝く地域社会実現」プロジェクト</b>						
⑳	NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5
㉑	男女が性別にかかわらず、個性や能力を発揮できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉒	高齢者などのシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉓	障害のある人に対する理解が進み、障害のある人が就労したり、スポーツ・文化活動を行うことができる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉔	一人ひとりの人権が尊重されている	1	2	3	4	5
<b>15 「安心の医療・介護充実」プロジェクト</b>						
㉕	地域で医療サービスを受けられる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉖	医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>16 「県民一斉健康づくり」プロジェクト</b>						
㉗	生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>17 「災害に強い県づくり推進」プロジェクト</b>						
㉘	地域における防災活動が活発になっている	1	2	3	4	5
㉙	大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる	1	2	3	4	5
㉚	学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>18 「暮らしの安心・安全確保」プロジェクト</b>						
㉛	食品の検査や消費生活センターにおける相談など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
㉜	安全で安心して暮らせる社会づくりに向けて、犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>19 「人口減少社会を生き抜く地域づくり」プロジェクト</b>						
㉝	まちの拠点に、生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉞	中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉟	中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を行う地域交流など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

- ⑳ 県民活動促進期間におけるキャンペーンの実施やフェスタ・写真展の開催、ボランティアマッチングサイト「あいかさねっと」の運営などにより、県民活動を推進
- ㉑ 次代を担う若者に家事・育児参画への関心を持ってもらえるよう、高校生・大学生等を対象とした「男性の家事・育児参画に関する啓発動画コンテスト」を開催
- ㉒ 高齢者のスポーツと文化の祭典「ねんりんピック山口」の開催、老人クラブのコミュニティ・スクールへの参画など、高齢者の活動を支援  
【R4年度：ねんりんピック山口：19種目、1,728人参加】
- ㉓ 「障害者芸術文化祭」、「キラリンピック」の開催や、パラアスリートの海外遠征助成など、障害者の活躍を支援  
【R4年度：パラアスリート認定選手6名】
- ㉔ 人権ふれあいフェスティバルの開催や、スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を実施



- ㉕ 研修医への指導体制の充実や、看護職員の再就職支援のほか、修学資金の貸付けによる医師・看護職員の確保など、医療提供体制の充実に向けた総合的な対策を実施
- ㉖ 介護人材・生活支援コーディネーターの養成により、介護や生活支援等のサービスを一体的に提供する体制(地域包括ケアシステム)を強化



- ㉗ 歩数や体重など健康情報を管理する「やまぐち健康アプリ」の利用促進、減塩などに取り組む飲食店を拡大するプロジェクトの実施  
【取組を行う飲食店数：延べ513店（R5.3.31時点）】



- ㉘ 地域が主体となった避難体制づくりの支援や、自主防災組織役員等を対象とした研修を促進
- ㉙ 大規模自然災害に備えるため、道路・橋梁、河川・ダム、砂防堰堤などの整備や老朽化対策を実施
- ㉚ 施設の耐震化工事のほか、危険なブロック塀の除去への補助を実施



- ㉛ 県と市町の消費生活相談員による、架空請求などの消費者問題に関する相談体制を整備【R4年度：消費生活相談員の配置市町数：19市町（全市町）】
- ㉜ うそ電話詐欺被害を防止するための戸別訪問活動や、高齢者を対象とした交通安全指導を実施  
【R4年度：戸別訪問活動：延べ35,818世帯（うち独居：延べ14,803世帯）】  
【R4年：高齢者対象の安全教育：518回（延べ11,960人）】



- ㉝ 住宅や福祉・商業施設などを一定の区域に集約するため、市町が進めている「立地適正化計画」の策定を支援
- ㉞ 集落の枠を超えた広い範囲(複数の集落)で、生活交通や買い物などの生活環境の維持・充実を図る「やまぐち元気生活圏」づくりを支援  
【R4年度：やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数：71地域】
- ㉟ 地域交流の機運を醸成するセミナーの開催や、地域交流の主体となる担い手組織の立ち上げりを支援【R4年度：セミナー参加者：延べ51人】



#### 【4】行財政基盤の強化

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
㉔ 県と市町が連携・協力して様々な事業に取り組み、住み良い地域づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉕ 県の職員数の適正管理や財政の健全化など、県の行財政基盤の強化に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5

Q4-4 今後の県づくりを進めていく上で、県が重視すべき事項等についてのご意見があれば、その内容を記述してください。

---



---



---

その他、県が取組を進めている17項目についておたずねします。

#### 1 デジタル化について

Q5-1 あなたのインターネットの活用状況について教えてください。(〇は1つ)

1. インターネットを活用している ↓	2. インターネットを活用していない	
[「1.」と回答された方。使用している機器は何か教えてください。(〇はいくつでも)]		
1. パソコン	4. ウェアラブル端末	7. 家庭用ゲーム機
2. スマートフォン	5. 携帯電話(スマートフォンを除く)	8. その他
3. タブレット端末	6. テレビ	

Q5-2 あなたは、申請・届出等の行政手続をオンライン(ワクチン接種予約やマイナポータルなどの各種申請システム・電子メール等)で手続したことがありますか。(〇は1つ)

1. オンラインで手続したことがある → Q5-3へ	
2. オンラインで手続したことはないが、してみたい	
3. 手続がまだオンライン化されていないため、できない	
4. オンラインで手続ができることを知らなかった	→ Q5-4へ
5. パソコンやスマホを持っていない(使えない)ため、できなかった	
6. 関心がなく、今後もオンラインで手続をしない	

Q5-3 オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについて、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足している	4. どちらかといえば不満である
2. どちらかといえば満足している	5. 不満である
3. どちらともいえない	



Q5-4 あなたは、オンラインでの手続を促進するために、何が必要と考えますか。

(〇はいくつでも)

1. 手続を行うための入口のわかりやすさ	7. 手続の処理状況が確認できること
2. 手続の際の操作方法のわかりやすさ	8. 手続がオンラインのみで完結すること
3. 個人情報保護などのセキュリティ対策	9. 手続に関する相談窓口の設置
4. オンラインで行える手続の拡充	10. オンラインで手続をするための環境
5. オンラインで行える手続の周知	11. その他 ( )
6. 手続から許可等までの処理の迅速化	12. 特くない

Q5-5 あなたは、どのような分野において、デジタル技術の活用で便利になったと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. ショッピング	6. 行政手続	11. 農林水産業
2. 教育・学習支援	7. ものづくり	12. 結婚・子育て
3. 医療・介護	8. 暮らしの安全・防犯	13. その他
4. 働き方・オフィス環境	9. 建設業・インフラ管理	14. 特くない
5. 観光・交通	10. 産業人材確保・育成	

Q5-6 本県でデジタル化が進むためには、どのような取組が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

1. デジタルが苦手な方へのサポート (デジタルデバイド対策)	6. デジタル教育の推進、デジタル人材の育成
2. 情報セキュリティの確保	7. デジタル化に取り組む企業等への支援
3. 行政手続のオンライン化	8. データのオープン化と利活用の促進
4. 情報通信環境の整備・拡充	9. その他
5. マイナンバーカードの普及・活用	10. 特くない

## 2 県民活動について

Q6-1 県では、県民活動（営利を目的としない県民の自主的・主体的な社会参加活動）を推進しています。あなたは、地域の清掃やスポーツ行事、リサイクル、高齢者や障害者のための福祉、子育て支援など、仕事以外で地域や社会のために活動したことはありますか。(〇は1つ)

1. 活動したことがある	2. 活動したことがない
--------------	--------------

Q6-2 あなたは、今後このような活動をしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. したいと思う →Q6-3へ	2. したいと思わない →Q6-4へ
------------------	--------------------

Q6-3 どのような分野の活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 健康づくり（食生活や体力づくりの指導等）	8. 自然保護・環境保全
2. 医療（献血、患者の会等）	9. 防犯活動
3. 高齢者・障害者福祉	10. 交通安全
4. 児童・母子・父子福祉（ひとり親家庭の支援等）	11. 子どもの健全育成（放課後活動の実施等）
5. まちづくりの推進・観光や産業等の振興 (清掃活動、都市と農村の交流等)	12. 社会教育の推進（生涯学習、啓発活動等）
6. 学術・文化・芸術・スポーツの振興	13. 災害救援
7. リサイクル	14. 消費生活（消費者保護、流通調査活動等）
	15. その他 ( )

Q6-4 したいと思わない理由を、次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 活動する時間がない     | 5. 健康や体力に問題がある   |
| 2. 一緒に活動する仲間がいない | 6. したいことがない      |
| 3. 活動する資金がない     | 7. 何をしてもいまいわからない |
| 4. 情報やきっかけがない    | 8. その他 ( )       |

### 3 消費生活に関することについて

Q7-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 市町や消費生活センターなど行政機関の相談窓口 | 8. 近所の人                      |
| 2. 警察                     | 9. 民生委員、ホームヘルパーなど            |
| 3. 弁護士、司法書士などの専門家や法テラス    | 10. その他 ( )                  |
| 4. 消費者団体                  | 11. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 5. 同居している家族・親族            | 12. 誰かに相談しようとは思わない           |
| 6. 同居していない家族・親族           | 13. わからない                    |
| 7. 友人、同僚など                |                              |

### 4 犯罪被害者等支援について

Q8-1 あなたが犯罪被害に遭ってしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 県や市町などの行政機関           | 6. 友人や会社の上司、同僚等             |
| 2. 警察等の捜査機関              | 7. その他 ( )                  |
| 3. 民間の支援団体(民間犯罪被害者等支援団体) | 8. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 4. 弁護士や法テラス              | 9. 相談しない                    |
| 5. 家族、親族                 |                             |

Q8-2 あなたは、犯罪被害に遭われた方やその家族又は遺族が「二次的被害」により苦しんでいる実情があることを知っていますか。(〇は1つ)

「二次的被害」とは、犯罪等による直接的な被害を受けた後に、犯罪被害者等に対する配慮に欠ける言動、誘導中傷、過剰な取材等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、名誉の毀損、私生活の平穏の侵害、経済的な損失その他の被害をいう。

- |                          |         |
|--------------------------|---------|
| 1. 身近な人が苦しんでいたので知っている    | 3. 知らない |
| 2. 苦しんでいる人がいることを聞いたことがある |         |

Q8-3 あなたは、次の犯罪被害者等支援に関するものを知っていますか。(〇はいくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 「犯罪被害者等基本法」という法律があること            |
| 2. 「山口県犯罪被害者等支援条例」という条例があること        |
| 3. 県に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること        |
| 4. 県内の全ての市町に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること |
| 5. 県が犯罪被害者等支援に関するイベントを開催していること      |
| 6. どれも知らない                          |

## 5 人権について

Q9-1 あなたは、現在どのような「人権問題」に関心をお持ちですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 男女共同参画に関する問題 | 10. インターネットにおける問題    |
| 2. 子どもの問題       | 11. プライバシーの保護        |
| 3. 高齢者の問題       | 12. 拉致問題             |
| 4. 障害者の問題       | 13. インフォームド・コンセントの推進 |
| 5. 同和問題         | 14. 感染症の問題           |
| 6. 外国人問題        | 15. ハンセン病問題          |
| 7. 罪や非行を犯した人の問題 | 16. LGBTなどに関する問題     |
| 8. 犯罪被害者と家族の問題  | 17. ストーカーの問題         |
| 9. 環境問題         | 18. その他 ( )          |

Q9-2 あなたは、人権問題に関する知識や情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1. 報道 ( テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 )    | 5. 民間団体や町内会等での活動 |
| 2. インターネットやメールリスト、メールマガジン等 | 6. 家族・友人との会話     |
| 3. 講演会・研修会・学習会等への参加        | 7. その他 ( )       |
| 4. 行政や民間団体のパンフレット          |                  |

## 6 性の多様性について

Q10-1 県では、性の多様性を認め合う意識の醸成を図るため、啓発活動に取り組んでいます。あなたは、LGBT等の方が、日常生活を営む上で直面している課題・困難は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

※「LGBT」とは、レズビアン (女性の同性愛者)、ゲイ (男性の同性愛者)、バイセクシュアル (両性愛者)、トランスジェンダー (身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感を持つ人) の頭文字を組み合わせた言葉で、性的マイノリティを表す言葉の一つとして使われることもある。

- |   |  |
|---|--|
| 1. 教育 (学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール、いじめなど)      | 5. 民間サービス (宿泊施設・店舗等の利用拒否、家族割引、生命保険の受取など) |
| 2. 就労 (採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度など) | 6. 死別 (パートナーの葬儀への出席、遺産相続など)              |
| 3. 住宅 (賃貸住宅の入居拒否など)                       | 7. 差別的言動を受けること (じろじろ見られる、SNS等の書き込みなど)    |
| 4. 医療 (パートナーの手術の同意、安否情報の提供、看護など)          | 8. その他 ( )                               |
|   | 9. 特に課題はないと思う                            |

Q10-2 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組を選んでください。(〇はいくつでも)

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 県民への広報・啓発 (ホームページ、リーフレット) | 6. 相談窓口の設置                   |
| 2. 企業・事業者への啓発 (企業向け手引きの提供など) | 7. 申請書類等の性別記載欄の表記への配慮        |
| 3. 県民向け講座の開催                 | 8. 多目的トイレにおける「どなたでも利用できます」表示 |
| 4. 性の多様性を理解するための学校教育         | 9. パートナーシップ制度の実施             |
| 5. 行政職員や教職員等への研修の実施          | 10. 特に必要な取組はない               |
|                              | 11. その他 ( )                  |



## 7 食の安心・安全について

Q11-1 あなたは、日常の生活で食品に不安をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 非常に不安	2. 少し不安	3. 不安はない
----------	---------	----------

Q11-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。(〇はそれぞれ1つ)

	非常に不安	少し不安	不安はない	わからない
1. 細菌やウイルスなどによる食中毒	1	2	3	4
2. 農産物への農薬等の残留	1	2	3	4
3. 食品添加物の安全性	1	2	3	4
4. 輸入食品の安全性	1	2	3	4
5. 食品の産地表示の信頼性	1	2	3	4
6. 食品の期限表示の信頼性	1	2	3	4
7. アレルギー物質の含有	1	2	3	4
8. BSE (牛海綿状脳症)	1	2	3	4
9. 遺伝子組換え食品の安全性	1	2	3	4
10. ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	1	2	3	4
11. 放射性物質による汚染	1	2	3	4

Q11-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者(生産者、製造・加工者、販売者)」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

<b>(1) 食品関連事業者に望む取組 (〇は3つまで)</b>	
1. 施設の衛生管理の徹底	5. 施設見学や意見交換会の実施など、消費者との相互理解の推進
2. 食品の自主的な検査	
3. 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底	6. その他 ( )
4. 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供	
<b>(2) 消費者に必要な取組 (〇は3つまで)</b>	
1. 食中毒予防に関する正しい情報の収集と知識の習得	4. 見た目や値段より安全性の重視
2. 食品添加物や残留農薬などに関する正しい情報の収集と知識の習得	5. 産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流
3. 食品表示制度の理解と購入時における確認	6. その他 ( )
<b>(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)</b>	
1. 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底	4. 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進
2. 食品に対する検査の徹底と結果の公表	5. その他 ( )
3. 食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供	





## 10 北朝鮮による拉致問題について

Q14-1 あなたは、「北朝鮮による拉致問題」について、どの程度関心をお持ちですか。(〇は1つ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 大いに関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 全く関心がない  |

Q14-2 「北朝鮮による拉致問題」の解決には、県のどのような取組が必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1. 県民世論を喚起するため、北朝鮮による拉致問題の周知を図る取組(パネル展示、マスメディアでの広報等)を積極的に行う | 3. 政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う |
| 2. 拉致被害者ご家族を支援する団体の活動(署名、募金等)に対して、積極的に協力する                  | 4. 他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる   |
|   | 5. その他( )                      |

Q14-3 北朝鮮による拉致問題の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。

(〇はいくつでも)

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する | 4. 知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う |
| 2. 街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する  | 5. ブルーリボンバッジを着用する                       |
| 3. 街頭などで行われる署名や募金に応じる        | 6. その他( )                               |
|                              | 7. 特に協力は考えていない                          |

## 11 食育について

Q15-1 あなたは、「食育」について関心がありますか。(〇は1つ)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 関心がある         | 4. 関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば関心がない |          |

Q15-2 地域や所属コミュニティ(職場等を含む)での食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。(〇は1つ)

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 1. そう思うし、過去1年間で参加したことがある | 4. あまりそう思わない |
| 2. そう思うが、過去1年間で参加したことはない | 5. 全くそう思わない  |
| 3. どちらともいえない             |              |

Q15-3 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。(〇は1つ)

- |   |
|---|
| 1. 受け継いでおり、地域や次世代(子どもや孫を含む)に対して伝えている    |
| 2. 受け継いでいるが、地域や次世代(子どもや孫を含む)に対しては伝えていない |
| 3. 受け継いでいない                             |

## 12 薬剤師・薬局について

薬局の中には、薬について身近に相談できるかかりつけ薬剤師・薬局に加え、入退院などで療養環境が変わっても、医療機関等と薬の情報を共有して途切れることなく対応できる「地域連携薬局」や薬以外の健康に関する相談に応じる「健康サポート薬局」があります。

また、山口県独自の取組として、地域において薬学的な健康サポート<sup>\*</sup>を行う「山口県健康エキスパート薬剤師」を登録・公表しています。

※「薬学的な健康サポート」とは、身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うことです。

Q16-1 これらの薬剤師・薬局に関する取組について知っていましたか。(○はそれぞれ1つ)

	よく 知っている	少し 知っている	言葉は聞いた ことがあるが 内容はよく知 らない	この調査で はじめて 知った
1. かかりつけ薬剤師・薬局	1	2	3	4
2. 地域連携薬局	1	2	3	4
3. 健康サポート薬局	1	2	3	4
4. 山口県健康エキスパート薬剤師	1	2	3	4

Q16-2 薬剤師・薬局に、健康に関して、薬以外のことでどのような内容を相談したいですか。  
(○は3つまで)

1. 健康食品やサプリメントについて
2. 栄養など食生活について
3. 禁煙について
4. 筋トレ・ストレッチやドーピング防止など運動について
5. 不眠や生活リズムなど睡眠について
6. 血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて
7. 肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて
8. 生活習慣病やアレルギー、認知症など長期的な疾患について
9. 在宅医療や介護について
10. 消毒や害虫など生活衛生・環境衛生について
11. その他 ( )

## 13 多文化共生について

Q17-1 あなたは、「多文化共生」(地域住民と外国人が互いを認め合い共に暮らしていくこと)、及び「やさしい日本語」(普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと)という言葉を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

- 《多文化共生》
1. 知っている    2. 意味は知らないが聞いたことはある    3. 知らない
- 《やさしい日本語》
1. 知っている    2. 意味は知らないが聞いたことはある    3. 知らない

Q17-2 あなたは、多文化共生の推進について、どう思いますか。(〇は1つ)

- |             |                 |           |          |
|-------------|-----------------|-----------|----------|
| 1. 大変重要だと思う | 2. それほど重要とは思わない | 3. 重要ではない | 4. わからない |
|-------------|-----------------|-----------|----------|

Q17-3 日常生活において、あなた自身が外国人と関わることについてどう思いますか。(〇は1つ)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 積極的に関わりたい   | 3. それほど関わりたいと思わない |
| 2. 機会があれば関わりたい | 4. わからない          |

Q17-4 あなたは、県内に在住する外国人にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 出身国の文化や言葉を紹介してほしい | 4. 日本で就労・就学してほしい    |
| 2. 住民との交流や行事へ参加してほしい | 5. 日本の法律・ルールを守ってほしい |
| 3. 日本語を覚えて使ってほしい     | 6. その他 ( )          |

#### 14 運動・スポーツの実施状況について

Q18-1 あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ(※)」を行いましたか。(〇は1つ)

※「運動・スポーツ」とは、陸上競技・水泳・球技・武道・マリンスポーツ、ウインタースポーツ等の他、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、サイクリング、トレッキング・釣り等のアウトドアスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 週に3日以上(年150日を超える程度)  | 4. 3か月に1~2日程度(年4~11日程度) |
| 2. 週に1~2日程度(年51~150日程度) | 5. 年に1~3日程度             |
| 3. 月に1~3日程度(年12~50日程度)  | 6. 行わなかった → Q18-3へ      |

Q18-2 どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。(〇はいくつでも)

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 競技スポーツ(球技以外)<br>(陸上競技、水泳等)      | 6. マリンスポーツ (海でのスポーツ)<br>(ヨット、サーフィン、シーカヤック等) |
| 2. 球技(屋外)<br>(野球、テニス、ゴルフ等)         | 7. アウトドアスポーツ(5、6を除く)<br>(サイクリング、登山、釣り等)     |
| 3. 球技(屋内)<br>(バレーボール、卓球等)          | 8. レクリエーションスポーツ<br>(グラウンドゴルフ等)              |
| 4. 武道<br>(柔道、剣道、空手、弓道等)            | 9. トレーニング・健康づくり<br>(ウォーキング、ヨガ等)             |
| 5. ウィンタースポーツ<br>(スキー、スノーボード、スケート等) | 10. 自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的)                   |

Q18-3 「運動・スポーツ」を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                 |             |             |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が多忙 | 5. 仲間がいない   | 9. 機会がない    |
| 2. 体が弱い         | 6. お金が掛かる   | 10. その他 ( ) |
| 3. 年を取った        | 7. 場所や施設がない | 11. 特に理由はない |
| 4. スポーツは好きでない   | 8. 指導者がいない  |             |



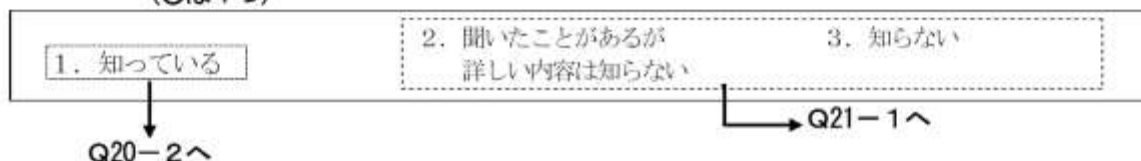
## 15 地産・地消の推進について

Q19-1 県内で生産された農林水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。  
(〇は1つ)

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている | 3. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 2. 知っているが、買い物の際には特に意識していない         | 4. 初めて聞いた言葉である          |

## 16 「やまぐち森林づくり県民税」について

Q20-1 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。  
(〇は1つ)



Q20-2 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。  
(〇はいくつでも)

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| 1. 森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部の伐採）             | 4. 森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援） |
| 2. 繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）                       | 5. 事業の内容は知らない                  |
| 3. 地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援） |                                |

## 17 山口きらら博記念公園の再整備について

Q21-1 あなたは山口きらら博記念公園を利用されたことがありますか。(〇はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. イベントやスポーツの試合、観戦等で利用した     |
| 2. イベント等に関係なく利用した            |
| 3. 自然の景観、広さなど、公園の特性を意識して利用した |
| 4. 利用したことはない                 |
| 5. この公園自体を知らなかった             |

Q21-2 あなたが、山口きらら博記念公園に期待する役割についてお聞かせください。  
(〇はいくつでも)

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1. やすらぎやくつろぎの場             | 10. イベントにより賑わいのある場   |
| 2. 子どもの遊び空間                | 11. 自然や生き物と触れ合い、学ぶ場  |
| 3. 花やきれいな景色を楽しめる場          | 12. バーベキューやたき火ができる場  |
| 4. 運動、スポーツ、健康づくりの場         | 13. 災害時に避難できる場       |
| 5. 屋外で食事、外遊びが楽しめる場         | 14. 趣味や文化活動の場        |
| 6. アウトドアスポーツが楽しめる場         | 15. 幅広い年代や地域の人との交流の場 |
| 7. アーバンスポーツができる場           | 16. 植物の手入れなど社会参加の場   |
| 8. キャンプ、グランピングができる場        | 17. 快適で美しいまちづくり、地域拠点 |
| 9. ワークーションや会議など自然豊かな環境で働く場 |                      |

**Q21-3** あなたが、山口きらら博記念公園に整備を希望する施設や空間をお聞かせください。  
(〇はいくつでも)

1. 花や植栽がきれいな空間	9. 屋内で遊べる施設
2. 森や緑地など自然豊かな空間	10. キャンプ、グランピングなどの宿泊施設
3. アスレチック遊具、複合遊具	11. ベッドと過ごせる施設
4. 滑り台やブランコなどの遊具や砂場	12. 体験教室や体験学習がある施設
5. アーバンスポーツ施設	13. 川や池などの水場がある空間
6. ウォーキングコースなど健康づくり施設	14. カフェやレストランなどの飲食施設
7. アウトドアスポーツ施設	15. テーブル付きのベンチがある空間
8. イベントが開催され賑わいがある空間	16. Wi-fi や電源が利用できる施設や空間

**最後に、あなたご自身のことについておたずねします。**

**F1** あなたの性別は。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

**F2** あなたの年代は。

1. 18、19歳	3. 30～39歳	5. 50～59歳	7. 70歳以上
2. 20～29歳	4. 40～49歳	6. 60～69歳	

**F3** あなたの職業は。(〇は主なものに1つ)

1. 農林漁業 (家族従業者を含む)	6. 技能職・労務職 (工員、店員、消防士、 運転士など)
2. 商工サービス業 (家族従業者を含む)・自由業	7. 主婦・主夫
3. 管理職	8. 学生
4. 事務職	9. 無職
5. 専門技術職 (技師、研究者、医師・看護師、教員 など)	

**F4** あなたの家族構成は。(〇は1つ)

1. 1人世帯	4. 親と子どもと孫 (3世代)
2. 夫婦のみ (1世代)	5. その他 ( )
3. 自分 (たち) と子ども、または親と自分 (たち) (2世代)	

**F5** 山口県にお住まいになって通算何年になりますか。(〇は1つ)

1. 3年未満	3. 5～10年未満	5. 15～20年未満
2. 3～5年未満	4. 10～15年未満	6. 20年以上

**F6** あなたのお住まいはどちらですか。(〇は1つ)

1. 岩国市	5. 上関町	9. 下松市	13. 宇部市	17. 萩市
2. 和木町	6. 田布施町	10. 周南市	14. 美祿市	18. 長門市
3. 柳井市	7. 平生町	11. 防府市	15. 山陽小野田市	19. 阿武町
4. 周防大島町	8. 光市	12. 山口市	16. 下関市	

調査にご協力をいただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) により、 月 日 ( )までに投かん  
をお願いいたします。

令和5年度県政世論調査報告書

---

令和5年9月発行

山口県総合企画部広報広聴課

〒753-8501 山口市滝町1-1

TEL 083-933-2560

---